

住民アンケート調査実施報告書

目次

1	調査実施内容	2
(1)	目的	2
(2)	概要	2
(3)	配布回収状況	2
(4)	回答状況	3
2	調査結果	4
(1)	属性	4
(2)	暮らし全体について	15
(3)	医療・福祉について	36
(4)	社会参加について	44
(5)	環境について	57
(6)	教育について	63
(7)	交通・住環境・情報通信について	69
(8)	産業経済について	88
(9)	行政・協働について	102

1 調査実施内容

(1) 目的

本調査は、新岩泉町未来づくりプラン（仮称）基本計画を策定するため、町の現状やまちづくりに関する住民の意向を調整・分析することを目的として実施するものである。

(2) 概要

表 1 アンケート調査概要

項目	内 容
対象	18歳以上の町民
実施期間	発送：令和7年9月22日（月） 回収：令和7年10月27日（月）まで WEB：令和7年10月24日（金）まで
配布・回収方法	配布：無作為抽出の上 2,126部郵送 回収：回答した調査票を郵送回収及びWEBフォームで回答
回収実績	郵送：716部 WEB：185部 合計：901部（回収率40.3%）
主要な設問	属性 暮らし全体について／医療・福祉について／社会参加について／環境について／教育について 交通・住環境・情報通信について／産業経済について／行政・協働について

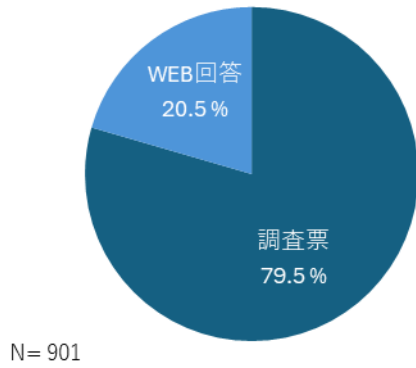
(3) 配布回収状況

表 2 地区別配布回収

地区	配布数	回収					
		郵便		WEB		計	
		回収数	回収割合	回収数	回収割合	回収数	回収割合
岩泉	600部	206部	34.3%	86部	14.3%	292部	48.7%
小川	457部	155部	33.9%	30部	6.6%	185部	40.5%
大川	385部	76部	19.7%	16部	4.2%	92部	23.9%
小本	455部	147部	32.3%	34部	7.5%	181部	39.8%
安家	227部	92部	40.5%	12部	5.3%	104部	45.8%
有芸	112部	27部	24.1%	4部	3.6%	31部	27.7%
無回答	—	11部	—	3部	—	14部	—
無効	—	2部	—	—	—	2部	—
合計	2,126部	716部	33.7%	185部	8.7%	901部	42.4%

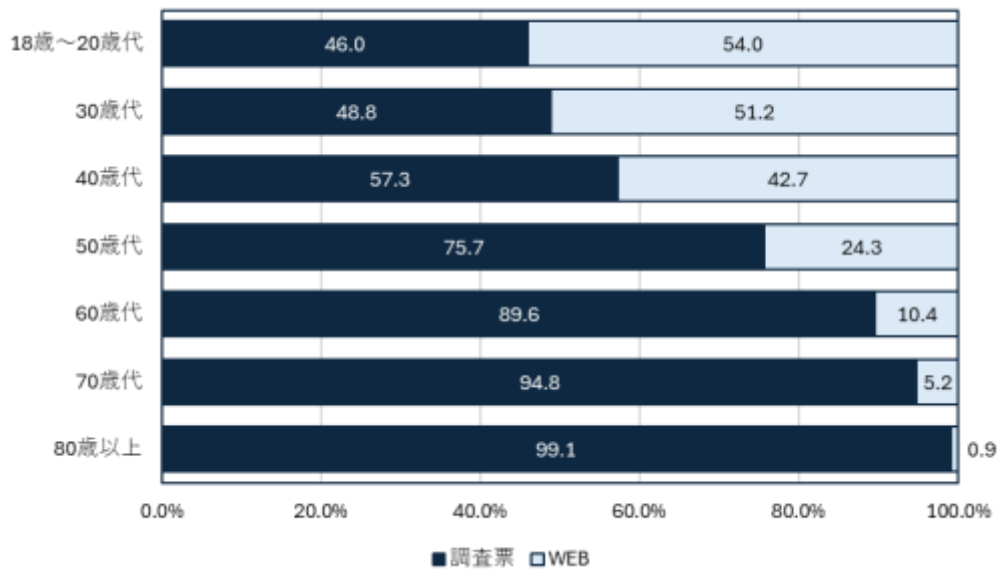
(4) 回答状況

調査票での回答が 79.5% (716 部)、WEB での回答が 20.5% (185 部)。



	調査票	WEB	無回答	計
18歳～20歳代	23	27	0	50
	46.0	54.0	0.0	100.0
30歳代	42	44	0	86
	48.8	51.2	0.0	100.0
40歳代	75	56	0	131
	57.3	42.7	0.0	100.0
50歳代	78	25	0	103
	75.7	24.3	0.0	100.0
60歳代	164	19	0	183
	89.6	10.4	0.0	100.0
70歳代	200	11	0	211
	94.8	5.2	0.0	100.0
80歳以上	115	1	0	116
	99.1	0.9	0.0	100.0
無回答	18	2	0	20
	90.0	10.0	0.0	100.0
計	715	185	0	900
	79.4	20.6	0.0	100.0

有効票数 = 900



回答者の年齢が若いほど WEB での回答割合が高くなっている。

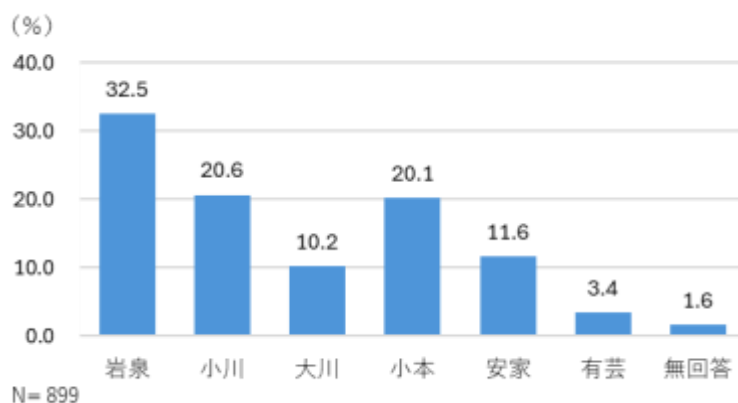
2 調査結果

(1) 属性

お住まい

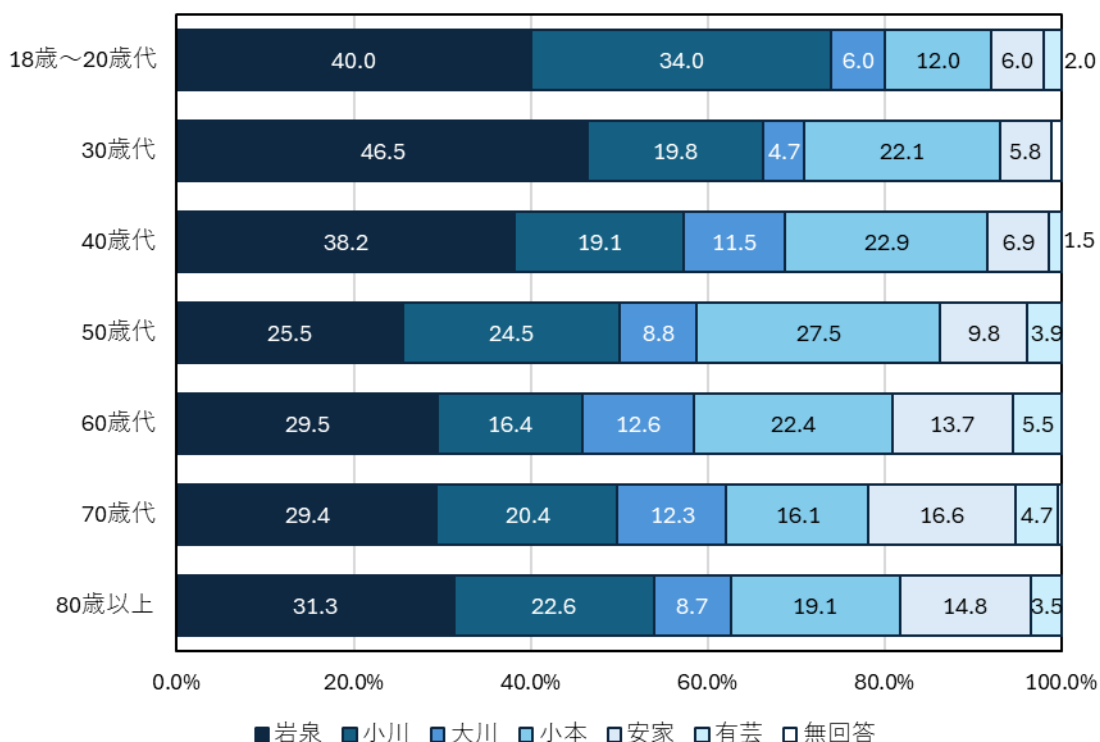
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 岩泉	292	32.5
2 小川	185	20.6
3 大川	92	10.2
4 小本	181	20.1
5 安家	104	11.6
6 有芸	31	3.4
無回答	14	1.6

有効票数 = 899



回答者の住まいの地区で最も多いのは「岩泉」(32.5%)、次いで「小川」(20.6%)、「小本」(20.1%)の順で多くなっています。

○クロス集計 (年代)



	岩泉	小川	大川	小本	安家	有芸	無回答	計
18歳～20歳代	20	17	3	6	3	1	0	50
	40.0	34.0	6.0	12.0	6.0	2.0	0.0	100.0
30歳代	40	17	4	19	5	0	1	86
	46.5	19.8	4.7	22.1	5.8	0.0	1.2	100.0
40歳代	50	25	15	30	9	2	0	131
	38.2	19.1	11.5	22.9	6.9	1.5	0.0	100.0
50歳代	26	25	9	28	10	4	0	102
	25.5	24.5	8.8	27.5	9.8	3.9	0.0	100.0
60歳代	54	30	23	41	25	10	0	183
	29.5	16.4	12.6	22.4	13.7	5.5	0.0	100.0
70歳代	62	43	26	34	35	10	1	211
	29.4	20.4	12.3	16.1	16.6	4.7	0.5	100.0
80歳以上	36	26	10	22	17	4	0	115
	31.3	22.6	8.7	19.1	14.8	3.5	0.0	100.0
無回答	4	1	2	1	0	0	12	20
	20.0	5.0	10.0	5.0	0.0	0.0	60.0	100.0
計	292	184	92	181	104	31	14	898
	32.5	20.5	10.2	20.2	11.6	3.5	1.6	100.0

有効票数 = 898

“50歳代”以外の年代で「岩泉」が最も多くなっている。“50歳代”では「小本」が最も多い。

各年代で「岩泉」「小川」「小本」が多い傾向にある。“70歳代”では「安家」が3番目に多くなっている。

※クロス集計表の縦軸に対して最も割合が多い選択肢がオレンジ色、次いで黄色、3番目に多いのが緑色。
以下、同じ。

性別

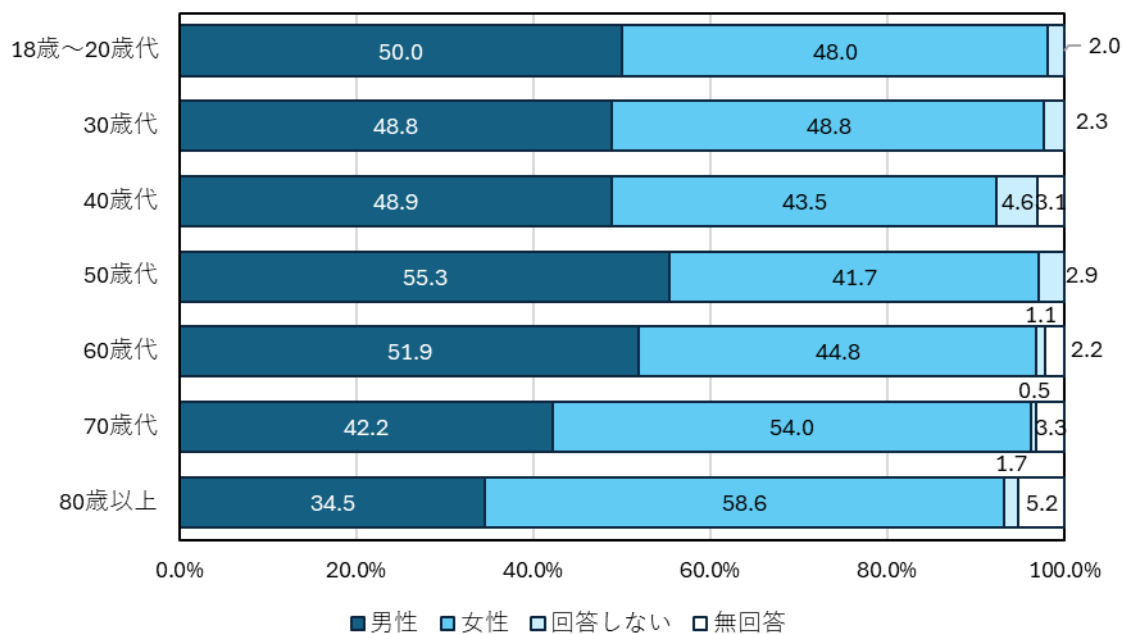
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 男性	413	45.9
2 女性	432	48.0
3 回答しない	18	2.0
無回答	37	4.1

有効票数 = 900



回答者の性別は「男性」(45.9%)、「女性」(48.0%)、「回答しない」(2.0%)となっています。

○クロス集計 (年代)



	男性	女性	回答しない	無回答	計
18歳～20歳代	25	24	1	0	50
	50.0	48.0	2.0	0.0	100.0
30歳代	42	42	2	0	86
	48.8	48.8	2.3	0.0	100.0
40歳代	64	57	6	4	131
	48.9	43.5	4.6	3.1	100.0
50歳代	57	43	3	0	103
	55.3	41.7	2.9	0.0	100.0
60歳代	95	82	2	4	183
	51.9	44.8	1.1	2.2	100.0
70歳代	89	114	1	7	211
	42.2	54.0	0.5	3.3	100.0
80歳以上	40	68	2	6	116
	34.5	58.6	1.7	5.2	100.0
無回答	1	2	1	15	19
	5.3	10.5	5.3	78.9	100.0
計	413	432	18	36	899
	45.9	48.1	2.0	4.0	100.0

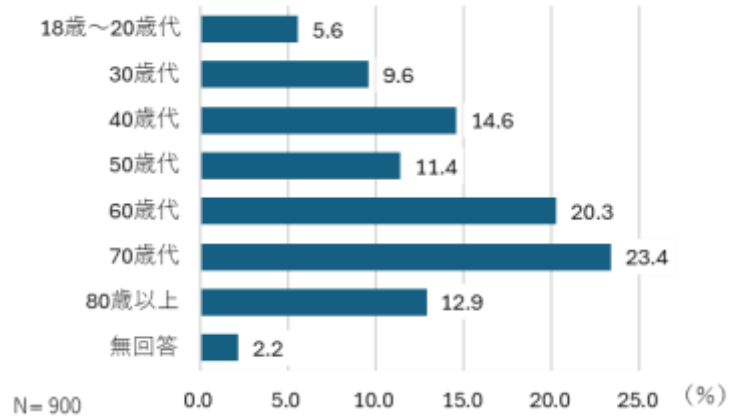
有効票数 = 899

“30歳代”以外の“60歳代”までは「男性」の方が若干多いか、あまり差は見られない。
“70歳代”以上では「女性」の割合が多くなっている。

年齢

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 18歳～20歳代	50	5.6
2 30歳代	86	9.6
3 40歳代	131	14.6
4 50歳代	103	11.4
5 60歳代	183	20.3
6 70歳代	211	23.4
7 80歳以上	116	12.9
無回答	20	2.2

有効票数 = 900

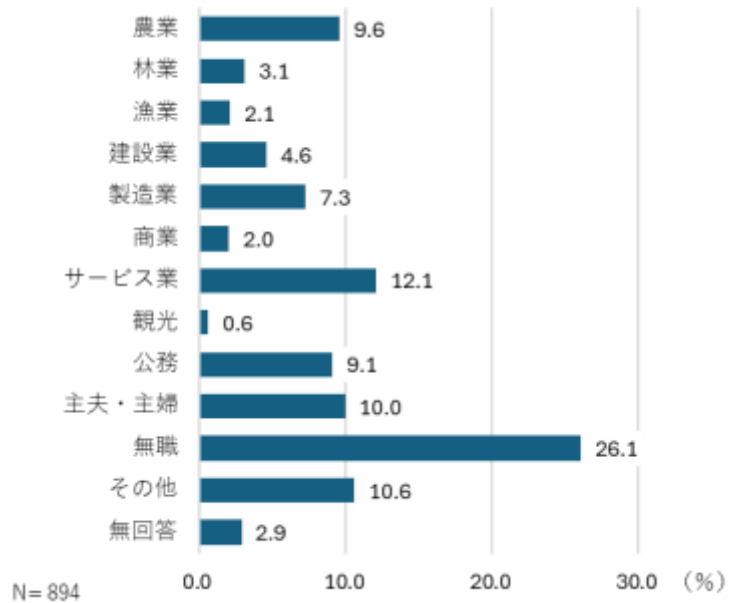


回答者の年齢で最も多いのは「70歳代」(23.4%)、次いで「60歳代」(20.3%)、「40歳代」(14.6%)の順で多くなっています。

仕事

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 農業	86	9.6
2 林業	28	3.1
3 漁業	19	2.1
4 建設業	41	4.6
5 製造業	65	7.3
6 商業	18	2.0
7 サービス業	108	12.1
8 観光	5	0.6
9 公務	81	9.1
10 主夫・主婦	89	10.0
11 無職	233	26.1
12 その他	95	10.6
無回答	26	2.9

有効票数 = 894



回答者の仕事で最も多いのは「無職」(26.1%)、次いで「サービス業」(12.1%)、「主夫・主婦」(10.0%)の順で多くなっています。

○クロス集計 (年代)

	農業	林業	漁業	建設業	製造業	商業	サービス業	観光	公務	主夫・主婦	無職	その他	無回答	計
18歳～20歳代	4	3	1	3	3	1	10	0	10	0	3	12	0	50
	8.0	6.0	2.0	6.0	6.0	2.0	20.0	0.0	20.0	0.0	6.0	24.0	0.0	100.0
30歳代	6	1	1	3	14	0	15	0	20	4	7	14	0	85
	7.1	1.2	1.2	3.5	16.5	0.0	17.6	0.0	23.5	4.7	8.2	16.5	0.0	100.0
40歳代	10	8	6	7	17	2	26	0	25	6	8	12	1	128
	7.8	6.3	4.7	5.5	13.3	1.6	20.3	0.0	19.5	4.7	6.3	9.4	0.8	100.0
50歳代	7	5	2	10	15	5	15	1	10	4	9	18	1	102
	6.9	4.9	2.0	9.8	14.7	4.9	14.7	1.0	9.8	3.9	8.8	17.6	1.0	100.0
60歳代	12	6	5	15	12	3	28	2	9	23	42	20	4	181
	6.6	3.3	2.8	8.3	6.6	1.7	15.5	1.1	5.0	12.7	23.2	11.0	2.2	100.0
70歳代	35	3	4	3	4	1	11	2	7	39	87	12	3	211
	16.6	1.4	1.9	1.4	1.9	0.5	5.2	0.9	3.3	18.5	41.2	5.7	1.4	100.0
80歳以上	12	2	0	0	0	5	1	0	0	13	74	7	2	116
	10.3	1.7	0.0	0.0	0.0	4.3	0.9	0.0	0.0	11.2	63.8	6.0	1.7	100.0
無回答	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2	0	15	20
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	75.0	100.0
計	86	28	19	41	65	18	108	5	81	89	232	95	26	893
	9.6	3.1	2.1	4.6	7.3	2.0	12.1	0.6	9.1	10.0	26.0	10.6	2.9	100.0

有効票数 = 893

“18歳～20歳代”では、「サービス業」「公務」が最も多く、次いで「農業」の順で多くなっている。

“30歳代”では、「公務」が最も多く、次いで「サービス業」、「製造業」の順で多くなっている。

“40歳代”では、「サービス業」が最も多く、次いで「公務」、「製造業」の順で多くなっている。

“50歳代”では、「製造業」「サービス業」が最も多く、次いで「建設業」「公務」の順で多くなっている。

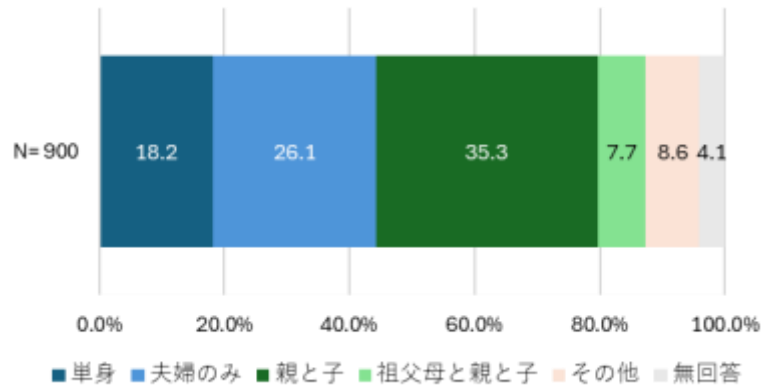
“60歳代”以上では、「無職」が最も多くなっている。“60歳代”では次いで「サービス業」、「主夫・主婦」の順で多くなっている。

“70歳代”以上では2番目に「主夫・主婦」が多く、次いで「農業」が多くなっている。

家族構成

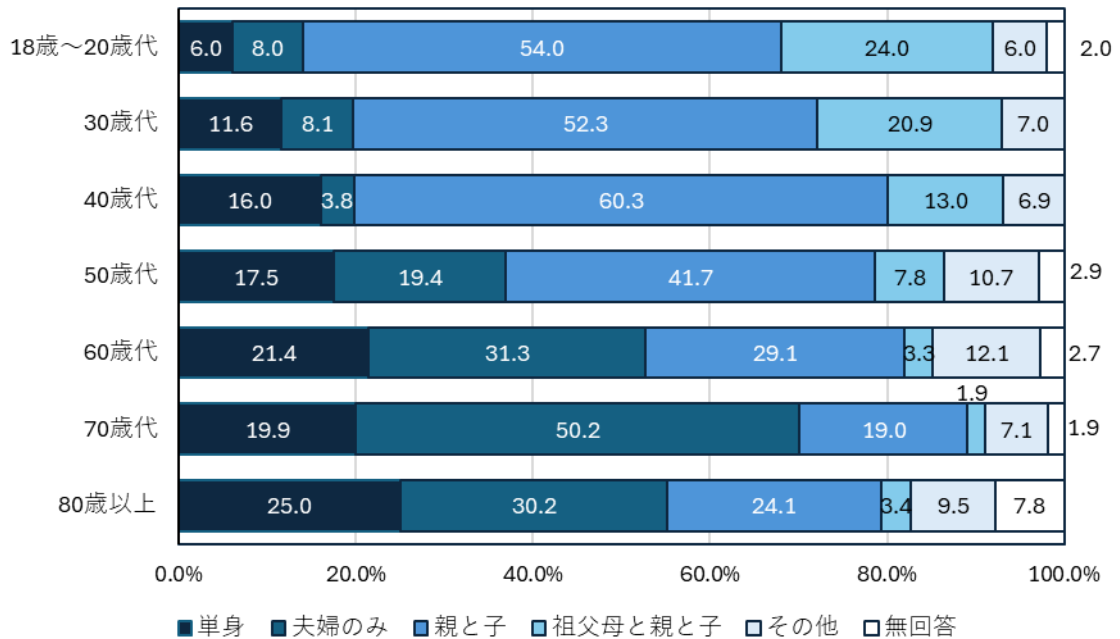
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 単身	164	18.2
2 夫婦のみ	235	26.1
3 親と子	318	35.3
4 祖父母と親と子	69	7.7
5 その他	77	8.6
無回答	37	4.1

有効票数 = 900



回答者の家族構成で最も多いのは「親と子」(35.3%)、次いで「夫婦のみ」(26.1%)、「単身」(18.2%)の順で多くなっています。

○クロス集計 (年代)



	単身	夫婦のみ	親と子	祖父母と親と子	その他	無回答	計
18歳～20歳代	3	4	27	12	3	1	50
	6.0	8.0	54.0	24.0	6.0	2.0	100.0
30歳代	10	7	45	18	6	0	86
	11.6	8.1	52.3	20.9	7.0	0.0	100.0
40歳代	21	5	79	17	9	0	131
	16.0	3.8	60.3	13.0	6.9	0.0	100.0
50歳代	18	20	43	8	11	3	103
	17.5	19.4	41.7	7.8	10.7	2.9	100.0
60歳代	39	57	53	6	22	5	182
	21.4	31.3	29.1	3.3	12.1	2.7	100.0
70歳代	42	106	40	4	15	4	211
	19.9	50.2	19.0	1.9	7.1	1.9	100.0
80歳以上	29	35	28	4	11	9	116
	25.0	30.2	24.1	3.4	9.5	7.8	100.0
無回答	2	1	3	0	0	14	20
	10.0	5.0	15.0	0.0	0.0	70.0	100.0
計	164	235	318	69	77	36	899
	18.2	26.1	35.4	7.7	8.6	4.0	100.0

有効票数 = 899

“18歳～20歳代”から“50歳代”では、「親と子」が最も多く、“60歳代”以上では「夫婦のみ」が最も多くなっている。

“18歳～20歳代”では、2番目に「祖父母と親と子」が多く、次いで「夫婦のみ」が多くなっている。

“30歳代”では、2番目に「祖父母と親と子」が多く、次いで「単身」が多くなっている。

“40歳代”では、2番目に「単身」が多く、次いで「祖父母と親と子」が多くなっている。

“50歳代”では、2番目に「夫婦のみ」が多く、次いで「単身」が多くなっている。

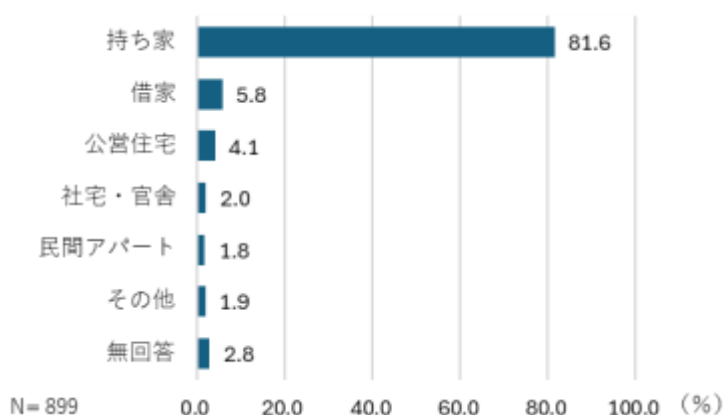
“60歳代”では、2番目に「親と子」が多く、次いで「単身」が多くなっている。

“70歳代”以上では、2番目に「単身」が多く、次いで「親と子」が多くなっている。

住宅の状況

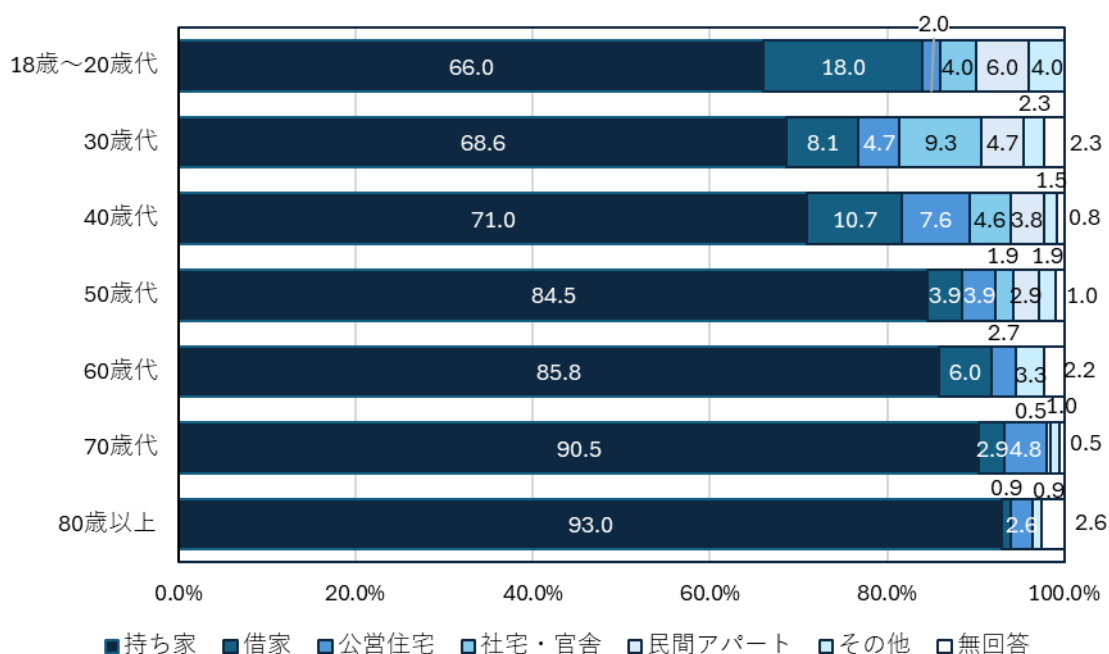
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 持ち家	734	81.6
2 借家	52	5.8
3 公営住宅	37	4.1
4 社宅・官舎	18	2.0
5 民間アパート	16	1.8
6 その他	17	1.9
無回答	25	2.8

有効票数 = 899



回答者の住宅の状況で最も多いのは「持ち家」(81.6%)、次いで「借家」(5.8%)、「公営住宅」(4.1%)の順で多くなっています。

○クロス集計 (年代)



	持ち家	借家	公営住宅	社宅・官舎	民間アパート	その他	無回答	計
18歳～20歳代	33	9	1	2	3	2	0	50
	66.0	18.0	2.0	4.0	6.0	4.0	0.0	100.0
30歳代	59	7	4	8	4	2	2	86
	68.6	8.1	4.7	9.3	4.7	2.3	2.3	100.0
40歳代	93	14	10	6	5	2	1	131
	71.0	10.7	7.6	4.6	3.8	1.5	0.8	100.0
50歳代	87	4	4	2	3	2	1	103
	84.5	3.9	3.9	1.9	2.9	1.9	1.0	100.0
60歳代	157	11	5	0	0	6	4	183
	85.8	6.0	2.7	0.0	0.0	3.3	2.2	100.0
70歳代	190	6	10	0	1	2	1	210
	90.5	2.9	4.8	0.0	0.5	1.0	0.5	100.0
80歳以上	107	1	3	0	0	1	3	115
	93.0	0.9	2.6	0.0	0.0	0.9	2.6	100.0
無回答	7	0	0	0	0	0	13	20
	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.0	100.0
計	733	52	37	18	16	17	25	898
	81.6	5.8	4.1	2.0	1.8	1.9	2.8	100.0

有効票数 = 898

全ての年代で「持ち家」が最も多くなっている。

“18歳～20歳代”では、2番目に「借家」が多く、次いで「民間アパート」が多くなっている。

“30歳代”では、2番目に「社宅・官舎」が多く、次いで「借家」が多くなっている。

“40歳代”と“60歳代”では、2番目に「借家」が多く、次いで「公営住宅」が多くなっている。

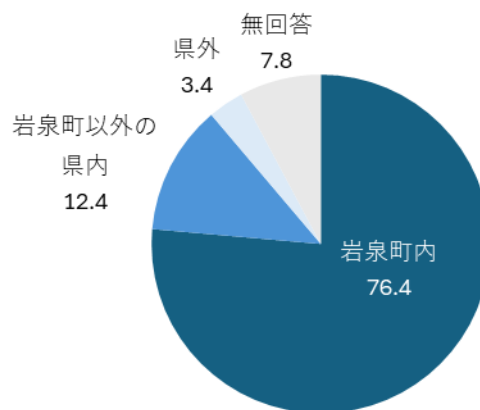
“50歳代”では、2番目に「借家」と「公営住宅」が多くなっている。

“70歳代”以上では、2番目に「公営住宅」が多く、次いで「借家」が多くなっている。

出身地

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 岩泉町内	688	76.4
2 岩泉町以外の県内	112	12.4
3 県外	31	3.4
無回答	70	7.8

有効票数 = 901



N= 901

回答者の出身地で最も多いのは「岩泉町内」(76.4%)、次いで「岩泉町以外の県内」(12.4%)、「県外」(3.4%)の順で多くなっています。

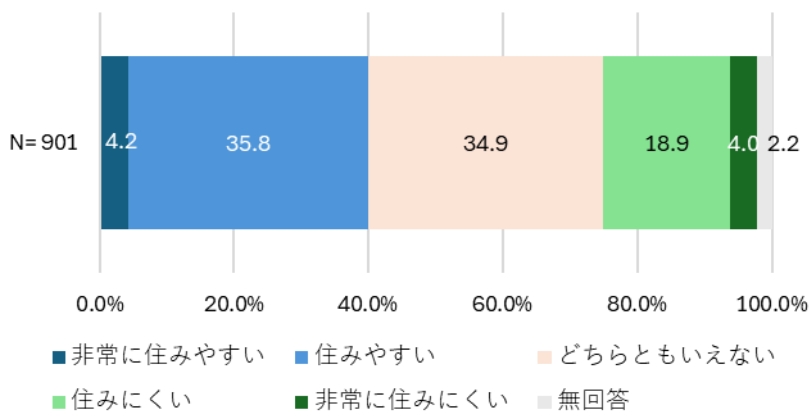
(2) 暮らし全体について

問1 現在、住んでいる地域の住みやすさはいかがですか。(1つに○)

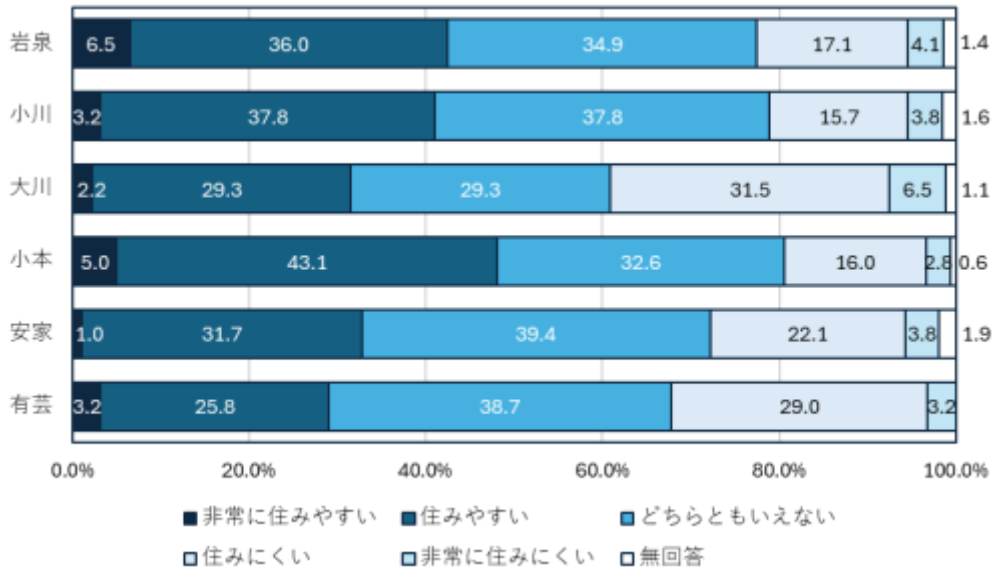
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 非常に住みやすい	38	4.2
2 住みやすい	323	35.8
3 どちらともいえない	314	34.9
4 住みにくい	170	18.9
5 非常に住みにくい	36	4.0
無回答	20	2.2

現在、住んでいる地域の住みやすさについて最も多いのは「住みやすい」(35.8%)、次いで「どちらともいえない」(34.9%)、「住みにくい」(18.9%)の順で多くなっています。「非常に住みやすい」と「住みやすい」を合わせると40.0%、「住みにくい」と「非常に住みにくい」を合わせると22.9%となっています。

有効票数 = 901



○クロス集計（住まいの地区）



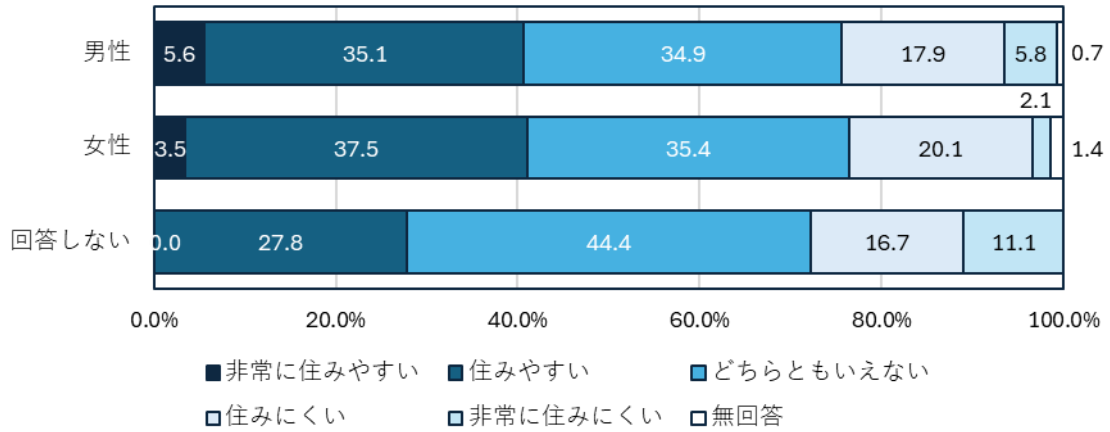
	非常に住みやすい	住みやすい	どちらともいえない	住みにくい	非常に住みにくい	無回答	計
岩泉	19	105	102	50	12	4	292
	6.5	36.0	34.9	17.1	4.1	1.4	100.0
小川	6	70	70	29	7	3	185
	3.2	37.8	37.8	15.7	3.8	1.6	100.0
大川	2	27	27	29	6	1	92
	2.2	29.3	29.3	31.5	6.5	1.1	100.0
小本	9	78	59	29	5	1	181
	5.0	43.1	32.6	16.0	2.8	0.6	100.0
安家	1	33	41	23	4	2	104
	1.0	31.7	39.4	22.1	3.8	1.9	100.0
有芸	1	8	12	9	1	0	31
	3.2	25.8	38.7	29.0	3.2	0.0	100.0
無回答	0	2	2	0	1	9	14
	0.0	14.3	14.3	0.0	7.1	64.3	100.0
計	38	323	313	169	36	20	899
	4.2	35.9	34.8	18.8	4.0	2.2	100.0

有効票数 = 899

“大川”と“有芸”では「非常に住みやすい」と「住みやすい」を合わせた割合よりも、「住みにくい」と「非常に住みにくい」を合わせた割合の方が高くなっている。

「非常に住みやすい」と「住みやすい」を合わせた割合の方が“小本”は 29.3 ポイント高く、“小川”は 21.5 ポイント、“岩泉”は 21.3 ポイント高くなっている。

○クロス集計 (性別)



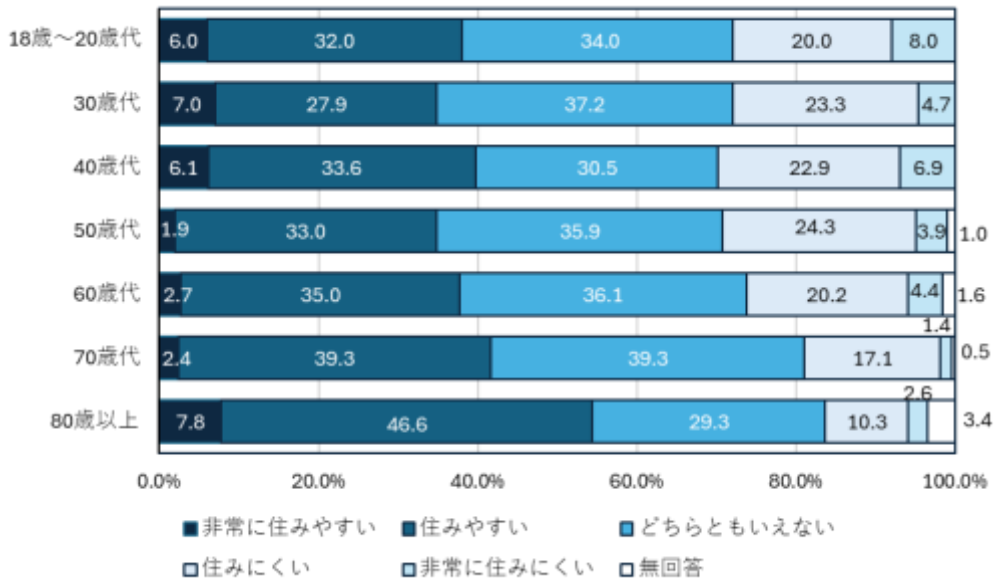
	非常に住みやすい	住みやすい	どちらともいえない	住みにくい	非常に住みにくい	無回答	計
男性	23	145	144	74	24	3	413
	5.6	35.1	34.9	17.9	5.8	0.7	100.0
女性	15	162	153	87	9	6	432
	3.5	37.5	35.4	20.1	2.1	1.4	100.0
回答しない	0	5	8	3	2	0	18
	0.0	27.8	44.4	16.7	11.1	0.0	100.0
無回答	0	11	9	6	1	10	37
	0.0	29.7	24.3	16.2	2.7	27.0	100.0
計	38	323	314	170	36	19	900
	4.2	35.9	34.9	18.9	4.0	2.1	100.0

有効票数 = 900

“男性”と“女性”では「住みやすい」が最も高く、次いで「どちらともいえない」が高くなっている。

“回答しない”では「どちらともいえない」が最も高く、次いで「住みやすい」が高くなっている。

○クロス集計 (年代)



	非常に住みやすい	住みやすい	どちらともいえない	住みにくい	非常に住みにくい	無回答	計
18歳～20歳代	3	16	17	10	4	0	50
	6.0	32.0	34.0	20.0	8.0	0.0	100.0
30歳代	6	24	32	20	4	0	86
	7.0	27.9	37.2	23.3	4.7	0.0	100.0
40歳代	8	44	40	30	9	0	131
	6.1	33.6	30.5	22.9	6.9	0.0	100.0
50歳代	2	34	37	25	4	1	103
	1.9	33.0	35.9	24.3	3.9	1.0	100.0
60歳代	5	64	66	37	8	3	183
	2.7	35.0	36.1	20.2	4.4	1.6	100.0
70歳代	5	83	83	36	3	1	211
	2.4	39.3	39.3	17.1	1.4	0.5	100.0
80歳以上	9	54	34	12	3	4	116
	7.8	46.6	29.3	10.3	2.6	3.4	100.0
無回答	0	4	5	0	0	11	20
	0.0	20.0	25.0	0.0	0.0	55.0	100.0
計	38	323	314	170	35	20	900
	4.2	35.9	34.9	18.9	3.9	2.2	100.0

有効票数 = 900

全ての年代で「非常に住みやすい」と「住みやすい」を合わせた割合の方が、「住みにくい」と「非常に住みにくい」を合わせた割合よりも高くなっている。

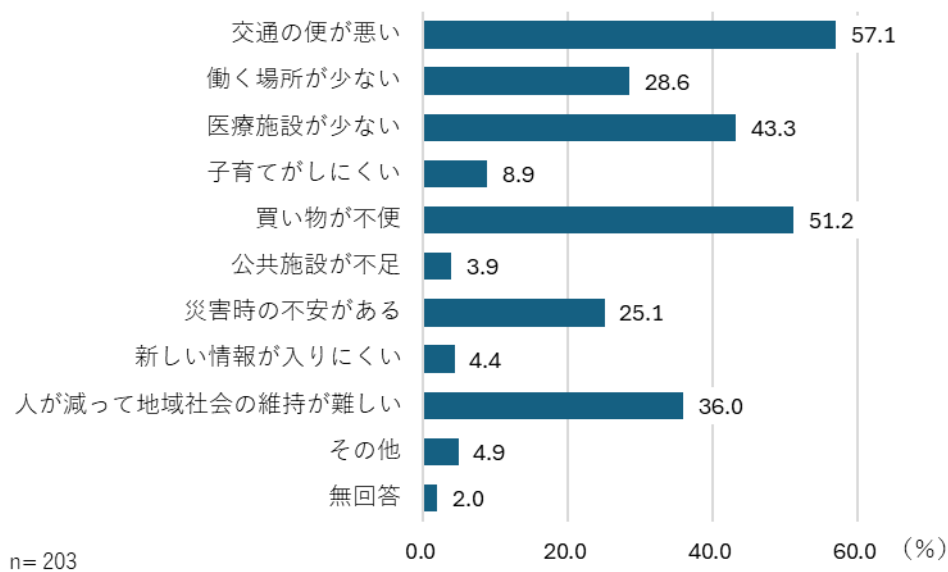
特に“80歳以上”では「非常に住みやすい」と「住みやすい」を合わせた割合の方が41.5ポイント高くなっている。

問 2 前問で、『4. 住みにくい』または『5. 非常に住みにくい』と答えた方にお伺いします。住みにくい主な理由は何ですか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 交通の便が悪い	116	57.1
2 働く場所が少ない	58	28.6
3 医療施設が少ない	88	43.3
4 子育てがしにくい	18	8.9
5 買い物が不便	104	51.2
6 公共施設が不足	8	3.9
7 災害時の不安がある	51	25.1
8 新しい情報が入りにくい	9	4.4
9 人が減って地域社会の維持が難しい	73	36.0
10 その他	10	4.9
無回答	4	2.0

有効票数 = 203

現在、住んでいる地域が住みにくい理由について最も多いのは「交通の便が悪い」(57.1%)、次いで「買い物が不便」(51.2%)、「医療施設が少ない」(43.3%)の順で多くなっています。



○クロス集計 (年代)

	交通の便 が悪い	働く場所 が少ない	医療施設 が少ない	子育てが しにくい	買い物 が不便	公共施設 が不足	災害時の 不安があ る	新しい情 報が入り にくい	人が減っ て地域社 会の維持 が難しい	その他	無回答	計
18歳～20歳代	11 78.6	7 50.0	2 14.3	1 7.1	7 50.0	2 14.3	3 21.4	1 7.1	3 21.4	1 7.1	0 0.0	14 100.0
30歳代	10 41.7	8 33.3	13 54.2	7 29.2	14 58.3	4 16.7	5 20.8	0 0.0	5 20.8	2 8.3	0 0.0	24 100.0
40歳代	17 44.7	12 31.6	14 36.8	4 10.5	17 44.7	2 5.3	10 26.3	4 10.5	11 28.9	1 2.6	1 2.6	38 100.0
50歳代	13 44.8	12 41.4	12 41.4	3 10.3	14 48.3	0 0.0	6 20.7	3 10.3	14 48.3	1 3.4	0 0.0	29 100.0
60歳代	25 59.5	13 31.0	20 47.6	2 4.8	20 47.6	0 0.0	14 33.3	0 0.0	18 42.9	3 7.1	0 0.0	42 100.0
70歳代	29 72.5	6 15.0	21 52.5	0 0.0	23 57.5	0 0.0	5 12.5	1 2.5	17 42.5	2 5.0	2 5.0	40 100.0
80歳以上	11 73.3	0 0.0	5 33.3	1 6.7	8 53.3	0 0.0	7 46.7	0 0.0	5 33.3	0 0.0	1 6.7	15 100.0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	116 57.4	58 28.7	87 43.1	18 8.9	103 51.0	8 4.0	50 24.8	9 4.5	73 36.1	10 5.0	4 2.0	202 100.0

有効票数 = 202

“18歳～20歳代”では、「交通の便が悪い」が最も高く、次いで「働く場所が少ない」「買い物に不便」が高くなっている。

“30歳代”から“50歳代”では、「買い物に不便」が最も高くなっている。

“30歳代”では2番目に「医療施設が少ない」、次いで「交通の便が悪い」が高くなっている。

“40歳代”では、「買い物に不便」と同じく「交通の便が悪い」も最も高く、次いで「医療施設が少ない」が高くなっている。

“50歳代”では、「買い物に不便」と同じく「人が減って地域社会の維持が難しい」が最も高く、次いで「交通の便が悪い」が高くなっている。

“60歳代”以上では、「交通の便が悪い」が最も高く、次いで「買い物に不便」が高くなっている。

“60歳代”では「買い物に不便」と同じく「医療施設が少ない」も2番目に高くなっている。

“70歳代”では、3番目に「医療施設が少ない」が高く、“80歳以上”では、「災害時の不安がある」が高くなっている。

○クロス集計 (出身地)

	交通の便 が悪い	働く場所 が少ない	医療施設 が少ない	子育てが しにくい	買い物 が不便	公共施設 が不足	災害時の 不安があ る	新しい情 報が入り にくい	人が減っ て地域社 会の維持 が難しい	その他	無回答	計
岩泉町内	90	51	64	11	82	5	40	6	62	5	4	155
	58.1	32.9	41.3	7.1	52.9	3.2	25.8	3.9	40.0	3.2	2.6	100.0
岩泉町以 外の県内	13	6	15	6	14	3	6	0	7	3	0	28
	46.4	21.4	53.6	21.4	50.0	10.7	21.4	0.0	25.0	10.7	0.0	100.0
県外	4	0	2	1	4	0	2	2	1	0	0	7
	57.1	0.0	28.6	14.3	57.1	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	100.0
無回答	9	1	7	0	4	0	3	1	3	2	0	13
	69.2	7.7	53.8	0.0	30.8	0.0	23.1	7.7	23.1	15.4	0.0	100.0
計	116	58	88	18	104	8	51	9	73	10	4	203
	57.1	28.6	43.3	8.9	51.2	3.9	25.1	4.4	36.0	4.9	2.0	100.0

有効票数 = 203

各出身地で「交通の便が悪い」、「医療施設が少ない」、「買い物不便」が高くなっている。

“岩泉町内”では「交通の便が悪い」が最も高く、次いで「買い物不便」、「医療施設が少ない」の順で高くなっている。

“岩泉町以外の県内”では「医療施設が少ない」が最も高く、次いで「買い物不便」、「交通の便が悪い」の順で高くなっている。

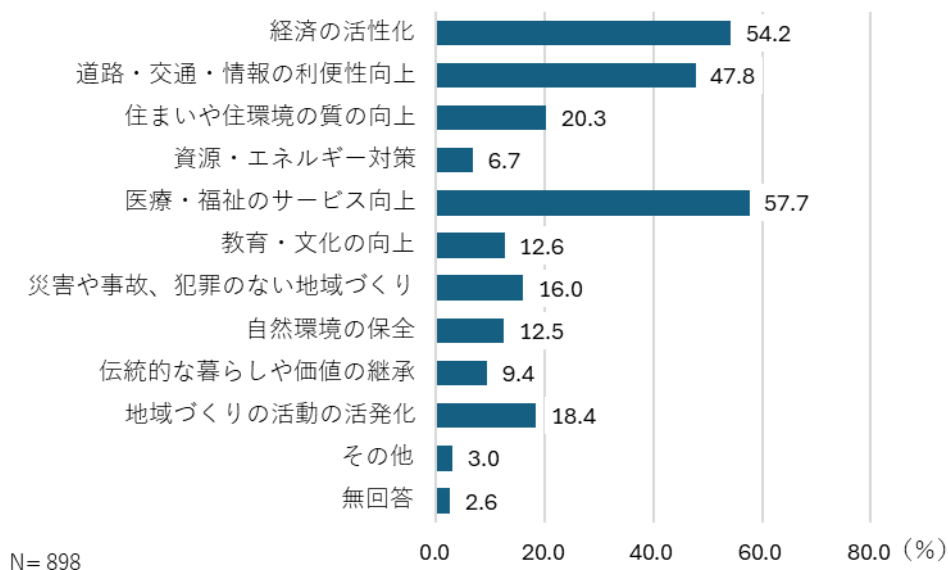
“県外”では「交通の便が悪い」と「買い物不便」が最も高く、次いで「医療施設が少ない」「災害時の不安がある」「新しい情報が入りにくい」の順で高くなっている。

**問3 岩泉町を「魅力あるまち」にするためには、どのようなことに優先して力を入れていったら良いと思いますか。
(3つ以内に○)**

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 経済の活性化	487	54.2
2 道路・交通・情報の利便性向上	429	47.8
3 住まいや住環境の質の向上	182	20.3
4 資源・エネルギー対策	60	6.7
5 医療・福祉のサービス向上	518	57.7
6 教育・文化の向上	113	12.6
7 災害や事故、犯罪のない地域づくり	144	16.0
8 自然環境の保全	112	12.5
9 伝統的な暮らしや価値の継承	84	9.4
10 地域づくりの活動の活発化	165	18.4
11 その他	27	3.0
無回答	23	2.6

岩泉町を「魅力あるまち」にするために優先して力を入れていくべきものについて最も多いのは「医療・福祉のサービス向上」(57.7%)、次いで「経済の活性化」(54.2%)、「道路・交通・情報の利便性向上」(47.8%)の順で多くなっています。

有効票数 = 898



○クロス集計（年代）

	経済の活性化	道路・交通・情報の利便性向上	住まいや住環境の質の向上	資源・エネルギー対策	医療・福祉のサービス向上	教育・文化の向上	災害や事故、犯罪のない地域づくり	自然環境の保全	伝統的な暮らしや価値の継承	地域づくりの活動の活発化	その他	無回答	計
18歳～20歳代	23	18	22	3	23	11	9	5	8	15	1	0	50
	46.0	36.0	44.0	6.0	46.0	22.0	18.0	10.0	16.0	30.0	2.0	0.0	100.0
30歳代	53	36	22	3	46	20	10	15	10	14	5	0	85
	62.4	42.4	25.9	3.5	54.1	23.5	11.8	17.6	11.8	16.5	5.9	0.0	100.0
40歳代	83	60	34	14	57	23	12	20	14	16	8	1	130
	63.8	46.2	26.2	10.8	43.8	17.7	9.2	15.4	10.8	12.3	6.2	0.8	100.0
50歳代	58	51	24	11	53	15	13	12	10	16	3	0	103
	56.3	49.5	23.3	10.7	51.5	14.6	12.6	11.7	9.7	15.5	2.9	0.0	100.0
60歳代	108	100	31	12	112	17	25	24	13	36	5	3	182
	59.3	54.9	17.0	6.6	61.5	9.3	13.7	13.2	7.1	19.8	2.7	1.6	100.0
70歳代	112	109	38	10	149	15	43	18	15	38	3	3	211
	53.1	51.7	18.0	4.7	70.6	7.1	20.4	8.5	7.1	18.0	1.4	1.4	100.0
80歳以上	46	48	10	6	68	11	30	18	14	27	2	6	116
	39.7	41.4	8.6	5.2	58.6	9.5	25.9	15.5	12.1	23.3	1.7	5.2	100.0
無回答	4	7	1	1	9	1	2	0	0	3	0	10	20
	20.0	35.0	5.0	5.0	45.0	5.0	10.0	0.0	0.0	15.0	0.0	50.0	100.0
計	487	429	182	60	517	113	144	112	84	165	27	23	897
	54.3	47.8	20.3	6.7	57.6	12.6	16.1	12.5	9.4	18.4	3.0	2.6	100.0

有効票数 = 897

“18歳～20歳代”から“50歳代”では「経済の活性化」が最も高く、“60歳代”以上では「医療・福祉のサービス向上」が高くなっている。

各年代で「経済の活性化」、「道路・交通・情報の利便性」、「医療・福祉のサービス向上」、「住まいや住環境の質の向上」が高くなっている。

○クロス集計（出身地）

	経済の活性化	道路・交通・情報の利便性向上	住まいや住環境の質の向上	資源・エネルギー対策	医療・福祉のサービス向上	教育・文化の向上	災害や事故、犯罪のない地域づくり	自然環境の保全	伝統的な暮らしや価値の継承	地域づくりの活動の活発化	その他	無回答	計
岩泉町内	388	331	141	49	398	83	109	84	59	133	22	9	686
	56.6	48.3	20.6	7.1	58.0	12.1	15.9	12.2	8.6	19.4	3.2	1.3	100.0
岩泉町以外の県内	54	58	19	5	69	16	25	15	12	19	3	1	111
	48.6	52.3	17.1	4.5	62.2	14.4	22.5	13.5	10.8	17.1	2.7	0.9	100.0
県外	12	9	13	3	12	9	6	10	7	4	2	0	31
	38.7	29.0	41.9	9.7	38.7	29.0	19.4	32.3	22.6	12.9	6.5	0.0	100.0
無回答	33	31	9	3	39	5	4	3	6	9	0	13	70
	47.1	44.3	12.9	4.3	55.7	7.1	5.7	4.3	8.6	12.9	0.0	18.6	100.0
計	487	429	182	60	518	113	144	112	84	165	27	23	898
	54.2	47.8	20.3	6.7	57.7	12.6	16.0	12.5	9.4	18.4	3.0	2.6	100.0

有効票数 = 898

各出身地で「医療・福祉のサービス向上」が最も高くなっている。

“岩泉町内”では2番目に「経済の活性化」が高く、次いで「道路・交通・情報の利便性向上」が高くなっている。

“岩泉町以外の県内”では2番目に「道路・交通・情報の利便性向上」が高く、次いで「経済の活性化」が高くなっている。

“県外”では「医療・福祉のサービス向上」と同じく「経済の活性化」も最も高く、次いで「住まいや住環境の質の向上」が高くなっている。

○三重クロス（住まいの地区、年代）

・岩泉

	交通の便 が悪い	働く場所 が少ない	医療施設 が少ない	子育てが しにくい	買い物が 不便	公共施設 が不足	災害時の 不安があ る	新しい情 報が入り にくい	人が減って 地域社会の 維持が難し い	その他	無回答	計
18歳～20 歳代	3 75.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
30歳代	6 46.2	4 30.8	7 53.8	4 30.8	7 53.8	3 23.1	1 7.7	0 0.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0	13 100.0
40歳代	6 46.2	5 38.5	5 38.5	2 15.4	7 53.8	0 0.0	3 23.1	2 15.4	4 30.8	0 0.0	0 0.0	13 100.0
50歳代	4 57.1	3 42.9	5 71.4	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0	7 100.0
60歳代	6 50.0	5 41.7	6 50.0	0 0.0	6 50.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0	2 16.7	2 16.7	0 0.0	12 100.0
70歳代	7 63.6	1 9.1	4 36.4	0 0.0	6 54.5	0 0.0	1 9.1	1 9.1	4 36.4	1 9.1	1 9.1	11 100.0
80歳以上	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0

各年代で「交通の便が悪い」、「医療施設が少ない」、「買い物が不便」が高くなっている。その他「働く場所が少ない」や「人が減って地域社会の維持が難しい」の割合も高くなっている年代がある。

・小川

	交通の便 が悪い	働く場所 が少ない	医療施設 が少ない	子育てが しにくい	買い物が 不便	公共施設 が不足	災害時の 不安があ る	新しい情 報が入り にくい	人が減って 地域社会の 維持が難し い	その他	無回答	計
18歳～20 歳代	3 60.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
30歳代	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
40歳代	3 50.0	1 16.7	3 50.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	6 100.0
50歳代	4 66.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	4 66.7	0 0.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	6 100.0
60歳代	3 50.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	4 66.7	0 0.0	3 50.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	6 100.0
70歳代	5 83.3	1 16.7	5 83.3	0 0.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	6 100.0
80歳以上	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0

各年代で「交通の便が悪い」、「医療施設が少ない」、「買い物が不便」が高くなっている。
“18歳～20歳代”と“50歳代”、“60歳代”では「働く場所が少ない」も高くなっている。

・大川

	交通の便が悪い	働く場所が少ない	医療施設が少ない	子育てがしにくい	買い物が不便	公共施設が不足	災害時の不安がある	新しい情報が入りにくい	人が減って地域社会の維持が難しい	その他	無回答	計
18歳～20歳代	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
30歳代	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
40歳代	2 33.3	2 33.3	2 33.3	0 0.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0
50歳代	2 40.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
60歳代	8 88.9	1 11.1	5 55.6	1 11.1	5 55.6	0 0.0	1 11.1	0 0.0	5 55.6	0 0.0	0 0.0	9 100.0
70歳代	7 77.8	3 33.3	4 44.4	0 0.0	6 66.7	0 0.0	2 22.2	0 0.0	5 55.6	0 0.0	0 0.0	9 100.0
80歳以上	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

各年代で「交通の便が悪い」、「買い物が不便」が高くなっている。

“40歳代”以上では「医療施設が少ない」や「人が減って地域社会の維持が難しい」も高くなっている。

・小本

	交通の便が悪い	働く場所が少ない	医療施設が少ない	子育てがしにくい	買い物が不便	公共施設が不足	災害時の不安がある	新しい情報が入りにくい	人が減って地域社会の維持が難しい	その他	無回答	計
18歳～20歳代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
30歳代	0 0.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	4 100.0
40歳代	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
50歳代	0 0.0	3 50.0	4 66.7	0 0.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0
60歳代	3 33.3	3 33.3	4 44.4	0 0.0	3 33.3	0 0.0	6 66.7	0 0.0	5 55.6	0 0.0	0 0.0	9 100.0
70歳代	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
80歳以上	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	3 100.0

各年代で「医療施設が少ない」が高くなっている。

“30歳代”以上では「買い物が不便」や「人が減って地域社会の維持が難しい」も高くなっている。

“40歳代”と“60歳代”、“80歳以上”では「災害時の不安がある」も高くなっている。

・安家

	交通の便 が悪い	働く場所 が少ない	医療施設 が少ない	子育てが しにくい	買い物が 不便	公共施設 が不足	災害時の 不安があ る	新しい情 報が入り にくい	人が減って 地域社会の 維持が難し い	その他	無回答	計
18歳～20 歳代	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
30歳代	2 50.0	2 50.0	3 75.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
40歳代	5 71.4	1 14.3	2 28.6	1 14.3	3 42.9	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3	7 100.0
50歳代	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
60歳代	3 75.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	4 100.0
70歳代	2 40.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0	1 20.0	5 100.0
80歳以上	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0

各年代で「交通の便が悪い」が高くなっている。

“60歳代”と“70歳代”以外では「買い物が不便」も高くなっている。

・有芸

	交通の便 が悪い	働く場所 が少ない	医療施設 が少ない	子育てが しにくい	買い物が 不便	公共施設 が不足	災害時の 不安があ る	新しい情 報が入り にくい	人が減って 地域社会の 維持が難し い	その他	無回答	計
18歳～20 歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40歳代	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
50歳代	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
60歳代	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
70歳代	3 75.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
80歳以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0

回答のあった“40歳代”以上では「交通の便が悪い」が高く、“50歳代”以上では「人が減って地域社会の維持が難しい」も高くなっている。

○三重クロス (家族構成、仕事)

・単身

	交通の便 が悪い	働く場所 が少ない	医療施設 が少ない	子育てが しにくい	買い物が 不便	公共施設 が不足	災害時の 不安があ る	新しい情 報が入り にくい	人が減って 地域社会の 維持が難し い	その他	無回答	計
農業	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
林業	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	3	1	3	0	2	0	1	0	2	0	0	5
	60.0	20.0	60.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	100.0
製造業	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0
商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス 業	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0
観光	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公務	3	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
主夫・主 婦	3	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無職	8	3	6	0	7	0	2	0	4	1	1	13
	61.5	23.1	46.2	0.0	53.8	0.0	15.4	0.0	30.8	7.7	7.7	100.0
その他	1	3	3	0	1	0	1	1	1	1	0	4
	25.0	75.0	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	100.0

単身者では多くの職業の方で「交通の便が悪い」が高くなっている。

“主夫・主婦”や“無職”では「交通の便が悪い」が最も高く、次いで「買い物が不便」が高くなっている。

・夫婦のみ

	交通の便 が悪い	働く場所 が少ない	医療施設 が少ない	子育てが しにくい	買い物が 不便	公共施設 が不足	災害時の 不安があ る	新しい情 報が入り にくい	人が減って 地域社会の 維持が難し い	その他	無回答	計
農業	1	0	4	0	2	0	1	0	3	1	0	5
	20.0	0.0	80.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0	100.0
林業	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	2
	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
製造業	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス 業	6	3	5	0	5	0	2	1	5	1	0	10
	60.0	30.0	50.0	0.0	50.0	0.0	20.0	10.0	50.0	10.0	0.0	100.0
観光	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
公務	4	2	1	0	2	1	0	0	2	0	1	5
	80.0	40.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	100.0
主夫・主 婦	11	3	7	0	12	0	2	0	4	0	0	13
	84.6	23.1	53.8	0.0	92.3	0.0	15.4	0.0	30.8	0.0	0.0	100.0
無職	7	1	6	0	8	0	5	0	4	0	0	11
	63.6	9.1	54.5	0.0	72.7	0.0	45.5	0.0	36.4	0.0	0.0	100.0
その他	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0

夫婦のみの場合は「交通の便が悪い」や「医療施設が少ない」「買い物が不便」が高い傾向にある。

“主夫・主婦”や“無職”では「買い物が不便」が最も高く、次いで「交通の便が悪い」、「医療施設が少ない」の順で高くなっている。

・親子

	交通の便 が悪い	働く場所 が少ない	医療施設 が少ない	子育てが しにくい	買い物が 不便	公共施設 が不足	災害時の 不安があ る	新しい情 報が入り にくい	人が減って 地域社会の 維持が難し い	その他	無回答	計
農業	1	1	1	0	1	0	1	1	3	0	0	4
	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	0.0	100.0
林業	1	1	1	1	0	1	2	0	4	1	0	4
	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	100.0	25.0	0.0	100.0
漁業	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2
	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
建設業	6	3	1	0	4	0	1	0	2	0	0	6
	100.0	50.0	16.7	0.0	66.7	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0
製造業	1	3	1	0	4	0	2	1	3	0	1	7
	14.3	42.9	14.3	0.0	57.1	0.0	28.6	14.3	42.9	0.0	14.3	100.0
商業	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
サービス 業	5	5	4	2	5	0	4	0	3	0	0	10
	50.0	50.0	40.0	20.0	50.0	0.0	40.0	0.0	30.0	0.0	0.0	100.0
観光	3	3	0	1	1	0	0	1	0	0	0	3
	100.0	100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0
公務	4	2	4	2	4	1	2	0	5	1	0	10
	40.0	20.0	40.0	20.0	40.0	10.0	20.0	0.0	50.0	10.0	0.0	100.0
主夫・主 婦	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	0.0	50.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無職	6	3	4	0	8	0	1	0	2	1	0	9
	66.7	33.3	44.4	0.0	88.9	0.0	11.1	0.0	22.2	11.1	0.0	100.0
その他	10	3	9	2	7	1	3	1	3	0	0	13
	76.9	23.1	69.2	15.4	53.8	7.7	23.1	7.7	23.1	0.0	0.0	100.0

親子では各職業で「交通の便が悪い」や「働く場所が少ない」「買い物が不便」が高い傾向にある。

“農業”、“林業”、“漁業”、“製造業”、“公務”では「人が減って地域社会の維持が難しい」も高い傾向にある。

・祖父母と親と子

	交通の便 が悪い	働く場所 が少ない	医療施設 が少ない	子育てが しにくい	買い物が 不便	公共施設 が不足	災害時の 不安があ る	新しい情 報が入り にくい	人が減って 地域社会の 維持が難し い	その他	無回答	計
農業	2	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	2
	100.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
林業	2	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
漁業	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
建設業	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス 業	3	3	2	1	3	1	0	0	1	0	0	5
	60.0	60.0	40.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	100.0
観光	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公務	0	1	2	2	1	1	1	0	0	1	0	3
	0.0	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0
主夫・主 婦	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
無職	1	0	2	0	1	0	1	0	1	0	0	2
	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
その他	1	1	0	0	2	0	1	0	1	0	0	2
	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0

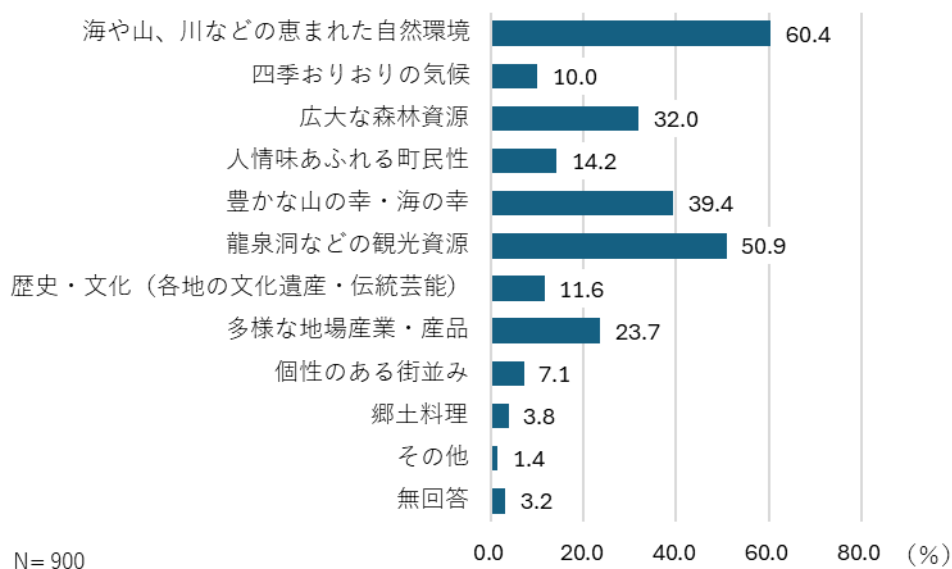
祖父母と親と子では「交通の便が悪い」や「人が減って地域社会の維持が難しい」が高い傾向にある。

問4 岩泉町が、将来に活かしていくべき個性や特徴としてどのようなものがあると思いますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 海や山、川などの恵まれた自然環境	544	60.4
2 四季おりおりの気候	90	10.0
3 広大な森林資源	288	32.0
4 人情味あふれる町民性	128	14.2
5 豊かな山の幸・海の幸	355	39.4
6 龍泉洞などの観光資源	458	50.9
7 歴史・文化(各地の文化遺産・伝統芸能)	104	11.6
8 多様な地場産業・産品	213	23.7
9 個性のある街並み	64	7.1
10 郷土料理	34	3.8
11 その他	13	1.4
無回答	29	3.2

有効票数 = 900

岩泉町が、将来に活かしていくべき個性や特徴について最も多いのは「海や山、川などの恵まれた自然環境」(60.4%)、次いで「龍泉洞などの観光資源」(50.9%)、「豊かな山の幸・海の幸」(39.4%)の順で多くなっています。



○クロス集計 (年代)

	海や山、川などの恵まれた自然環境	四季おりおりの気候	広大な森林資源	人情味あふれる町民性	豊かな山の幸・海の幸	龍泉洞などの観光資源	歴史・文化(各地の文化遺産・伝統芸能)	多様な地場産業・産品	個性のある街並み	郷土料理	その他	無回答	計
18歳～20歳代	32	8	20	9	16	36	9	7	2	0	1	0	50
	64.0	16.0	40.0	18.0	32.0	72.0	18.0	14.0	4.0	0.0	2.0	0.0	100.0
30歳代	56	8	32	9	34	52	12	13	4	5	0	1	85
	65.9	9.4	37.6	10.6	40.0	61.2	14.1	15.3	4.7	5.9	0.0	1.2	100.0
40歳代	81	14	41	17	51	72	25	24	8	6	1	1	131
	61.8	10.7	31.3	13.0	38.9	55.0	19.1	18.3	6.1	4.6	0.8	0.8	100.0
50歳代	58	10	31	11	44	54	12	22	6	8	3	2	103
	56.3	9.7	30.1	10.7	42.7	52.4	11.7	21.4	5.8	7.8	2.9	1.9	100.0
60歳代	118	19	54	16	82	82	21	56	14	8	4	0	183
	64.5	10.4	29.5	8.7	44.8	44.8	11.5	30.6	7.7	4.4	2.2	0.0	100.0
70歳代	125	23	65	40	80	99	19	67	14	5	3	6	211
	59.2	10.9	30.8	19.0	37.9	46.9	9.0	31.8	6.6	2.4	1.4	2.8	100.0
80歳以上	66	8	43	24	41	57	6	23	14	2	1	8	116
	56.9	6.9	37.1	20.7	35.3	49.1	5.2	19.8	12.1	1.7	0.9	6.9	100.0
無回答	8	0	2	2	7	6	0	1	2	0	0	10	20
	40.0	0.0	10.0	10.0	35.0	30.0	0.0	5.0	10.0	0.0	0.0	50.0	100.0
計	544	90	288	128	355	458	104	213	64	34	13	28	899
	60.5	10.0	32.0	14.2	39.5	50.9	11.6	23.7	7.1	3.8	1.4	3.1	100.0

有効票数 = 899

各年代で「海や山、川などの恵まれた自然環境」や「龍泉洞などの観光資源」、「豊かな山の幸・海の幸」が高い傾向にある。

特に「30歳代」以上では「海や山、川などの恵まれた自然環境」が最も高く、次いで「龍泉洞などの観光資源」が高くなっている。

○クロス集計 (出身地)

	海や山、川などの恵まれた自然環境	四季おりおりの気候	広大な森林資源	人情味あふれる町民性	豊かな山の幸・海の幸	龍泉洞などの観光資源	歴史・文化(各地の文化遺産・伝統芸能)	多様な地場産業・産品	個性のある街並み	郷土料理	その他	無回答	計
岩泉町内	425	67	220	91	272	360	78	167	52	24	11	13	688
	61.8	9.7	32.0	13.2	39.5	52.3	11.3	24.3	7.6	3.5	1.6	1.9	100.0
岩泉町以外の県内	68	15	37	13	51	64	15	27	7	7	1	0	111
	61.3	13.5	33.3	11.7	45.9	57.7	13.5	24.3	6.3	6.3	0.9	0.0	100.0
県外	18	2	8	9	14	13	6	7	2	3	0	1	31
	58.1	6.5	25.8	29.0	45.2	41.9	19.4	22.6	6.5	9.7	0.0	3.2	100.0
無回答	33	6	23	15	18	21	5	12	3	0	1	15	70
	47.1	8.6	32.9	21.4	25.7	30.0	7.1	17.1	4.3	0.0	1.4	21.4	100.0
計	544	90	288	128	355	458	104	213	64	34	13	29	900
	60.4	10.0	32.0	14.2	39.4	50.9	11.6	23.7	7.1	3.8	1.4	3.2	100.0

有効票数 = 900

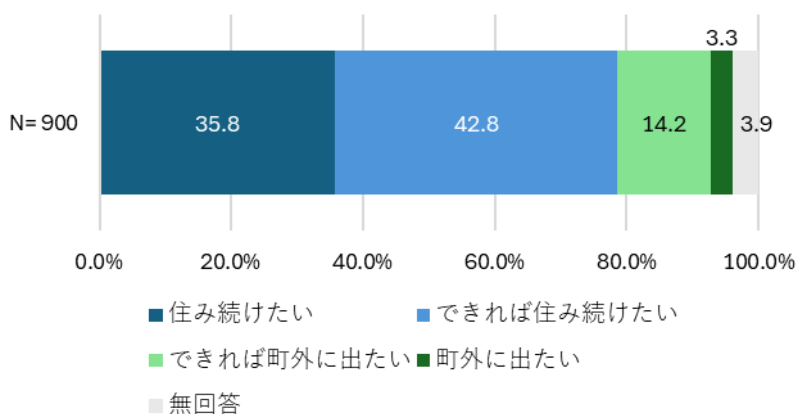
各出身地で「海や山、川などの恵まれた自然環境」が最も高く、次いで「龍泉洞などの観光資源」や「湯安宅な山の幸・海の幸」が高くなっている。

問5 これからも岩泉町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

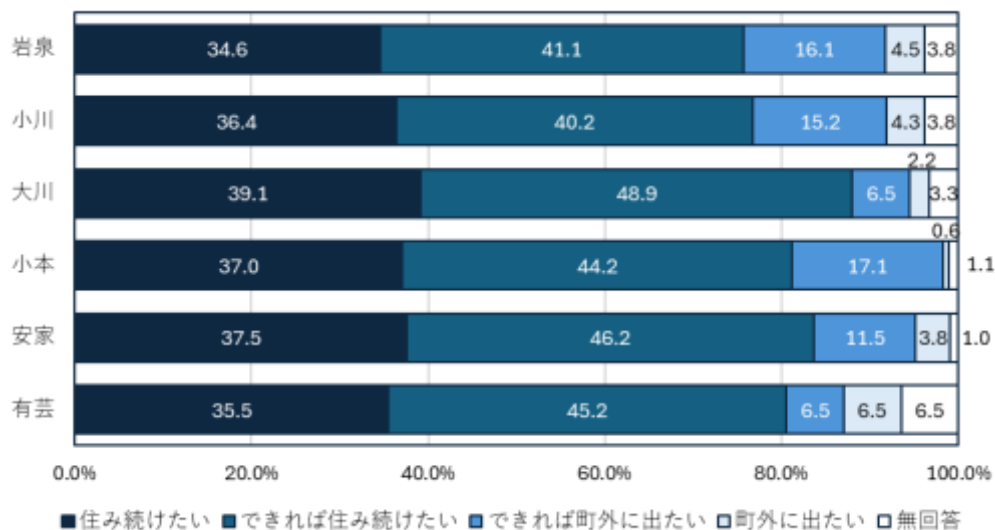
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 住み続けたい	322	35.8
2 できれば住み続けたい	385	42.8
3 できれば町外に出たい	128	14.2
4 町外に出たい	30	3.3
無回答	35	3.9

今後の岩泉町での居留意向で最も多いのは「できれば住み続けたい」(42.8%)、次いで「住み続けたい」(35.8%)、「できれば町外に出たい」(14.2%)の順で多くなっています。「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせると78.6%、「できれば町外に出たい」と「町外に出たい」を合わせると17.5%となっています。

有効票数 = 900



○クロス集計（住まいの地区）



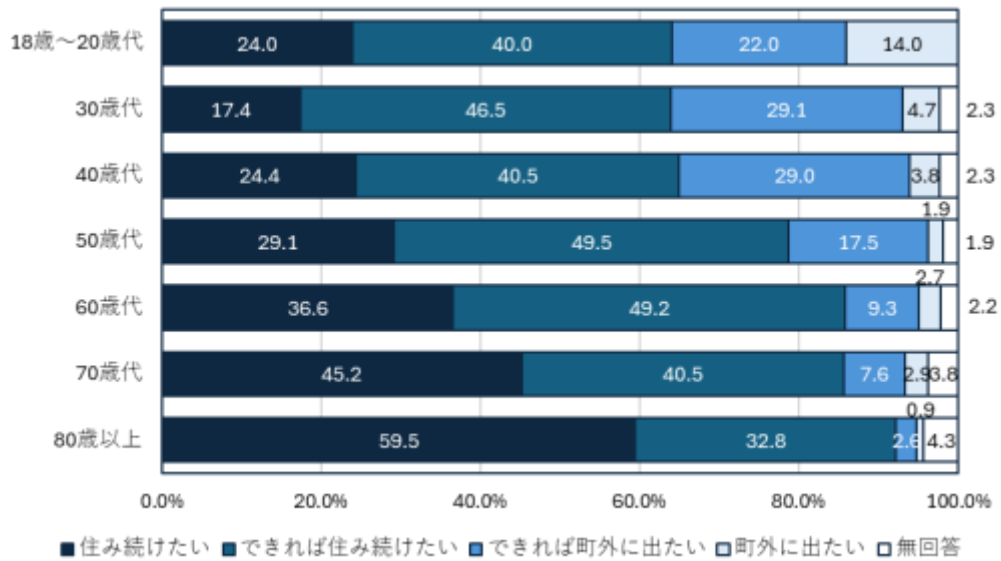
	住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば町外に出たい	町外に出たい	無回答	計
岩泉	101	120	47	13	11	292
	34.6	41.1	16.1	4.5	3.8	100.0
小川	67	74	28	8	7	184
	36.4	40.2	15.2	4.3	3.8	100.0
大川	36	45	6	2	3	92
	39.1	48.9	6.5	2.2	3.3	100.0
小本	67	80	31	1	2	181
	37.0	44.2	17.1	0.6	1.1	100.0
安家	39	48	12	4	1	104
	37.5	46.2	11.5	3.8	1.0	100.0
有芸	11	14	2	2	2	31
	35.5	45.2	6.5	6.5	6.5	100.0
無回答	1	4	0	0	9	14
	7.1	28.6	0.0	0.0	64.3	100.0
計	322	385	126	30	35	898
	35.9	42.9	14.0	3.3	3.9	100.0

有効票数 = 898

各地区で「できれば住み続けたい」が最も高く、次いで「住み続けたい」、「できれば町外に出たい」の順で高くなっている。

「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた割合の方が「できれば町外に出たい」と「町外に出たい」を合わせた割合よりも高く、特に、「大川」では「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の方が 79.3 ポイント高くなっている。

○クロス集計（年代）



	住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば町外に出たい	町外に出たい	無回答	計
18歳～20歳代	12	20	11	7	0	50
	24.0	40.0	22.0	14.0	0.0	100.0
30歳代	15	40	25	4	2	86
	17.4	46.5	29.1	4.7	2.3	100.0
40歳代	32	53	38	5	3	131
	24.4	40.5	29.0	3.8	2.3	100.0
50歳代	30	51	18	2	2	103
	29.1	49.5	17.5	1.9	1.9	100.0
60歳代	67	90	17	5	4	183
	36.6	49.2	9.3	2.7	2.2	100.0
70歳代	95	85	16	6	8	210
	45.2	40.5	7.6	2.9	3.8	100.0
80歳以上	69	38	3	1	5	116
	59.5	32.8	2.6	0.9	4.3	100.0
無回答	2	7	0	0	11	20
	10.0	35.0	0.0	0.0	55.0	100.0
計	322	384	128	30	35	899
	35.8	42.7	14.2	3.3	3.9	100.0

有効票数 = 899

“60 歳代”以下では「できれば住み続けたい」が最も高く、“70 歳代”以上では「住み続けたい」が最も高くなっている。

各年代で「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた割合の方が「できれば町外に出たい」と「町外に出たい」を合わせた割合よりも高く、特に“80 歳以上”では「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の方が 88.8 ポイント高くなっている。

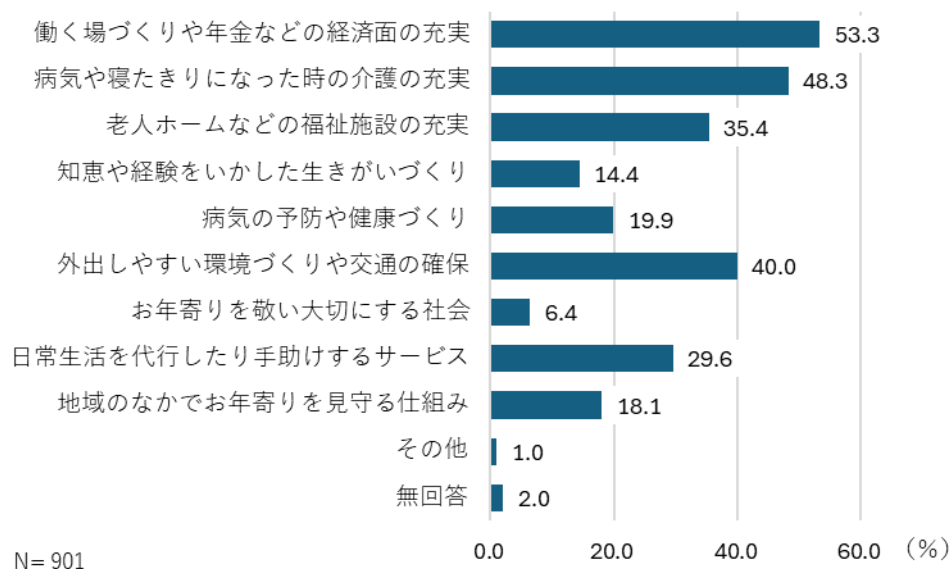
(3) 医療・福祉について

問6 より良い老後を送るために大切なことは何だと思えますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 働く場づくりや年金などの経済面の充実	480	53.3
2 病気や寝たきりになった時の介護の充実	435	48.3
3 老人ホームなどの福祉施設の充実	319	35.4
4 知恵や経験をいかした生きがいつくり	130	14.4
5 病気の予防や健康づくり	179	19.9
6 外出しやすい環境づくりや交通の確保	360	40.0
7 お年寄りを敬い大切にする社会	58	6.4
8 日常生活を代行したり手助けするサービス	267	29.6
9 地域のなかでお年寄りを見守る仕組み	163	18.1
10 その他	9	1.0
無回答	18	2.0

有効票数 = 901

より良い老後を送るために大切なことについて最も多いのは「働く場づくりや年金などの経済面の充実」(53.3%)、次いで「病気や寝たきりになった時の介護の充実」(48.3%)、「外出しやすい環境づくりや交通の確保」(40.0%)の順で多くなっています。



○クロス集計 (年代)

	働く場づくりや年金などの経済面の充実	病気や寝たきりになった時の介護の充実	老人ホームなどの福祉施設の充実	知恵や経験をいかした生きがいづくり	病気の予防や健康づくり	外出しやすい環境づくりや交通の確保	お年寄りを敬い大切にする社会	日常生活を代行したり手助けするサービス	地域のなかでお年寄りを見守る仕組み	その他	無回答	計
18歳～20歳代	33 66.0	18 36.0	13 26.0	10 20.0	13 26.0	29 58.0	2 4.0	10 20.0	3 6.0	2 4.0	0 0.0	50 100.0
30歳代	53 61.6	28 32.6	20 23.3	16 18.6	21 24.4	35 40.7	4 4.7	30 34.9	19 22.1	1 1.2	1 1.2	86 100.0
40歳代	81 61.8	50 38.2	33 25.2	20 15.3	30 22.9	65 49.6	8 6.1	33 25.2	25 19.1	2 1.5	1 0.8	131 100.0
50歳代	64 62.1	49 47.6	35 34.0	16 15.5	12 11.7	48 46.6	3 2.9	31 30.1	16 15.5	2 1.9	1 1.0	103 100.0
60歳代	119 65.0	90 49.2	62 33.9	30 16.4	33 18.0	71 38.8	12 6.6	53 29.0	29 15.8	1 0.5	0 0.0	183 100.0
70歳代	88 41.7	128 60.7	95 45.0	26 12.3	42 19.9	71 33.6	17 8.1	69 32.7	45 21.3	1 0.5	1 0.5	211 100.0
80歳以上	40 34.5	66 56.9	56 48.3	10 8.6	24 20.7	37 31.9	12 10.3	37 31.9	24 20.7	0 0.0	4 3.4	116 100.0
無回答	2 10.0	6 30.0	4 20.0	2 10.0	3 15.0	4 20.0	0 0.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	10 50.0	20 100.0
計	480 53.3	435 48.3	318 35.3	130 14.4	178 19.8	360 40.0	58 6.4	267 29.7	163 18.1	9 1.0	18 2.0	900 100.0

有効票数 = 900

“60歳代”以下では、「働く場づくりや年金などの経済面の充実」が最も高く、「病気や寝たきりになった時の介護の充実」や「外出しやすい環境づくりや交通の確保」が高い傾向にある。

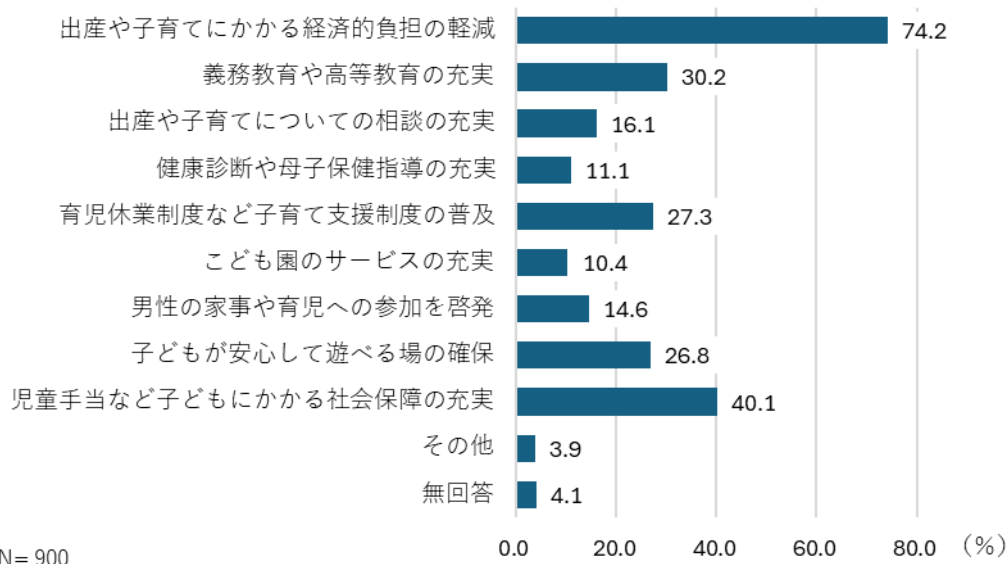
“70歳代”以上では「病気や寝たきりになった時の介護の充実」が最も高く、次いで「老人ホームなどの福祉施設の充実」、「働く場づくりや年金などの経済面の充実」の順で高くなっている。

問7 健やかに子どもを産み育てていくために大切なことは何だと思えますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 出産や子育てにかかる経済的負担の軽減	668	74.2
2 義務教育や高等教育の充実	272	30.2
3 出産や子育てについての相談の充実	145	16.1
4 健康診断や母子保健指導の充実	100	11.1
5 育児休業制度など子育て支援制度の普及	246	27.3
6 こども園のサービスの充実	94	10.4
7 男性の家事や育児への参加を啓発	131	14.6
8 子どもが安心して遊べる場の確保	241	26.8
9 児童手当など子どもにかかる社会保障の充実	361	40.1
10 その他	35	3.9
無回答	37	4.1

健やかに子どもを産み育てていくために大切なことについて最も多いのは「出産や子育てにかかる経済的負担の軽減」(74.2%)、次いで「児童手当など子どもにかかる社会保障の充実」(40.1%)、「義務教育や高等教育の充実」(30.2%)の順で多くなっています。

有効票数 = 900



○クロス集計 (年代)

	出産や子育てにかかる経済的負担の軽減	義務教育や高等教育の充実	出産や子育てについての相談の充実	健康診断や母子保健指導の充実	育児休業制度など子育て支援制度の普及	こども園のサービスの充実	男性の家事や育児への参加を啓発	子どもが安心して遊べる場の確保	児童手当など子どもにかかる社会保障の充実	その他	無回答	計
18歳～20歳代	40	12	7	7	15	7	7	25	18	3	0	50
	80.0	24.0	14.0	14.0	30.0	14.0	14.0	50.0	36.0	6.0	0.0	100.0
30歳代	65	21	14	13	25	14	15	31	35	5	0	86
	75.6	24.4	16.3	15.1	29.1	16.3	17.4	36.0	40.7	5.8	0.0	100.0
40歳代	94	40	20	10	28	12	24	51	57	11	0	131
	71.8	30.5	15.3	7.6	21.4	9.2	18.3	38.9	43.5	8.4	0.0	100.0
50歳代	76	30	14	4	25	14	14	28	47	6	2	103
	73.8	29.1	13.6	3.9	24.3	13.6	13.6	27.2	45.6	5.8	1.9	100.0
60歳代	145	61	34	22	61	16	32	28	66	5	4	182
	79.7	33.5	18.7	12.1	33.5	8.8	17.6	15.4	36.3	2.7	2.2	100.0
70歳代	164	66	33	22	58	19	23	50	93	4	10	211
	77.7	31.3	15.6	10.4	27.5	9.0	10.9	23.7	44.1	1.9	4.7	100.0
80歳以上	79	39	20	20	31	12	15	25	41	1	9	116
	68.1	33.6	17.2	17.2	26.7	10.3	12.9	21.6	35.3	0.9	7.8	100.0
無回答	5	3	3	2	3	0	1	3	4	0	11	20
	25.0	15.0	15.0	10.0	15.0	0.0	5.0	15.0	20.0	0.0	55.0	100.0
計	668	272	145	100	246	94	131	241	361	35	36	899
	74.3	30.3	16.1	11.1	27.4	10.5	14.6	26.8	40.2	3.9	4.0	100.0

有効票数 = 899

各年代で「出産や子育てにかかる経済的負担の軽減」が最も高くなっている。

“40歳代”以下では、その他に「子どもが安心して遊べる場の確保」や「児童手当など子どもにかかる社会保障の充実」が高い傾向にある。

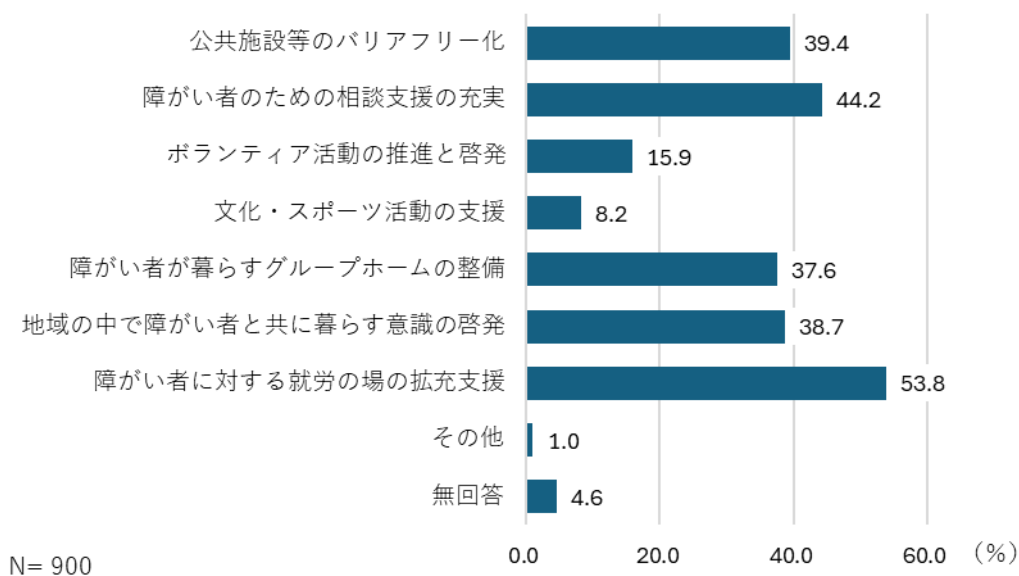
“50歳代”以上では、2番目に「児童手当など子どもにかかる社会保障の充実」が高く、次いで「義務教育や高等教育の充実」が高くなっている。

問8 障がいのある人が地域で共に暮らすために大切なことは何だと思いますか。（3つ以内に○）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 公共施設等のバリアフリー化	355	39.4
2 障がい者のための相談支援の充実	398	44.2
3 ボランティア活動の推進と啓発	143	15.9
4 文化・スポーツ活動の支援	74	8.2
5 障がい者が暮らすグループホームの整備	338	37.6
6 地域の中で障がい者と共に暮らす意識の啓発	348	38.7
7 障がい者に対する就労の場の拡充支援	484	53.8
8 その他	9	1.0
無回答	41	4.6

有効票数 = 900

障がいがある人が地域で共に暮らすために大切なことについて最も多いのは「障がい者に対する就労の場の拡充支援」（53.8%）、次いで「障がい者のための相談支援の充実」（44.2%）、「公共施設等のバリアフリー化」（39.4%）の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	公共施設等のバリアフリー化	障がい者のための相談支援の充実	ボランティア活動の推進と啓発	文化・スポーツ活動の支援	障がい者が暮らすグループホームの整備	地域の中で障がい者と共に暮らす意識の啓発	障がい者に対する就労の場の拡充支援	その他	無回答	計
18歳～20歳代	31	18	7	11	16	14	25	1	1	50
	62.0	36.0	14.0	22.0	32.0	28.0	50.0	2.0	2.0	100.0
30歳代	42	28	15	12	27	33	51	2	0	86
	48.8	32.6	17.4	14.0	31.4	38.4	59.3	2.3	0.0	100.0
40歳代	47	52	17	14	43	55	80	4	2	131
	35.9	39.7	13.0	10.7	32.8	42.0	61.1	3.1	1.5	100.0
50歳代	37	47	13	9	42	29	61	1	3	103
	35.9	45.6	12.6	8.7	40.8	28.2	59.2	1.0	2.9	100.0
60歳代	85	82	27	17	71	72	105	1	3	183
	46.4	44.8	14.8	9.3	38.8	39.3	57.4	0.5	1.6	100.0
70歳代	74	99	42	6	81	95	108	0	15	211
	35.1	46.9	19.9	2.8	38.4	45.0	51.2	0.0	7.1	100.0
80歳以上	37	66	20	5	53	48	49	0	6	115
	32.2	57.4	17.4	4.3	46.1	41.7	42.6	0.0	5.2	100.0
無回答	2	6	1	0	5	2	5	0	11	20
	10.0	30.0	5.0	0.0	25.0	10.0	25.0	0.0	55.0	100.0
計	355	398	142	74	338	348	484	9	41	899
	39.5	44.3	15.8	8.2	37.6	38.7	53.8	1.0	4.6	100.0

有効票数 = 899

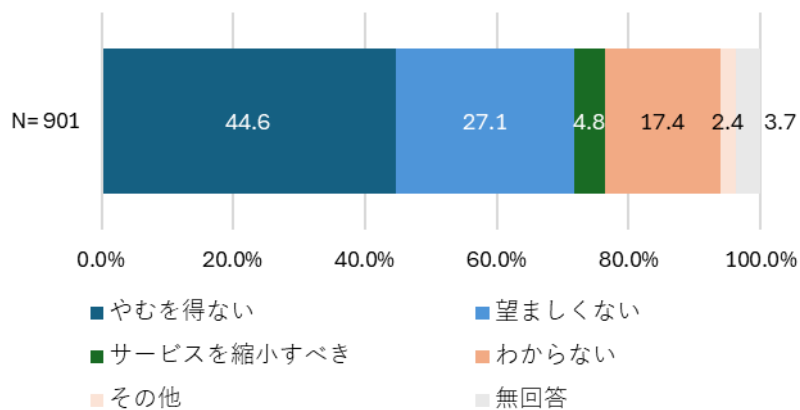
各年代で「障がい者に対する就労の場の拡充支援」や「障がい者のための相談支援の充実」が高い傾向にある。
 “18歳～20歳代”では、「公共施設等のバリアフリー化」が最も高く、“80歳以上”では「障がい者のための相談支援の充実」が最も高くなっている。それ以外では「障がい者に対する就労の場の拡充支援」が最も高くなっている。

問9 高齢化や少子化が進むなかで、福祉サービスを維持していくためにはこれまで以上にみなさんの負担が増えていくことが予想されますが、このことについてどうお考えですか。（1つに○）

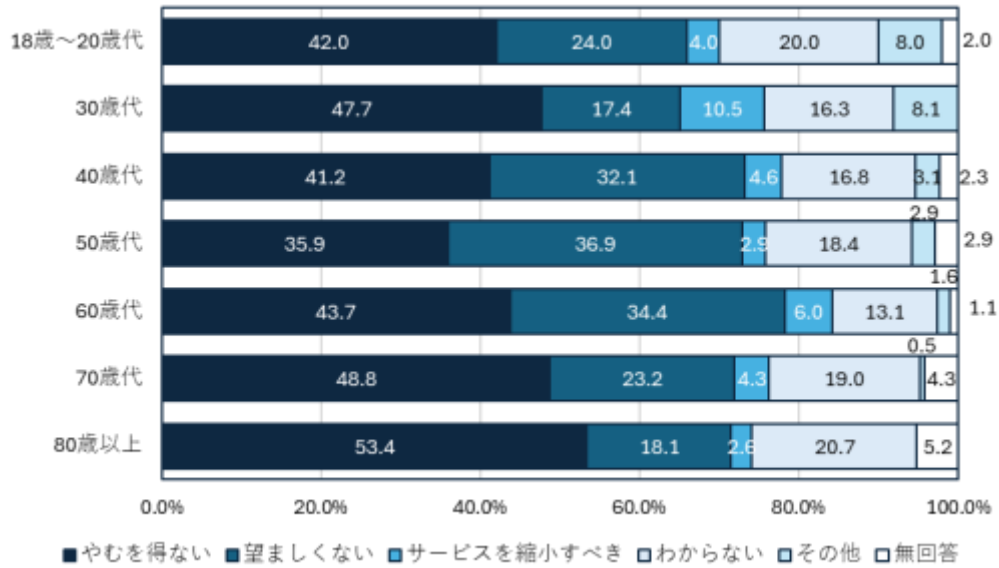
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 やむを得ない	402	44.6
2 望ましくない	244	27.1
3 サービスを縮小すべき	43	4.8
4 わからない	157	17.4
5 その他	22	2.4
無回答	33	3.7

福祉サービス維持のために町民の負担が増加することについて最も多いのは「やむを得ない」(44.6%)、次いで「望ましくない」(27.1%)、「わからない」(17.4%)の順で多くなっています。

有効票数 = 901



○クロス集計 (年代)



	やむを得ない	望ましくない	サービスを縮小すべき	わからない	その他	無回答	計
18歳～20歳代	21	12	2	10	4	1	50
	42.0	24.0	4.0	20.0	8.0	2.0	100.0
30歳代	41	15	9	14	7	0	86
	47.7	17.4	10.5	16.3	8.1	0.0	100.0
40歳代	54	42	6	22	4	3	131
	41.2	32.1	4.6	16.8	3.1	2.3	100.0
50歳代	37	38	3	19	3	3	103
	35.9	36.9	2.9	18.4	2.9	2.9	100.0
60歳代	80	63	11	24	3	2	183
	43.7	34.4	6.0	13.1	1.6	1.1	100.0
70歳代	103	49	9	40	1	9	211
	48.8	23.2	4.3	19.0	0.5	4.3	100.0
80歳以上	62	21	3	24	0	6	116
	53.4	18.1	2.6	20.7	0.0	5.2	100.0
無回答	4	3	0	4	0	9	20
	20.0	15.0	0.0	20.0	0.0	45.0	100.0
計	402	243	43	157	22	33	900
	44.7	27.0	4.8	17.4	2.4	3.7	100.0

有効票数 = 900

“50歳代”と“80歳以上”以外では「やむを得ない」が最も高く、次いで「望ましくない」、「わからない」の順で高くなっている。

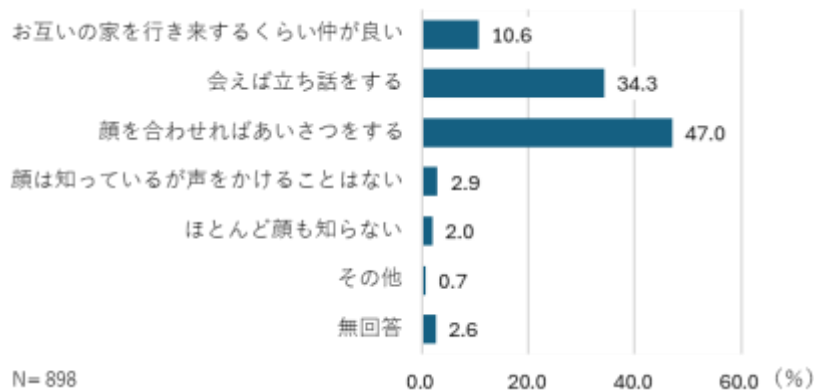
(4) 社会参加について

問10 あなたは、地域の人とどのくらい関わりますか。(1つに○)

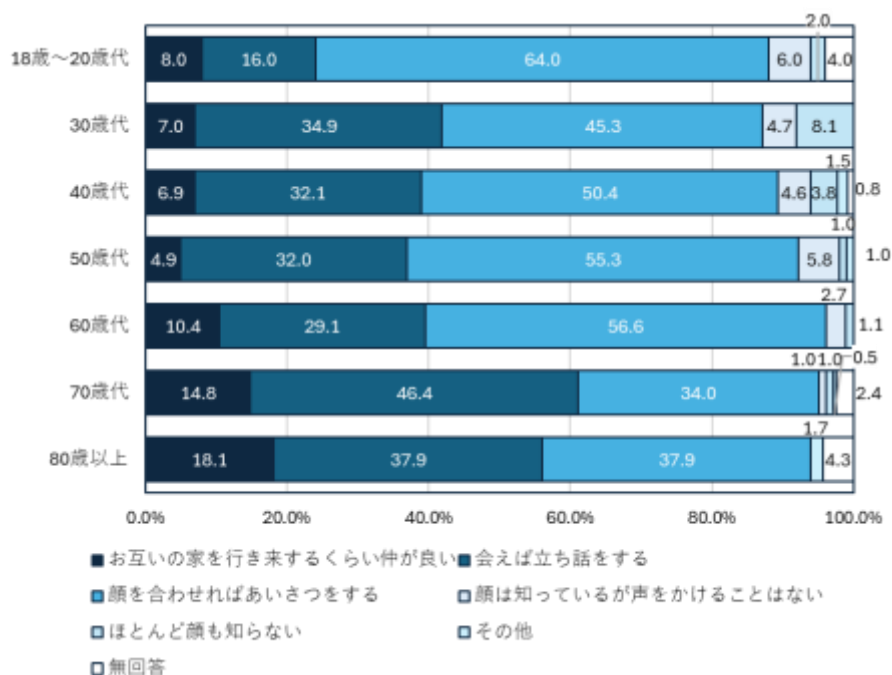
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 お互いの家を行き来するくらい仲が良い	95	10.6
2 会えば立ち話をする	308	34.3
3 顔を合わせればあいさつをする	422	47.0
4 顔は知っているが声をかけることはない	26	2.9
5 ほとんど顔も知らない	18	2.0
6 その他	6	0.7
無回答	23	2.6

地域の人とどのくらい関わりがあるかについて最も多いのは「顔を合わせればあいさつをする」(47.0%)、次いで「会えば立ち話をする」(34.3%)、「お互いの家を行き来するくらい仲が良い」(10.6%)の順で多くなっています。

有効票数 = 898



○クロス集計 (年代)



	お互いの 家を行き 来するく らい仲が 良い	会えば立 ち話をす る	顔を合わ せればあ いさつを する	顔は知っ ているが 声をかけ ることは ない	ほとんど 顔も知ら ない	その他	無回答	計
18歳～20歳代	4	8	32	3	1	0	2	50
	8.0	16.0	64.0	6.0	2.0	0.0	4.0	100.0
30歳代	6	30	39	4	7	0	0	86
	7.0	34.9	45.3	4.7	8.1	0.0	0.0	100.0
40歳代	9	42	66	6	5	2	1	131
	6.9	32.1	50.4	4.6	3.8	1.5	0.8	100.0
50歳代	5	33	57	6	1	1	0	103
	4.9	32.0	55.3	5.8	1.0	1.0	0.0	100.0
60歳代	19	53	103	5	2	0	0	182
	10.4	29.1	56.6	2.7	1.1	0.0	0.0	100.0
70歳代	31	97	71	2	2	1	5	209
	14.8	46.4	34.0	1.0	1.0	0.5	2.4	100.0
80歳以上	21	44	44	0	0	2	5	116
	18.1	37.9	37.9	0.0	0.0	1.7	4.3	100.0
無回答	0	1	9	0	0	0	10	20
	0.0	5.0	45.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0
計	95	308	421	26	18	6	23	897
	10.6	34.3	46.9	2.9	2.0	0.7	2.6	100.0

有効票数 = 897

“60歳代”以下では「顔を合わせればあいさつをする」が最も高く、次いで「会えば立ち話をする」が高くなっている。

“70歳代”以上では「会えば立ち話をする」が最も高くなっている。

“30歳代”と“50歳代”以外では3番目に「お互いの家を行き来するくらい仲が良い」が高くなっている。

“30歳代”は3番目に「ほとんど顔も知らない」が高く、“50歳代”では3番目に「顔は知っているが声をかけることはない」が高くなっている。

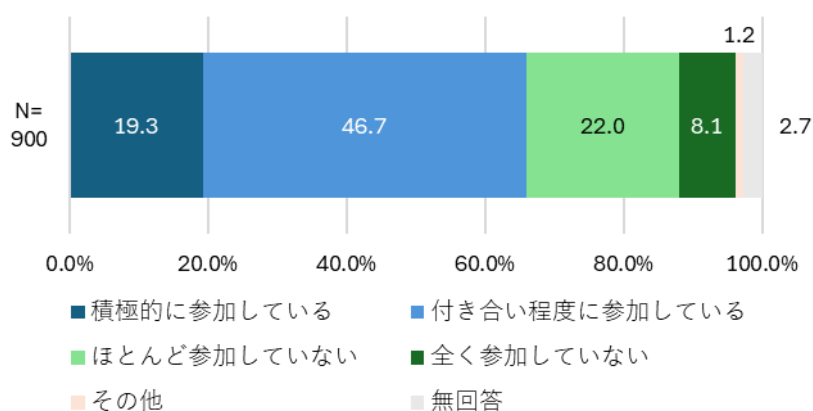
問 11 あなたは、地域活動にどのくらい参加していますか。(1つに○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 積極的に参加している	174	19.3
2 付き合い程度に参加している	420	46.7
3 ほとんど参加していない	198	22.0
4 全く参加していない	73	8.1
5 その他	11	1.2
無回答	24	2.7

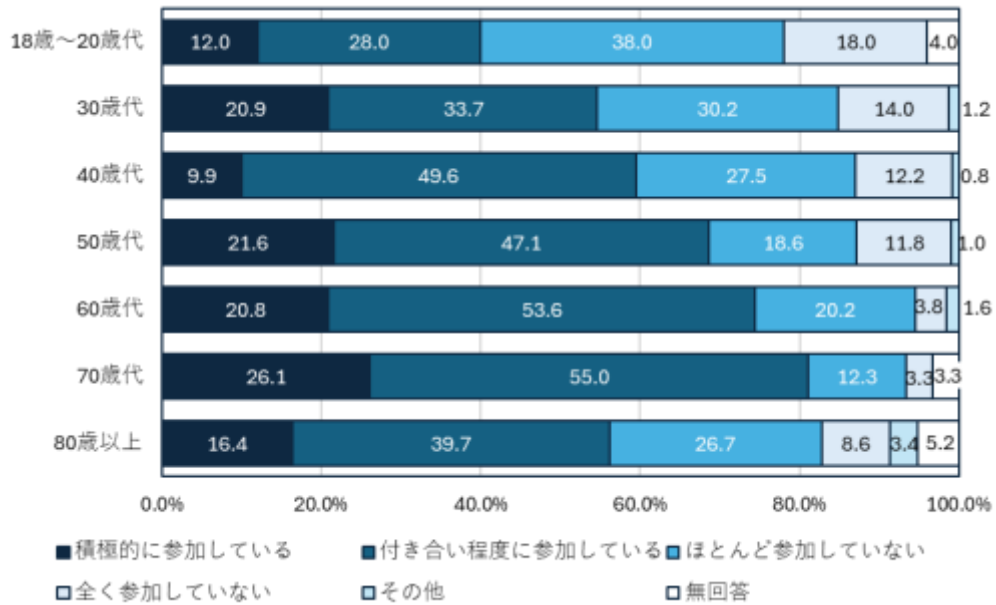
地域活動の参加について最も多いのは「付き合い程度に参加している」(46.7%)、次いで「ほとんど参加していない」(22.0%)、「積極的に参加している」(19.3%)の順で多くなっています。

「積極的に参加している」と「付き合い程度に参加している」を合わせると66.0%、「ほとんど参加していない」と「全く参加していない」を合わせると30.1%となっています。

有効票数 = 900



○クロス集計 (年代)



	積極的に参加している	付き合い程度に参加している	ほとんど参加していない	全く参加していない	その他	無回答	計
18歳～20歳代	6	14	19	9	0	2	50
	12.0	28.0	38.0	18.0	0.0	4.0	100.0
30歳代	18	29	26	12	1	0	86
	20.9	33.7	30.2	14.0	1.2	0.0	100.0
40歳代	13	65	36	16	1	0	131
	9.9	49.6	27.5	12.2	0.8	0.0	100.0
50歳代	22	48	19	12	1	0	102
	21.6	47.1	18.6	11.8	1.0	0.0	100.0
60歳代	38	98	37	7	3	0	183
	20.8	53.6	20.2	3.8	1.6	0.0	100.0
70歳代	55	116	26	7	0	7	211
	26.1	55.0	12.3	3.3	0.0	3.3	100.0
80歳以上	19	46	31	10	4	6	116
	16.4	39.7	26.7	8.6	3.4	5.2	100.0
無回答	2	4	4	0	1	9	20
	10.0	20.0	20.0	0.0	5.0	45.0	100.0
計	173	420	198	73	11	24	899
	19.2	46.7	22.0	8.1	1.2	2.7	100.0

有効票数 = 899

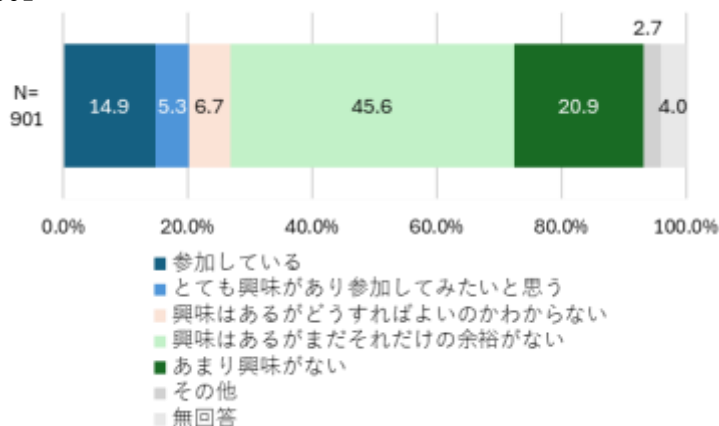
“18歳～20歳代”以外では「付き合い程度に参加している」が最も高くなっている。“18歳～20歳代”では「ほとんど参加していない」が最も高く、次いで「付き合い程度に参加している」、「全く参加していない」の順で高くなっている。

問 12 あなたは、ボランティア活動に参加・体験していますか。(1つに○)

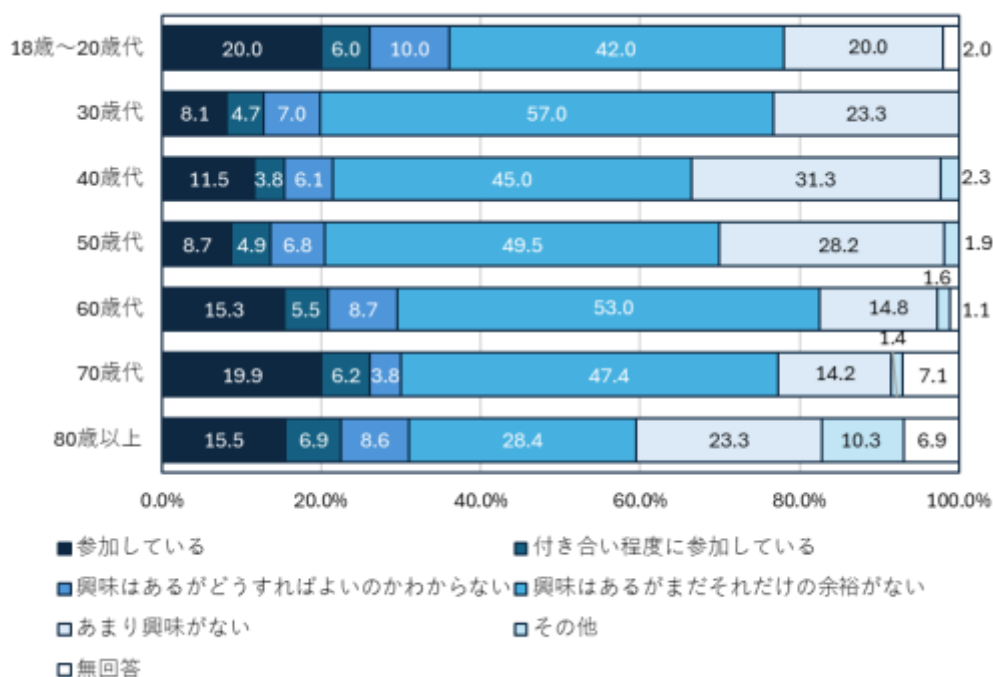
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 参加している	134	14.9
2 とても興味があり参加してみたいと思う	48	5.3
3 興味はあるがどうすればよいのかわからない	60	6.7
4 興味はあるがまだそれだけの余裕がない	411	45.6
5 あまり興味がない	188	20.9
6 その他	24	2.7
無回答	36	4.0

ボランティア活動の参加・体験について最も多いのは「興味はあるがまだそれだけの余裕がない」(45.6%)、次いで「あまり興味がない」(20.9%)、「参加している」(14.9%)の順で多くなっています。

有効票数 = 901



○クロス集計 (年代)



	参加して いる	とても興 味があり 参加して みたいと 思う	興味はあ るがどう すればよ いのかわ からない	興味はあ るがまだ それだけ の余裕が ない	あまり興 味がない	その他	無回答	計
18歳～20歳代	10	3	5	21	10	0	1	50
	20.0	6.0	10.0	42.0	20.0	0.0	2.0	100.0
30歳代	7	4	6	49	20	0	0	86
	8.1	4.7	7.0	57.0	23.3	0.0	0.0	100.0
40歳代	15	5	8	59	41	3	0	131
	11.5	3.8	6.1	45.0	31.3	2.3	0.0	100.0
50歳代	9	5	7	51	29	2	0	103
	8.7	4.9	6.8	49.5	28.2	1.9	0.0	100.0
60歳代	28	10	16	97	27	3	2	183
	15.3	5.5	8.7	53.0	14.8	1.6	1.1	100.0
70歳代	42	13	8	100	30	3	15	211
	19.9	6.2	3.8	47.4	14.2	1.4	7.1	100.0
80歳以上	18	8	10	33	27	12	8	116
	15.5	6.9	8.6	28.4	23.3	10.3	6.9	100.0
無回答	5	0	0	1	4	1	9	20
	25.0	0.0	0.0	5.0	20.0	5.0	45.0	100.0
計	134	48	60	411	188	24	35	900
	14.9	5.3	6.7	45.7	20.9	2.7	3.9	100.0

有効票数 = 900

各年代で「興味はあるがまだそれだけの余裕がない」が最も高くなっている。その他「参加している」や「あまり興味がない」が高い傾向にある。

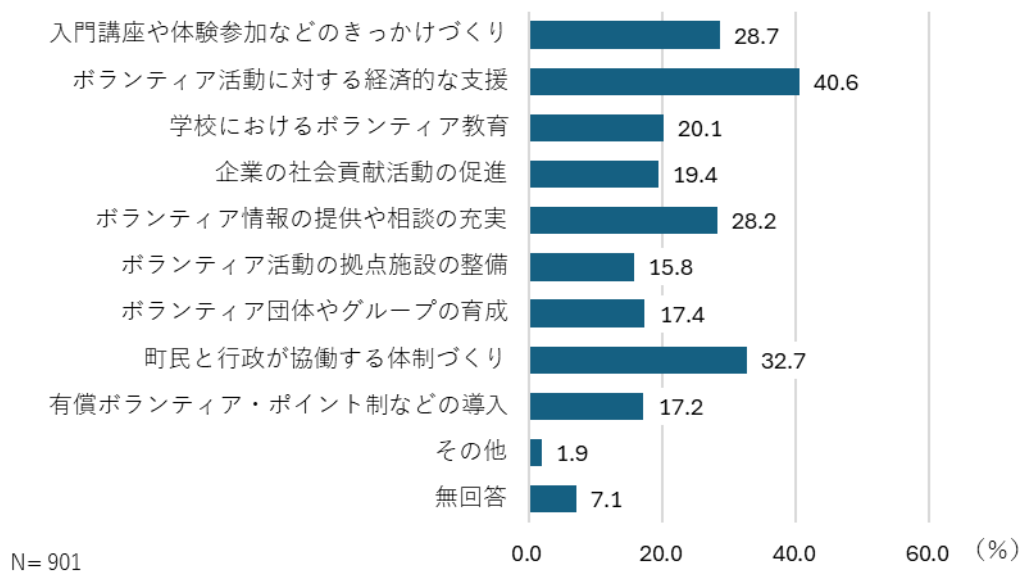
“60歳代”と“70歳代”では2番目に「参加している」が高く、次いで「あまり興味がない」の順で高くなっている。

問 13 ボランティア活動の活性化のために大切なことは何だと思いますか。（3つ以内に○）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 入門講座や体験参加などのきっかけづくり	259	28.7
2 ボランティア活動に対する経済的な支援	366	40.6
3 学校におけるボランティア教育	181	20.1
4 企業の社会貢献活動の促進	175	19.4
5 ボランティア情報の提供や相談の充実	254	28.2
6 ボランティア活動の拠点施設の整備	142	15.8
7 ボランティア団体やグループの育成	157	17.4
8 町民と行政が協働する体制づくり	295	32.7
9 有償ボランティア・ポイント制などの導入	155	17.2
10 その他	17	1.9
無回答	64	7.1

ボランティア活動の活性化のために大切なことについて最も多いのは「ボランティア活動に対する経済的な支援」（40.6%）、次いで「町民と行政が協働する体制づくり」（32.7%）、「入門講座や体験参加などのきっかけづくり」（28.7%）の順で多くなっています。

有効票数 = 901



○クロス集計（性別）

	入門講座や体験参加などのきっかけづくり	ボランティア活動に対する経済的な支援	学校におけるボランティア教育	企業の社会貢献活動の促進	ボランティア情報の提供や相談の充実	ボランティア活動の拠点施設の整備	ボランティア団体やグループの育成	町民と行政が協働する体制づくり	有償ボランティア・ポイント制などの導入	その他	無回答	計
男性	102	205	76	93	110	73	72	133	75	9	19	413
	24.7	49.6	18.4	22.5	26.6	17.7	17.4	32.2	18.2	2.2	4.6	100.0
女性	146	146	94	72	133	64	76	150	71	7	28	432
	33.8	33.8	21.8	16.7	30.8	14.8	17.6	34.7	16.4	1.6	6.5	100.0
回答しない	4	6	5	7	7	3	1	3	7	0	2	18
	22.2	33.3	27.8	38.9	38.9	16.7	5.6	16.7	38.9	0.0	11.1	100.0
無回答	7	9	6	3	4	2	8	9	2	1	14	37
	18.9	24.3	16.2	8.1	10.8	5.4	21.6	24.3	5.4	2.7	37.8	100.0
計	259	366	181	175	254	142	157	295	155	17	63	900
	28.8	40.7	20.1	19.4	28.2	15.8	17.4	32.8	17.2	1.9	7.0	100.0

有効票数 = 900

「男性」では「ボランティア活動に対する経済的な支援」が最も高く、次いで「町民と行政が協働する体制づくり」、「ボランティア情報の提供や相談の充実」の順で高くなっている。

「女性」では「町民と行政が協働する体制づくり」が最も高く、次いで「入門講座や体験参加などのきっかけづくり」「ボランティア活動に対する経済的な支援」が高くなっている。

「回答しない」では「企業の社会貢献活動の促進」、「ボランティア情報の提供や相談の充実」、「有償ボランティア・ポイント制などの導入」が高くなっている。

○クロス集計（年代）

	入門講座や体験参加などのきっかけづくり	ボランティア活動に対する経済的な支援	学校におけるボランティア教育	企業の社会貢献活動の促進	ボランティア情報の提供や相談の充実	ボランティア活動の拠点施設の整備	ボランティア団体やグループの育成	町民と行政が協働する体制づくり	有償ボランティア・ポイント制などの導入	その他	無回答	計
18歳～20歳代	16	18	12	17	13	5	11	12	12	1	2	50
	32.0	36.0	24.0	34.0	26.0	10.0	22.0	24.0	24.0	2.0	4.0	100.0
30歳代	30	31	20	23	20	15	11	25	20	2	1	86
	34.9	36.0	23.3	26.7	23.3	17.4	12.8	29.1	23.3	2.3	1.2	100.0
40歳代	44	42	28	26	40	24	15	31	36	3	4	131
	33.6	32.1	21.4	19.8	30.5	18.3	11.5	23.7	27.5	2.3	3.1	100.0
50歳代	25	51	20	28	27	16	19	29	17	2	3	103
	24.3	49.5	19.4	27.2	26.2	15.5	18.4	28.2	16.5	1.9	2.9	100.0
60歳代	58	88	32	34	56	32	35	57	39	6	3	183
	31.7	48.1	17.5	18.6	30.6	17.5	19.1	31.1	21.3	3.3	1.6	100.0
70歳代	56	91	41	27	71	32	35	84	22	1	23	211
	26.5	43.1	19.4	12.8	33.6	15.2	16.6	39.8	10.4	0.5	10.9	100.0
80歳以上	29	42	25	20	26	17	28	50	9	2	15	116
	25.0	36.2	21.6	17.2	22.4	14.7	24.1	43.1	7.8	1.7	12.9	100.0
無回答	1	3	3	0	1	1	3	7	0	0	12	20
	5.0	15.0	15.0	0.0	5.0	5.0	15.0	35.0	0.0	0.0	60.0	100.0
計	259	366	181	175	254	142	157	295	155	17	63	900
	28.8	40.7	20.1	19.4	28.2	15.8	17.4	32.8	17.2	1.9	7.0	100.0

有効票数 = 900

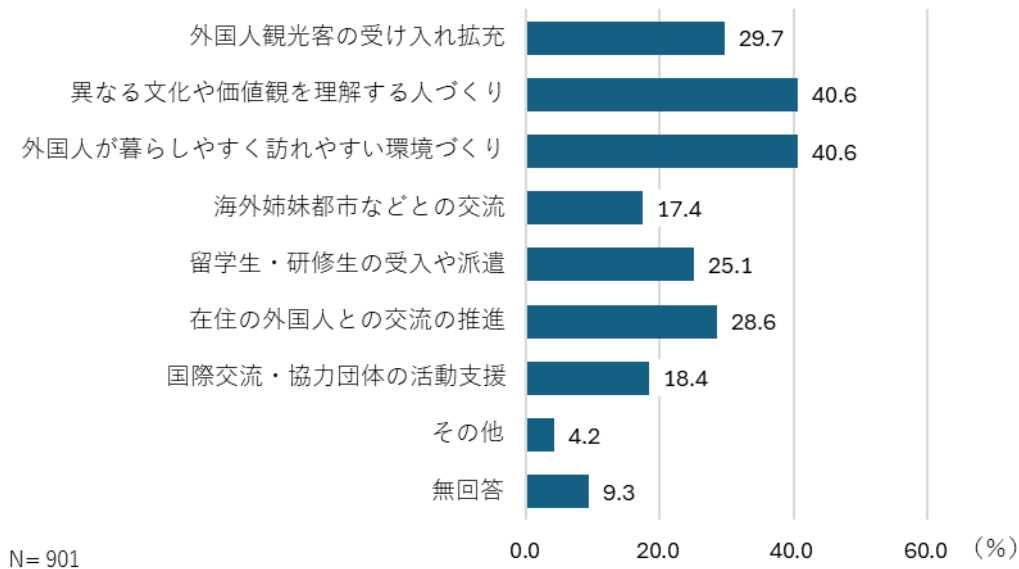
各年代で「ボランティア活動に対する経済的な支援」や「入門講座や体験参加などのきっかけづくり」が高くなっている。

問 14 国際化を進めていくうえで大切なことは何だと思えますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 外国人観光客の受け入れ拡充	268	29.7
2 異なる文化や価値観を理解する人づくり	366	40.6
3 外国人が暮らしやすく訪れやすい環境づくり	366	40.6
4 海外姉妹都市などとの交流	157	17.4
5 留学生・研修生の受入や派遣	226	25.1
6 在住の外国人との交流の推進	258	28.6
7 国際交流・協力団体の活動支援	166	18.4
8 その他	38	4.2
無回答	84	9.3

有効票数 = 901

国際化を進めていくうえで大切なことについて最も多いのは「異なる文化や価値観を理解する人づくり」(40.6%)、「外国人が暮らしやすく訪れやすい環境づくり」(40.6%)、次いで「外国人観光客の受け入れ拡充」(29.7%)の順で多くなっています。



○クロス集計 (年代)

	外国人観光客の受け入れ拡充	異なる文化や価値観を理解する人づくり	外国人が暮らしやすく訪れやすい環境づくり	海外姉妹都市などとの交流	留学生・研修生の受入や派遣	在住の外国人との交流の推進	国際交流・協力団体の活動支援	その他	無回答	計
18歳～20歳代	18	19	19	11	13	18	11	1	3	50
	36.0	38.0	38.0	22.0	26.0	36.0	22.0	2.0	6.0	100.0
30歳代	27	39	33	17	17	28	22	6	2	86
	31.4	45.3	38.4	19.8	19.8	32.6	25.6	7.0	2.3	100.0
40歳代	44	55	54	26	24	44	15	8	3	131
	33.6	42.0	41.2	19.8	18.3	33.6	11.5	6.1	2.3	100.0
50歳代	38	35	49	12	29	33	15	4	4	103
	36.9	34.0	47.6	11.7	28.2	32.0	14.6	3.9	3.9	100.0
60歳代	57	91	69	21	58	58	29	6	9	183
	31.1	49.7	37.7	11.5	31.7	31.7	15.8	3.3	4.9	100.0
70歳代	46	76	87	33	53	56	51	8	35	211
	21.8	36.0	41.2	15.6	25.1	26.5	24.2	3.8	16.6	100.0
80歳以上	37	45	51	35	29	17	22	5	15	116
	31.9	38.8	44.0	30.2	25.0	14.7	19.0	4.3	12.9	100.0
無回答	1	6	4	2	3	4	1	0	12	20
	5.0	30.0	20.0	10.0	15.0	20.0	5.0	0.0	60.0	100.0
計	268	366	366	157	226	258	166	38	83	900
	29.8	40.7	40.7	17.4	25.1	28.7	18.4	4.2	9.2	100.0

有効票数 = 900

各年代で「異なる文化や価値観を理解する人づくり」と、「外国人が暮らしやすく訪れやすい環境づくり」、「外国人観光客の受け入れ拡充」の割合が高くなっている。

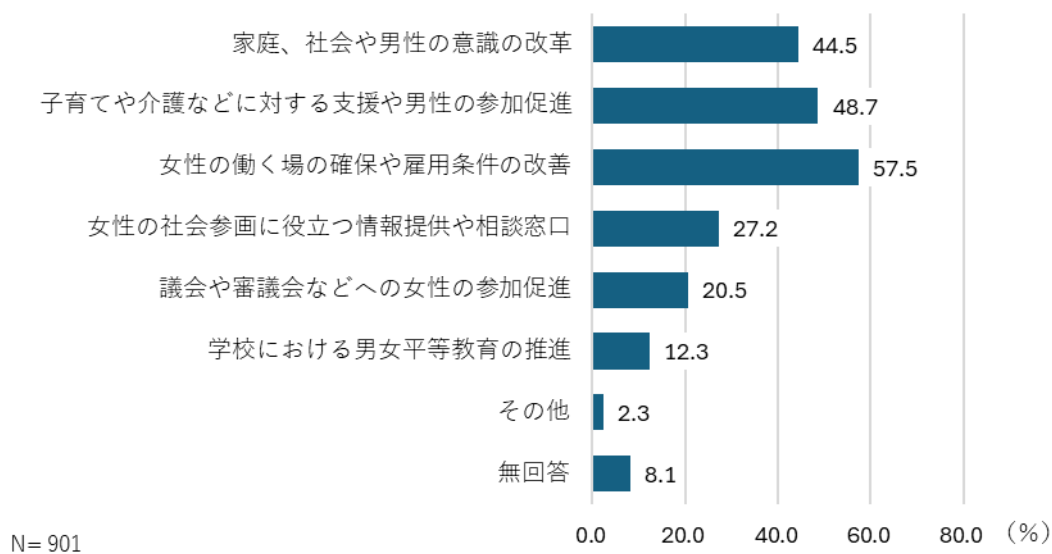
また、「50歳代」と「80歳以上」では「在住の外国人との交流の推進」が3番目に高くなっている。

問 15 女性の社会参画を進めていくうえで大切なことは何だと思いますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 家庭、社会や男性の意識の改革	401	44.5
2 子育てや介護などに対する支援や男性の参加促進	439	48.7
3 女性の働く場の確保や雇用条件の改善	518	57.5
4 女性の社会参画に役立つ情報提供や相談窓口	245	27.2
5 議会や審議会などへの女性の参加促進	185	20.5
6 学校における男女平等教育の推進	111	12.3
7 その他	21	2.3
無回答	73	8.1

有効票数 = 901

女性の社会参画を進めていくうえで大切なことについて最も多いのは「女性の働く場の確保や雇用条件の改善」(57.5%)、次いで「子育てや介護などに対する支援や男性の参加促進」(48.7%)、「家庭、社会や男性の意識の改革」(44.5%)の順で多くなっています。



○クロス集計（性別）

	家庭、社会や男性の意識の改革	子育てや介護などに対する支援や男性の参加促進	女性の働く場の確保や雇用条件の改善	女性の社会参画に役立つ情報提供や相談窓口	議会や審議会などへの女性の参加促進	学校における男女平等教育の推進	その他	無回答	計
男性	178	188	244	118	105	46	14	25	413
	43.1	45.5	59.1	28.6	25.4	11.1	3.4	6.1	100.0
女性	205	227	247	115	72	54	7	34	432
	47.5	52.5	57.2	26.6	16.7	12.5	1.6	7.9	100.0
回答しない	8	8	12	5	3	6	0	2	18
	44.4	44.4	66.7	27.8	16.7	33.3	0.0	11.1	100.0
無回答	10	16	15	7	5	5	0	11	37
	27.0	43.2	40.5	18.9	13.5	13.5	0.0	29.7	100.0
計	401	439	518	245	185	111	21	72	900
	44.6	48.8	57.6	27.2	20.6	12.3	2.3	8.0	100.0

有効票数 = 900

各性別で「女性の働く場の確保や雇用条件の改善」が最も高く、次いで「子育てや介護などに対する支援や男性の参加促進」、「家庭、社会や男性の意識の改革」が高くなっており、男女間での認識に大きな傾向の違いはみられない。

○クロス集計（年代）

	家庭、社会や男性の意識の改革	子育てや介護などに対する支援や男性の参加促進	女性の働く場の確保や雇用条件の改善	女性の社会参画に役立つ情報提供や相談窓口	議会や審議会などへの女性の参加促進	学校における男女平等教育の推進	その他	無回答	計
18歳～20歳代	25	24	33	11	8	7	0	2	50
	50.0	48.0	66.0	22.0	16.0	14.0	0.0	4.0	100.0
30歳代	43	46	47	16	17	17	4	1	86
	50.0	53.5	54.7	18.6	19.8	19.8	4.7	1.2	100.0
40歳代	66	63	75	30	19	15	7	2	131
	50.4	48.1	57.3	22.9	14.5	11.5	5.3	1.5	100.0
50歳代	44	54	71	24	22	6	2	3	103
	42.7	52.4	68.9	23.3	21.4	5.8	1.9	2.9	100.0
60歳代	78	102	116	70	39	20	3	5	183
	42.6	55.7	63.4	38.3	21.3	10.9	1.6	2.7	100.0
70歳代	95	103	106	64	45	23	2	29	211
	45.0	48.8	50.2	30.3	21.3	10.9	0.9	13.7	100.0
80歳以上	42	42	65	28	31	20	3	20	116
	36.2	36.2	56.0	24.1	26.7	17.2	2.6	17.2	100.0
無回答	8	5	5	2	4	3	0	10	20
	40.0	25.0	25.0	10.0	20.0	15.0	0.0	50.0	100.0
計	401	439	518	245	185	111	21	72	900
	44.6	48.8	57.6	27.2	20.6	12.3	2.3	8.0	100.0

有効票数 = 900

各年代で「女性の働く場の確保や雇用条件の改善」が最も高く、次いで「子育てや介護などに対する支援や男性の参加促進」、「家庭、社会や男性の意識の改革」が高くなっている。

“18歳～20歳代”と“40歳代”、“80歳以上”では2番目に「家庭、社会や男性の意識の改革」が高くなっている。

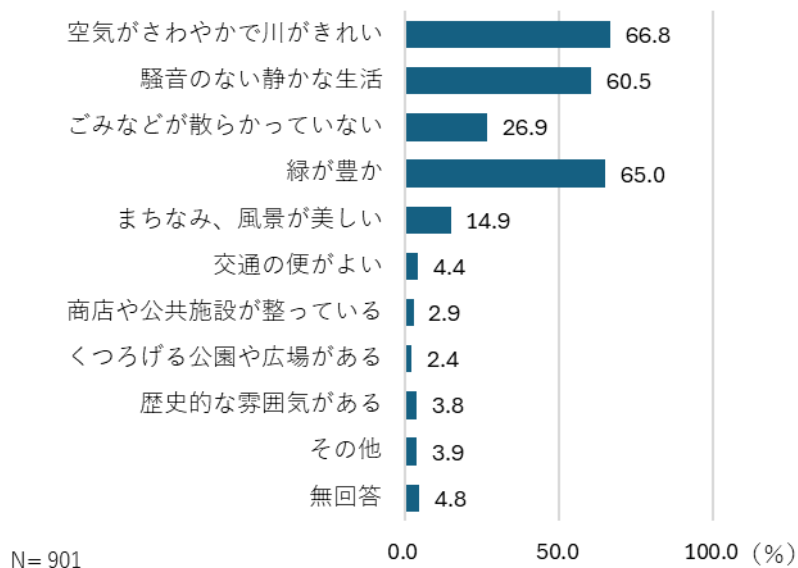
(5) 環境について

問 16 あなたの地域の環境について、気に入っているところはどんなところですか。(当てはまるもの全てに○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 空気がさわやかで川がきれい	602	66.8
2 騒音のない静かな生活	545	60.5
3 ごみなどが散らかっていない	242	26.9
4 緑が豊か	586	65.0
5 まちなみ、風景が美しい	134	14.9
6 交通の便がよい	40	4.4
7 商店や公共施設が整っている	26	2.9
8 くつろげる公園や広場がある	22	2.4
9 歴史的な雰囲気がある	34	3.8
10 その他	35	3.9
無回答	43	4.8

有効票数 = 901

地域の環境について気に入っているところで最も多いのは「空気がさわやかで川がきれい」(66.8%)、次いで「緑が豊か」(65.0%)、「騒音のない静かな生活」(60.5%)の順で多くなっています。



○クロス集計 (年代)

	空気がさわやかで川がきれい	騒音のない静かな生活	ごみなどが散らかっていない	緑が豊か	まちなみ、風景が美しい	交通の便がよい	商店や公共施設が整っている	くつろげる公園や広場がある	歴史的な雰囲気がある	その他	無回答	計
18歳～20歳代	38	23	12	29	17	2	3	2	3	6	3	50
	76.0	46.0	24.0	58.0	34.0	4.0	6.0	4.0	6.0	12.0	6.0	100.0
30歳代	59	45	24	57	21	4	8	3	5	5	0	86
	68.6	52.3	27.9	66.3	24.4	4.7	9.3	3.5	5.8	5.8	0.0	100.0
40歳代	83	68	27	83	23	8	6	2	5	10	1	131
	63.4	51.9	20.6	63.4	17.6	6.1	4.6	1.5	3.8	7.6	0.8	100.0
50歳代	62	61	26	60	8	4	0	2	5	3	3	103
	60.2	59.2	25.2	58.3	7.8	3.9	0.0	1.9	4.9	2.9	2.9	100.0
60歳代	124	116	38	126	21	7	2	1	3	7	6	183
	67.8	63.4	20.8	68.9	11.5	3.8	1.1	0.5	1.6	3.8	3.3	100.0
70歳代	145	145	65	143	26	8	3	6	8	3	14	211
	68.7	68.7	30.8	67.8	12.3	3.8	1.4	2.8	3.8	1.4	6.6	100.0
80歳以上	84	82	45	82	18	6	4	5	5	1	6	116
	72.4	70.7	38.8	70.7	15.5	5.2	3.4	4.3	4.3	0.9	5.2	100.0
無回答	7	5	5	5	0	1	0	1	0	0	10	20
	35.0	25.0	25.0	25.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	50.0	100.0
計	602	545	242	585	134	40	26	22	34	35	43	900
	66.9	60.6	26.9	65.0	14.9	4.4	2.9	2.4	3.8	3.9	4.8	100.0

有効票数 = 900

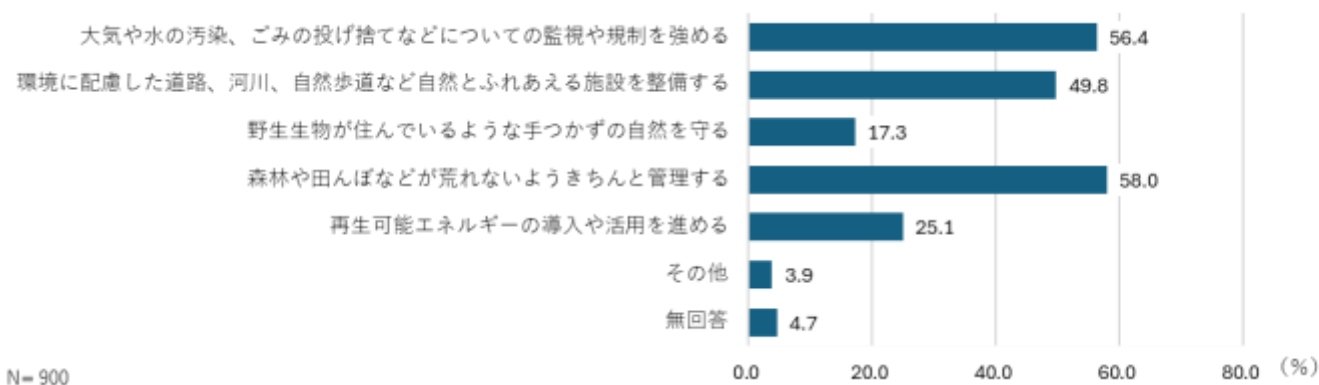
各年代で「空気がさわやかで川がきれい」、「騒音のない静かな生活」、「緑が豊か」といった自然環境に関する選択肢の割合が高くなっている。

問 17 望ましい環境をつくり、守っていくうえで大切なことは何だと思えますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 大気や水の汚染、ごみの投げ捨てなどについての監視や規制を強める	508	56.4
2 環境に配慮した道路、河川、自然歩道など自然とふれあえる施設を整備する	448	49.8
3 野生生物が住んでいるような手つかずの自然を守る	156	17.3
4 森林や田んぼなどが荒れないようきちんと管理する	522	58.0
5 再生可能エネルギーの導入や活用を進める	226	25.1
6 その他	35	3.9
無回答	42	4.7

望ましい環境をつくり、守っていくうえで大切なことについて最も多いのは「森林や田んぼなどが荒れないようきちんと管理する」(58.0%)、次いで「大気や水の汚染、ごみの投げ捨てなどについての監視や規制を強める」(56.4%)、「環境に配慮した道路、河川、自然歩道など自然とふれあえる施設を整備する」(49.8%)の順で多くなっています。

有効票数 = 900



○クロス集計（年代）

	大気や水の汚染、ごみの投げ捨てなどについての監視や規制を強める	環境に配慮した道路、河川、自然歩道など自然とふれあえる施設を整備する	野生生物が住んでいるような手つかずの自然を守る	森林や田んぼなどが荒れないようきちんと管理する	再生可能エネルギーの導入や活用を進める	その他	無回答	計
18歳～20歳代	22	32	11	26	12	2	2	50
	44.0	64.0	22.0	52.0	24.0	4.0	4.0	100.0
30歳代	46	42	21	49	27	5	0	86
	53.5	48.8	24.4	57.0	31.4	5.8	0.0	100.0
40歳代	58	66	34	68	34	7	1	130
	44.6	50.8	26.2	52.3	26.2	5.4	0.8	100.0
50歳代	47	43	17	65	31	5	4	103
	45.6	41.7	16.5	63.1	30.1	4.9	3.9	100.0
60歳代	105	100	30	112	47	7	2	183
	57.4	54.6	16.4	61.2	25.7	3.8	1.1	100.0
70歳代	146	108	21	126	45	8	15	211
	69.2	51.2	10.0	59.7	21.3	3.8	7.1	100.0
80歳以上	76	53	19	70	25	1	7	116
	65.5	45.7	16.4	60.3	21.6	0.9	6.0	100.0
無回答	8	4	3	6	5	0	10	20
	40.0	20.0	15.0	30.0	25.0	0.0	50.0	100.0
計	508	448	156	522	226	35	41	899
	56.5	49.8	17.4	58.1	25.1	3.9	4.6	100.0

有効票数 = 899

各年代で「大気や水の汚染、ごみの投げ捨てなどについての監視や規制を強める」、「環境に配慮した道路、河川、自然歩道など自然とふれあえる施設を整備する」、「森林や田んぼなどが荒れないようきちんと管理する」の割合が高くなっている。

特に「森林や田んぼなどが荒れないようきちんと管理する」は「30歳代」から「60歳代」では最も高く、「18歳～20歳代」と「70歳代」以上では2番目に高くなっている。

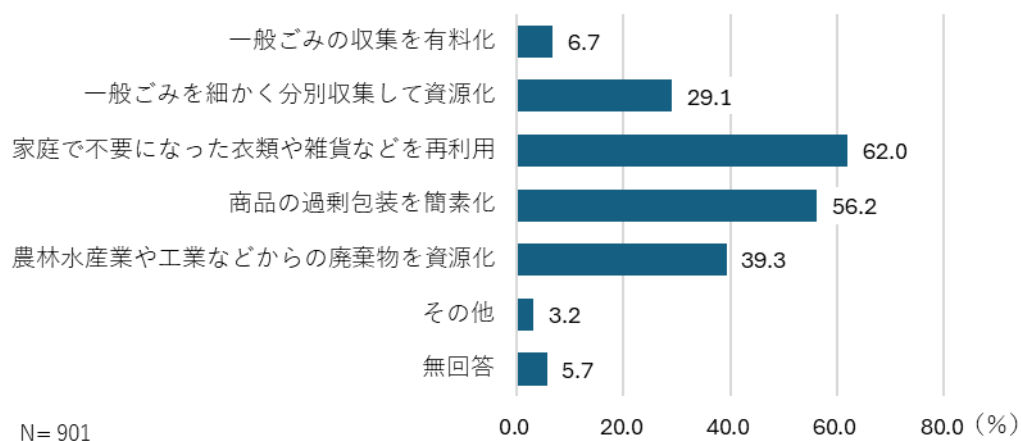
「70歳代」以上では「大気や水の汚染、ごみの投げ捨てなどについての監視や規制を強める」の割合が最も高く、次いで「森林や田んぼなどが荒れないようきちんと管理する」、「環境に配慮した道路、河川、自然歩道など自然とふれあえる施設を整備する」の順で高くなっている。

問 18 ごみ減量や資源リサイクルを進めていくうえで大切なことは何だと思えますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 一般ごみの収集を有料化	60	6.7
2 一般ごみを細かく分別収集して資源化	262	29.1
3 家庭で不要になった衣類や雑貨などを再利用	559	62.0
4 商品の過剰包装を簡素化	506	56.2
5 農林水産業や工業などからの廃棄物を資源化	354	39.3
6 その他	29	3.2
無回答	51	5.7

有効票数 = 901

ごみ減量や資源リサイクルを進めていくうえで大切なことについて最も多いのは「家庭で不要になった衣類や雑貨などを再利用」(62.0%)、次いで「商品の過剰包装を簡素化」(56.2%)、「農林水産業や工業などからの廃棄物を資源化」(39.3%)の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	一般ごみの収集を有料化	一般ごみを細かく分別収集して資源化	家庭で不要になった衣類や雑貨などを再利用	商品の過剰包装を簡素化	農林水産業や工業などからの廃棄物を資源化	その他	無回答	計
18歳～20歳代	1	11	35	25	21	1	1	50
	2.0	22.0	70.0	50.0	42.0	2.0	2.0	100.0
30歳代	9	22	50	52	35	9	0	86
	10.5	25.6	58.1	60.5	40.7	10.5	0.0	100.0
40歳代	7	35	70	75	51	5	0	131
	5.3	26.7	53.4	57.3	38.9	3.8	0.0	100.0
50歳代	2	23	60	58	45	2	6	103
	1.9	22.3	58.3	56.3	43.7	1.9	5.8	100.0
60歳代	10	52	125	117	68	6	3	183
	5.5	28.4	68.3	63.9	37.2	3.3	1.6	100.0
70歳代	22	69	135	113	82	4	19	211
	10.4	32.7	64.0	53.6	38.9	1.9	9.0	100.0
80歳以上	9	47	77	64	46	2	10	116
	7.8	40.5	66.4	55.2	39.7	1.7	8.6	100.0
無回答	0	3	7	2	6	0	11	20
	0.0	15.0	35.0	10.0	30.0	0.0	55.0	100.0
計	60	262	559	506	354	29	50	900
	6.7	29.1	62.1	56.2	39.3	3.2	5.6	100.0

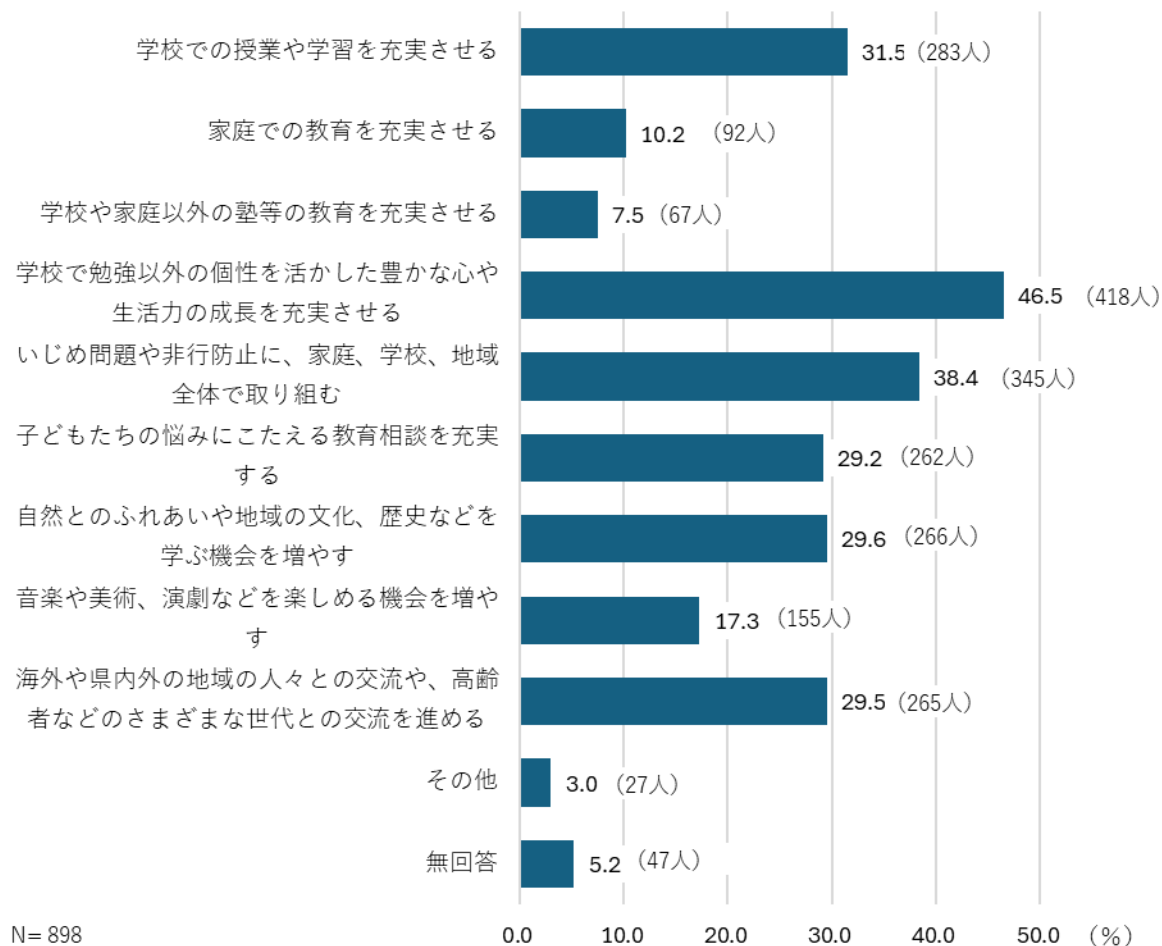
有効票数 = 900

各年代で「家庭で不要になった衣類や雑貨などを再利用」、「商品の過剰包装を簡素化」、「農林水産業や工業などからの廃棄物を資源化」の割合が高くなっている。

“18歳～20歳代”と“50歳代”から“70歳代”では、「家庭で不要になった衣類や雑貨などを再利用」が最も高く、次いで「商品の過剰包装を簡素化」、「農林水産業や工業などからの廃棄物を資源化」の順で高くなっている。

(6) 教育について

問 19 小学生と中学生の時期において、健やかに成長していくためには、どのようなことが大切だと思いますか。
(3つ以内に○)



小中学生の時期に健やかに成長していくために大切なことについて最も多いのは「学校で勉強以外の個性を活かした豊かな心や生活力の成長を充実させる」(46.5%)、次いで「いじめ問題や非行防止に、家庭、学校、地域全体で取り組む」(38.4%)、「学校での授業や学習を充実させる」(31.5%)の順で多くなっています。

○クロス集計（年代）

	学校での授業や学習を充実させる	家庭での教育を充実させる	学校や家庭以外の塾等の教育を充実させる	学校で勉強以外の個性を活かした豊かな心や生活力の成長を充実させる	いじめ問題や非行防止に、家庭、学校、地域全体で取り組む	子どもたちの悩みにこたえる教育相談を充実する	自然とのふれあいや地域の文化、歴史などを学ぶ機会を増やす	音楽や美術、演劇などを楽しめる機会を増やす	海外や県内外の地域の人々との交流や、高齢者などのさまざまな世代との交流を進める	その他	無回答	計
18歳～20歳代	14	6	3	29	10	16	18	15	15	1	0	50
	28.0	12.0	6.0	58.0	20.0	32.0	36.0	30.0	30.0	2.0	0.0	100.0
30歳代	31	10	10	33	25	25	34	22	23	9	0	86
	36.0	11.6	11.6	38.4	29.1	29.1	39.5	25.6	26.7	10.5	0.0	100.0
40歳代	33	12	15	61	39	41	45	27	40	7	0	131
	25.2	9.2	11.5	46.6	29.8	31.3	34.4	20.6	30.5	5.3	0.0	100.0
50歳代	25	6	12	45	36	31	28	23	43	1	3	102
	24.5	5.9	11.8	44.1	35.3	30.4	27.5	22.5	42.2	1.0	2.9	100.0
60歳代	54	19	16	89	76	54	57	30	57	4	4	182
	29.7	10.4	8.8	48.9	41.8	29.7	31.3	16.5	31.3	2.2	2.2	100.0
70歳代	79	22	7	101	90	59	56	25	57	2	20	211
	37.4	10.4	3.3	47.9	42.7	28.0	26.5	11.8	27.0	0.9	9.5	100.0
80歳以上	43	14	4	55	62	31	26	12	28	3	10	115
	37.4	12.2	3.5	47.8	53.9	27.0	22.6	10.4	24.3	2.6	8.7	100.0
無回答	4	3	0	5	7	5	2	1	2	0	9	20
	20.0	15.0	0.0	25.0	35.0	25.0	10.0	5.0	10.0	0.0	45.0	100.0
計	283	92	67	418	345	262	266	155	265	27	46	897
	31.5	10.3	7.5	46.6	38.5	29.2	29.7	17.3	29.5	3.0	5.1	100.0

有効票数 = 897

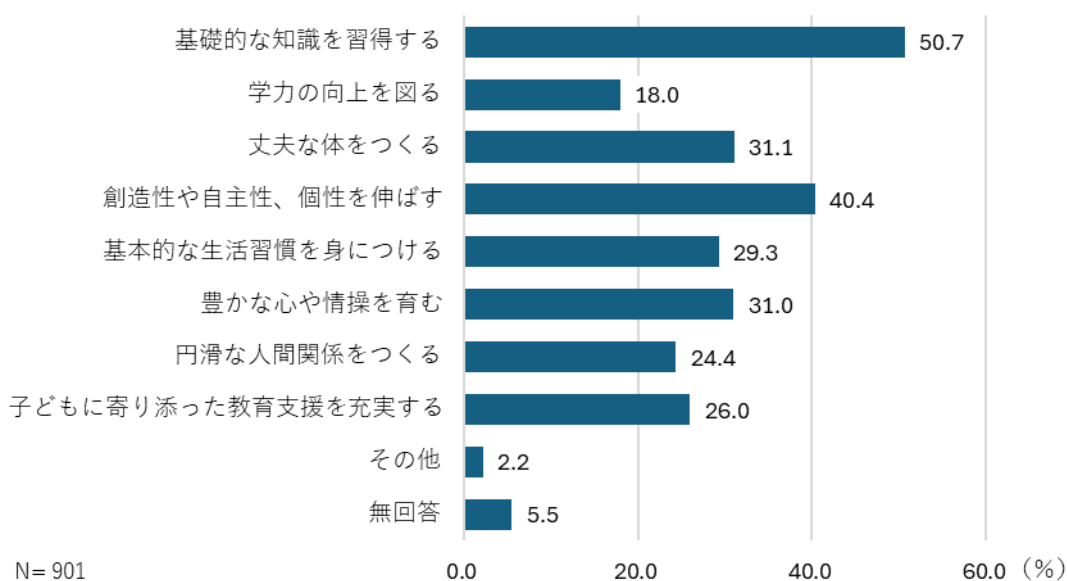
各年代で「学校で勉強以外の個性を活かした豊かな心や生活力の成長を充実させる」の割合が高くなっている。この他、子育て世代の“40歳代”以下では「自然とのふれあいや地域の文化、歴史などを学ぶ機会を増やす」や「子どもたちの悩みにこたえる教育相談を充実する」の割合も高い傾向にある。

問 20 あなたは、子どもの教育について、どのようなことを小中学校に期待しますか。（3つ以内に○）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 基礎的な知識を習得する	457	50.7
2 学力の向上を図る	162	18.0
3 丈夫な体をつくる	280	31.1
4 創造性や自主性、個性を伸ばす	364	40.4
5 基本的な生活習慣を身につける	264	29.3
6 豊かな心や情操を育む	279	31.0
7 円滑な人間関係をつくる	220	24.4
8 子どもに寄り添った教育支援を充実する	234	26.0
9 その他	20	2.2
無回答	50	5.5

有効票数 = 901

子どもの教育に関し小中学校に期待することについて最も多いのは「基礎的な知識を習得する」（50.7%）、次いで「創造性や自主性、個性を伸ばす」（40.4%）、「丈夫な体をつくる」（31.1%）の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	基礎的な知識を習得する	学力の向上を図る	丈夫な体をつくる	創造性や自主性、個性を伸ばす	基本的な生活習慣を身につける	豊かな心や情操を育む	円滑な人間関係をつくる	子どもに寄り添った教育支援を充実する	その他	無回答	計
18歳～20歳代	25	6	18	23	11	16	14	17	2	1	50
	50.0	12.0	36.0	46.0	22.0	32.0	28.0	34.0	4.0	2.0	100.0
30歳代	52	20	31	31	20	27	34	17	2	0	86
	60.5	23.3	36.0	36.0	23.3	31.4	39.5	19.8	2.3	0.0	100.0
40歳代	72	33	37	52	20	50	50	30	5	0	131
	55.0	25.2	28.2	39.7	15.3	38.2	38.2	22.9	3.8	0.0	100.0
50歳代	46	25	31	39	31	31	21	32	2	4	103
	44.7	24.3	30.1	37.9	30.1	30.1	20.4	31.1	1.9	3.9	100.0
60歳代	100	30	56	81	57	62	36	50	4	2	183
	54.6	16.4	30.6	44.3	31.1	33.9	19.7	27.3	2.2	1.1	100.0
70歳代	99	28	62	94	75	56	42	54	4	22	211
	46.9	13.3	29.4	44.5	35.5	26.5	19.9	25.6	1.9	10.4	100.0
80歳以上	56	18	40	42	48	33	22	33	1	11	116
	48.3	15.5	34.5	36.2	41.4	28.4	19.0	28.4	0.9	9.5	100.0
無回答	7	2	5	2	2	4	1	1	0	9	20
	35.0	10.0	25.0	10.0	10.0	20.0	5.0	5.0	0.0	45.0	100.0
計	457	162	280	364	264	279	220	234	20	49	900
	50.8	18.0	31.1	40.4	29.3	31.0	24.4	26.0	2.2	5.4	100.0

有効票数 = 900

各年代で「基礎的な知識を習得する」が最も高い割合となっている。その他「創造性や自主性、個性を伸ばす」も高い傾向にある。

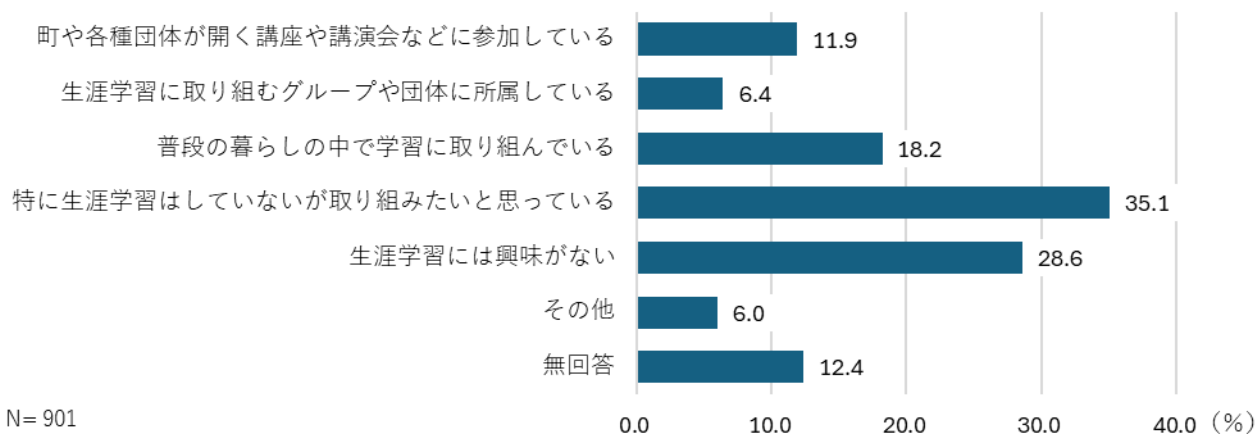
子どもが小学生や中学生と考えられる“30歳代”、“40歳代”では「円滑な人間関係をつくる」や「豊かな心が情操を育む」といった心の成長や人とのコミュニケーションに関する選択肢の割合も高い傾向にある。

問 21 あなたは、生涯学習（例えば料理教室、環境講座などへの参加）に取り組んでいますか。（3つ以内に○）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
町や各種団体が開く講座や講演会などに参加している	107	11.9
生涯学習に取り組むグループや団体に所属している	58	6.4
普段の暮らしの中で学習に取り組んでいる	164	18.2
特に生涯学習はしていないが取り組みたいと思っている	316	35.1
5 生涯学習には興味がない	258	28.6
6 その他	54	6.0
無回答	112	12.4

有効票数 = 901

生涯学習の取り組み状況について最も多いのは「特に生涯学習はしていないが取り組みたいと思っている」(35.1%)、次いで「生涯学習には興味がない」(28.6%)、「普段の暮らしの中で学習に取り組んでいる」(18.2%)の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	町や各種団 体が開く講 座や講演会 などに参加 している	生涯学習に 取り組むグ ループや団 体に所属し ている	普通の暮ら しの中で学 習に取り組 んでいる	特に生涯学 習はしてい ないが取り 組みたいと 思っている	生涯学習 には興味 がない	その他	無回答	計
18歳～20歳代	3	4	12	22	14	1	2	50
	6.0	8.0	24.0	44.0	28.0	2.0	4.0	100.0
30歳代	15	5	19	33	28	5	0	86
	17.4	5.8	22.1	38.4	32.6	5.8	0.0	100.0
40歳代	9	7	17	47	59	4	1	131
	6.9	5.3	13.0	35.9	45.0	3.1	0.8	100.0
50歳代	9	4	16	31	43	10	3	103
	8.7	3.9	15.5	30.1	41.7	9.7	2.9	100.0
60歳代	19	10	29	74	51	13	16	183
	10.4	5.5	15.8	40.4	27.9	7.1	8.7	100.0
70歳代	35	21	40	70	34	14	52	211
	16.6	10.0	19.0	33.2	16.1	6.6	24.6	100.0
80歳以上	17	7	31	36	26	7	23	116
	14.7	6.0	26.7	31.0	22.4	6.0	19.8	100.0
無回答	0	0	0	3	3	0	14	20
	0.0	0.0	0.0	15.0	15.0	0.0	70.0	100.0
計	107	58	164	316	258	54	111	900
	11.9	6.4	18.2	35.1	28.7	6.0	12.3	100.0

有効票数 = 900

“40歳代”と“50歳代”以外では「特に生涯学習はしていないが取り組みたいと思っている」が最も高く、“40歳代”と“50歳代”では「生涯学習には興味がない」が最も高くなっている。

各年代で「普通の暮らしの中で学習に取り組んでいる」の割合も高い傾向にある。

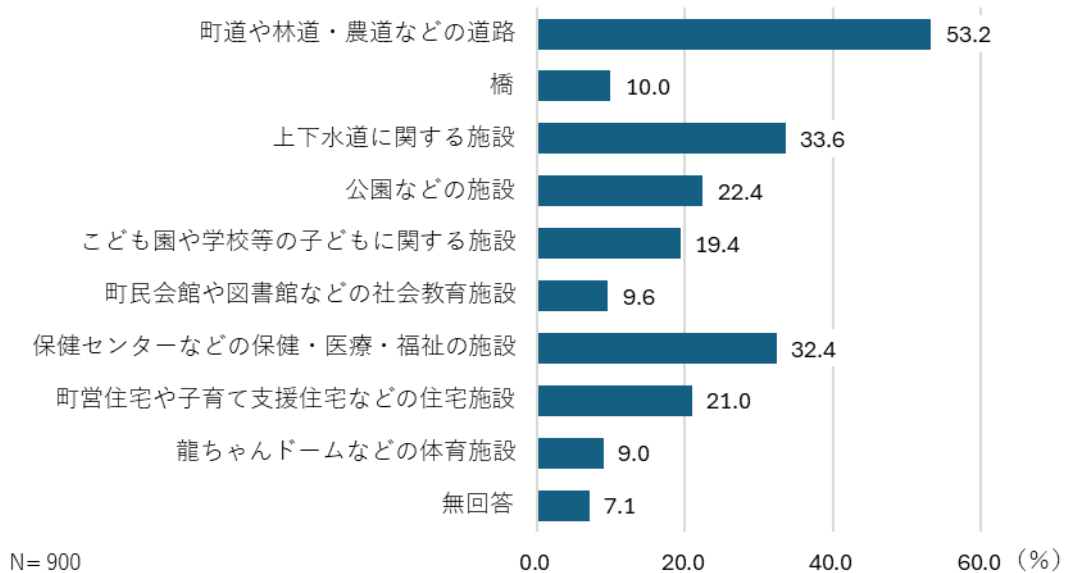
(7) 交通・住環境・情報通信について

問 22 今後、町内のインフラ（社会や生活の基盤となる構造物や仕組み）について、何を進めるべきだと思いますか。（3つ以内に○）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 町道や林道・農道などの	479	53.2
2 橋	90	10.0
3 上下水道に関する施設	302	33.6
4 公園などの施設	202	22.4
5 こども園や学校等の子どもに関する施設	175	19.4
6 町民会館や図書館などの社会教育施設	86	9.6
7 保健センターなどの保健・医療・福祉の施設	292	32.4
8 町営住宅や子育て支援住宅などの住宅施設	189	21.0
9 龍ちゃんドームなどの体育施設	81	9.0
無回答	64	7.1

有効票数 = 900

今後、町内のインフラで優先すべきことについて最も多いのは「町道や林道・農道などの道路」（53.2%）、次いで「上下水道に関する施設」（33.6%）、「保健センターなどの保健・医療・福祉の施設」（32.4%）の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	町道や林道・農道などの道路	橋	上下水道に関する施設	公園などの施設	こども園や学校等の子どもに関する施設	町民会館や図書館などの社会教育施設	保健センターなどの保健・医療・福祉の施設	町営住宅や子育て支援住宅などの住宅施設	龍ちゃんドームなどの体育施設	無回答	計
18歳～20歳代	25	3	10	22	13	7	14	16	11	0	50
	50.0	6.0	20.0	44.0	26.0	14.0	28.0	32.0	22.0	0.0	100.0
30歳代	41	5	21	32	25	14	19	30	19	1	86
	47.7	5.8	24.4	37.2	29.1	16.3	22.1	34.9	22.1	1.2	100.0
40歳代	65	19	45	44	30	11	35	29	20	2	131
	49.6	14.5	34.4	33.6	22.9	8.4	26.7	22.1	15.3	1.5	100.0
50歳代	52	7	39	23	22	10	30	27	5	7	103
	50.5	6.8	37.9	22.3	21.4	9.7	29.1	26.2	4.9	6.8	100.0
60歳代	118	22	81	30	34	17	58	34	7	3	183
	64.5	12.0	44.3	16.4	18.6	9.3	31.7	18.6	3.8	1.6	100.0
70歳代	113	21	68	32	32	14	87	33	11	24	211
	53.6	10.0	32.2	15.2	15.2	6.6	41.2	15.6	5.2	11.4	100.0
80歳以上	59	11	35	18	15	11	43	19	7	17	115
	51.3	9.6	30.4	15.7	13.0	9.6	37.4	16.5	6.1	14.8	100.0
無回答	6	2	3	1	4	2	6	1	1	9	20
	30.0	10.0	15.0	5.0	20.0	10.0	30.0	5.0	5.0	45.0	100.0
計	479	90	302	202	175	86	292	189	81	63	899
	53.3	10.0	33.6	22.5	19.5	9.6	32.5	21.0	9.0	7.0	100.0

有効票数 = 899

各年代で「町道や林道・農道などの道路」が最も高い割合となっている。

“30 歳代”以下では次いで「公園などの施設」、「町営住宅や子育て支援住宅などの住宅施設」が高くなっている。

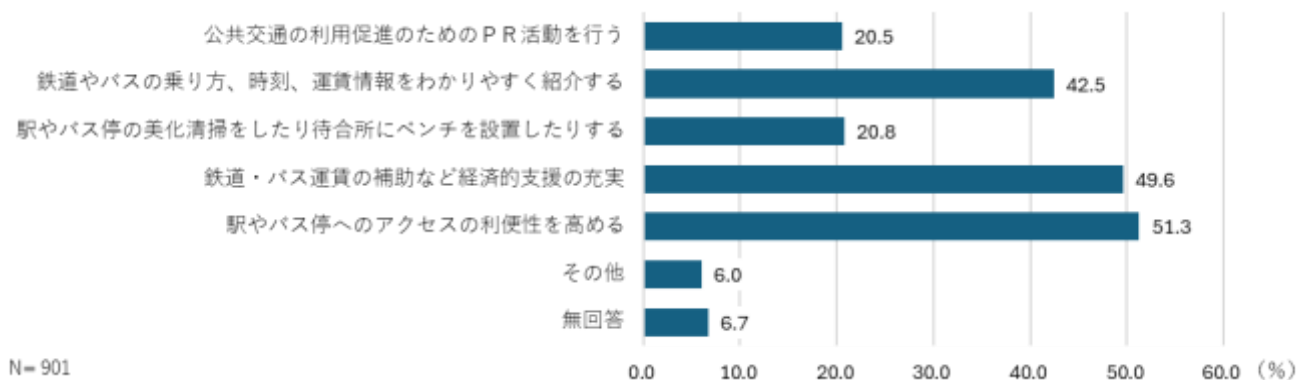
“40 歳代”以上では「上下水道に関する施設」や「保健センターなどの保健・医療・福祉の施設」も高い傾向にある。

問 23 公共交通の利用を促進するためにどんなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 公共交通の利用促進のためのPR活動を行う	185	20.5
2 鉄道やバスの乗り方、時刻、運賃情報をわかりやすく紹介する	383	42.5
3 駅やバス停の美化清掃をしたり待合所にベンチを設置したりする	187	20.8
4 鉄道・バス運賃の補助など経済的支援の充実	447	49.6
5 駅やバス停へのアクセスの利便性を高める	462	51.3
6 その他	54	6.0
無回答	60	6.7

有効票数 = 901

公共交通の利用を促進するために必要なことについて最も多いのは「駅やバス停へのアクセスの利便性を高める」(51.3%)、次いで「鉄道・バス運賃の補助など経済的支援の充実」(49.6%)、「鉄道やバスの乗り方、時刻、運賃情報をわかりやすく紹介する」(42.5%)の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	公共交通の利用促進のためのPR活動を行う	鉄道やバスの乗り方、時刻、運賃情報をわかりやすく紹介する	駅やバス停の美化清掃をしたり待合所にベンチを設置したりする	鉄道・バス運賃の補助など経済的支援の充実	駅やバス停へのアクセスの利便性を高める	その他	無回答	計
18歳～20歳代	10	27	14	23	29	3	1	50
	20.0	54.0	28.0	46.0	58.0	6.0	2.0	100.0
30歳代	16	46	18	45	38	8	1	86
	18.6	53.5	20.9	52.3	44.2	9.3	1.2	100.0
40歳代	20	47	18	70	69	15	3	131
	15.3	35.9	13.7	53.4	52.7	11.5	2.3	100.0
50歳代	14	36	15	59	56	7	6	103
	13.6	35.0	14.6	57.3	54.4	6.8	5.8	100.0
60歳代	42	73	37	88	106	9	7	183
	23.0	39.9	20.2	48.1	57.9	4.9	3.8	100.0
70歳代	48	87	52	101	106	8	20	211
	22.7	41.2	24.6	47.9	50.2	3.8	9.5	100.0
80歳以上	34	58	28	55	51	4	12	116
	29.3	50.0	24.1	47.4	44.0	3.4	10.3	100.0
無回答	1	9	5	6	7	0	9	20
	5.0	45.0	25.0	30.0	35.0	0.0	45.0	100.0
計	185	383	187	447	462	54	59	900
	20.6	42.6	20.8	49.7	51.3	6.0	6.6	100.0

有効票数 = 900

各年代で「鉄道やバスの乗り方、時刻、運賃情報をわかりやすく紹介する」、「鉄道・バス運賃の補助など経済的支援の充実」、「駅やバス停へのアクセスの利便性を高める」が高い傾向にある。

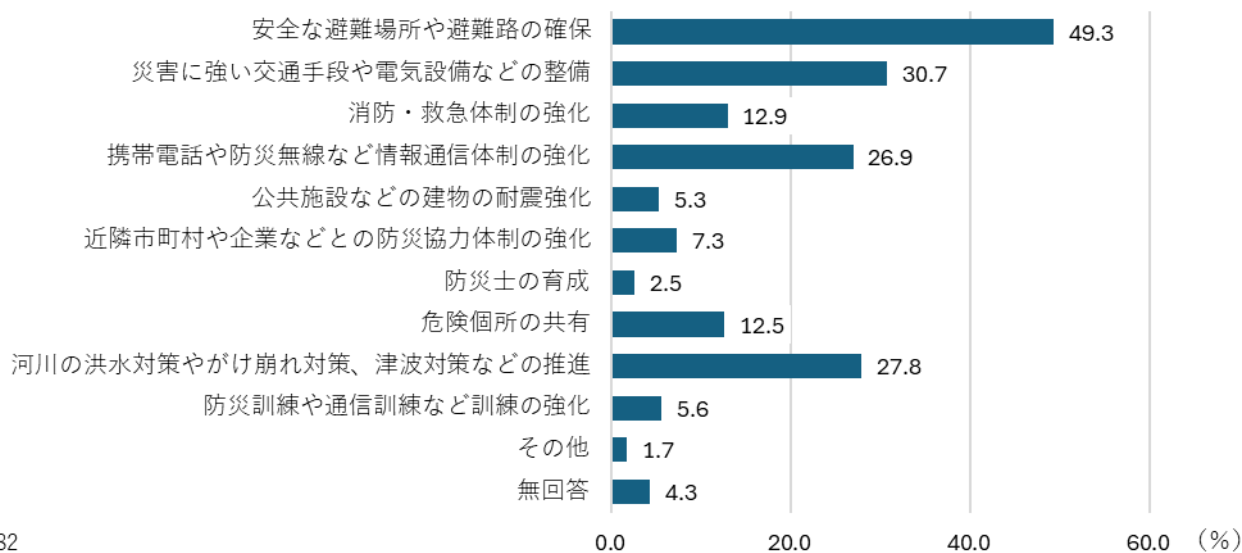
“18歳～20歳代”、“60歳代”、“70歳代”では、「駅やバス停へのアクセスの利便性を高める」が最も高く、“30歳代”と“80歳以上”は「鉄道やバスの乗り方、時刻、運賃情報をわかりやすく紹介する」が、“40歳代”と“50歳代”では「鉄道・バス運賃の補助など経済的支援の充実」が最も高くなっている。

問 24【行政】 災害に強いまちづくりのために大切なことは何だと思いますか。

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 安全な避難場所や避難路の確保	435	49.3
2 災害に強い交通手段や電気設備などの整備	271	30.7
3 消防・救急体制の強化	114	12.9
4 携帯電話や防災無線など情報通信体制の強化	237	26.9
5 公共施設などの建物の耐震強化	47	5.3
6 近隣市町村や企業などとの防災協力体制の強化	64	7.3
7 防災士の育成	22	2.5
8 危険個所の共有	110	12.5
9 河川の洪水対策やがけ崩れ対策、津波対策などの推進	245	27.8
10 防災訓練や通信訓練など訓練の強化	49	5.6
11 その他	15	1.7
無回答	38	4.3

行政が災害に強いまちづくりのために行うべきことについて最も多いのは「安全な避難場所や避難路の確保」(49.3%)、次いで「災害に強い交通手段や電気設備などの整備」(30.7%)、「河川の洪水対策やがけ崩れ対策、津波対策などの推進」(27.8%)の順で多くなっています。

有効票数 = 882



N= 882

○クロス集計（年代）

	安全な避難場所や避難路の確保	災害に強い交通手段や電気設備などの整備	消防・救急体制の強化	携帯電話や防災無線など情報通信体制の強化	公共施設などの建物の耐震強化	近隣市町村や企業などの防災協力体制の強化	防災士の育成	危険個所の共有	河川の洪水対策やがけ崩れ対策、津波対策などの推進	防災訓練や通信訓練など訓練の強化	その他	無回答	計
18歳～20歳代	24	19	6	20	5	3	1	6	12	2	0	0	50
	48.0	38.0	12.0	40.0	10.0	6.0	2.0	12.0	24.0	4.0	0.0	0.0	100.0
30歳代	40	31	11	31	4	6	3	12	17	4	4	1	86
	46.5	36.0	12.8	36.0	4.7	7.0	3.5	14.0	19.8	4.7	4.7	1.2	100.0
40歳代	63	36	17	37	8	12	6	19	29	12	4	0	128
	49.2	28.1	13.3	28.9	6.3	9.4	4.7	14.8	22.7	9.4	3.1	0.0	100.0
50歳代	46	33	13	30	4	4	2	14	33	2	2	3	101
	45.5	32.7	12.9	29.7	4.0	4.0	2.0	13.9	32.7	2.0	2.0	3.0	100.0
60歳代	87	54	21	49	10	8	2	22	64	11	4	4	179
	48.6	30.2	11.7	27.4	5.6	4.5	1.1	12.3	35.8	6.1	2.2	2.2	100.0
70歳代	107	61	24	43	12	18	5	26	63	10	1	10	204
	52.5	29.9	11.8	21.1	5.9	8.8	2.5	12.7	30.9	4.9	0.5	4.9	100.0
80歳以上	66	30	20	23	3	12	3	9	26	8	0	9	113
	58.4	26.5	17.7	20.4	2.7	10.6	2.7	8.0	23.0	7.1	0.0	8.0	100.0
無回答	2	7	2	4	1	1	0	2	1	0	0	10	20
	10.0	35.0	10.0	20.0	5.0	5.0	0.0	10.0	5.0	0.0	0.0	50.0	100.0
計	435	271	114	237	47	64	22	110	245	49	15	37	881
	49.4	30.8	12.9	26.9	5.3	7.3	2.5	12.5	27.8	5.6	1.7	4.2	100.0

有効票数 = 881

各年代で「安全な避難場所や避難路の確保」が最も高く、「災害に強い交通手段や電気設備などの整備」も高い割合となっている。

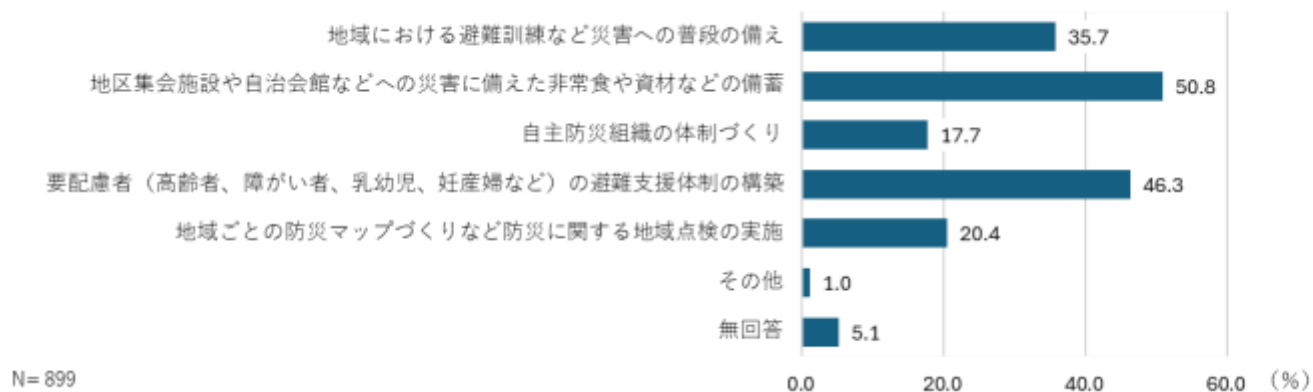
“40歳代”以下では2番目に「携帯電話や防災無線など情報通信体制の強化」が高い傾向にあり、“50歳代”から“70歳代”では「河川の洪水対策やがけ崩れ対策、津波対策などの推進」が高い傾向にある。

問 24【地域】 災害に強いまちづくりのために大切なことは何だと思えますか。

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 地域における避難訓練など災害への普段の備え	321	35.7
2 地区集会施設や自治会館などへの災害に備えた非常食や資材などの備蓄	457	50.8
3 自主防災組織の体制づくり	159	17.7
4 要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦など）の避難支援体制の構築	416	46.3
5 地域ごとの防災マップづくりなど防災に関する地域点検の実施	183	20.4
6 その他	9	1.0
無回答	46	5.1

有効票数 = 899

地域において災害に強いまちづくりのために行うべきことについて最も多いのは「地区集会施設や自治会館などへの災害に備えた非常食や資材などの備蓄」（50.8%）、次いで「要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦など）の避難支援体制の構築」（46.3%）、「地域における避難訓練など災害への普段の備え」（35.7%）の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	地域における避難訓練など災害への普段の備え	地区集会施設や自治会館などへの災害に備えた非常食や資材などの備蓄	自主防災組織の体制づくり	要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦など）の避難支援体制の構築	地域ごとの防災マップづくりなど防災に関する地域点検の実施	その他	無回答	計
18歳～20歳代	14	30	12	24	11	0	0	50
	28.0	60.0	24.0	48.0	22.0	0.0	0.0	100.0
30歳代	25	50	20	44	19	0	2	86
	29.1	58.1	23.3	51.2	22.1	0.0	2.3	100.0
40歳代	53	57	33	55	30	3	0	130
	40.8	43.8	25.4	42.3	23.1	2.3	0.0	100.0
50歳代	31	47	20	59	23	1	3	103
	30.1	45.6	19.4	57.3	22.3	1.0	2.9	100.0
60歳代	71	99	25	89	36	3	5	182
	39.0	54.4	13.7	48.9	19.8	1.6	2.7	100.0
70歳代	81	108	31	86	47	2	15	211
	38.4	51.2	14.7	40.8	22.3	0.9	7.1	100.0
80歳以上	43	60	15	55	16	0	10	116
	37.1	51.7	12.9	47.4	13.8	0.0	8.6	100.0
無回答	3	6	3	4	1	0	10	20
	15.0	30.0	15.0	20.0	5.0	0.0	50.0	100.0
計	321	457	159	416	183	9	45	898
	35.7	50.9	17.7	46.3	20.4	1.0	5.0	100.0

有効票数 = 898

“50歳代”以外では「地区集会施設や自治会館などへの災害に備えた非常食や資材などの備蓄」が最も高く、次いで「要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦など）の避難支援体制の構築」、「地域における避難訓練など災害への普段の備え」の順で高くなっている。

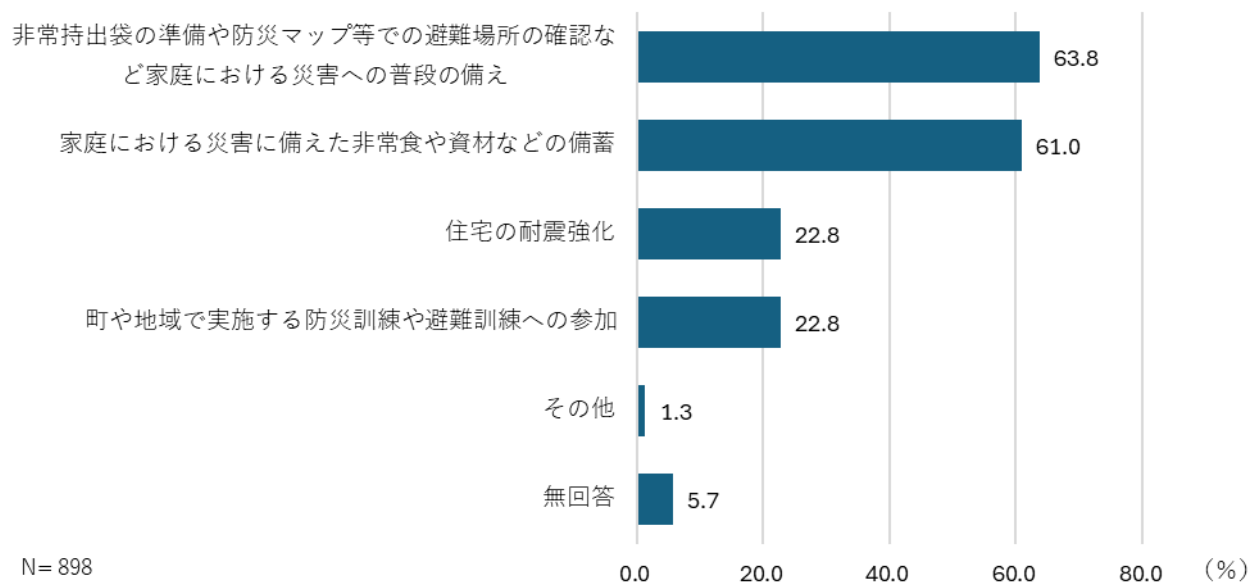
“50歳代”では、「要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦など）の避難支援体制の構築」が最も高く、次いで「地区集会施設や自治会館などへの災害に備えた非常食や資材などの備蓄」、「地域における避難訓練など災害への普段の備え」の順で高くなっている。

問 24【家庭】 災害に強いまちづくりのために大切なことは何だと思いますか。

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 非常持出袋の準備や防災マップ等での避難場所の確認など家庭における災害への普段の備え	573	63.8
2 家庭における災害に備えた非常食や資材などの備蓄	548	61.0
3 住宅の耐震強化	205	22.8
4 町や地域で実施する防災訓練や避難訓練への参加	205	22.8
5 その他	12	1.3
無回答	51	5.7

有効票数 = 898

家庭で災害に強いまちづくりのために行うべきことについて最も多いのは「非常持出袋の準備や防災マップ等での避難場所の確認など家庭における災害への普段の備え」(63.8%)、次いで「家庭における災害に備えた非常食や資材などの備蓄」(61.0%)、「住宅の耐震強化」と「町や地域で実施する防災訓練や避難訓練への参加」が(22.8%)の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	非常持出袋の準備や防災マップ等での避難場所の確認など家庭における災害への普段の備え	家庭における災害に備えた非常食や資材などの備蓄	住宅の耐震強化	町や地域で実施する防災訓練や避難訓練への参加	その他	無回答	計
18歳～20歳代	32	35	12	9	1	0	50
	64.0	70.0	24.0	18.0	2.0	0.0	100.0
30歳代	55	59	25	16	2	1	85
	64.7	69.4	29.4	18.8	2.4	1.2	100.0
40歳代	83	95	33	24	1	0	130
	63.8	73.1	25.4	18.5	0.8	0.0	100.0
50歳代	66	76	28	11	0	4	103
	64.1	73.8	27.2	10.7	0.0	3.9	100.0
60歳代	124	108	43	49	2	5	183
	67.8	59.0	23.5	26.8	1.1	2.7	100.0
70歳代	143	105	40	61	5	17	211
	67.8	49.8	19.0	28.9	2.4	8.1	100.0
80歳以上	64	64	24	32	1	12	115
	55.7	55.7	20.9	27.8	0.9	10.4	100.0
無回答	6	6	0	3	0	11	20
	30.0	30.0	0.0	15.0	0.0	55.0	100.0
計	573	548	205	205	12	50	897
	63.9	61.1	22.9	22.9	1.3	5.6	100.0

有効票数 = 897

“50 歳代”以下では「家庭における災害に備えた非常食や資材などの備蓄」が最も高く、次いで「非常持出袋の準備や防災マップ等での避難場所の確認など家庭における災害への普段の備え」、「住宅の耐震強化」の順で高くなっている。

“60 歳代”と“70 歳代”では「非常持出袋の準備や防災マップ等での避難場所の確認など家庭における災害への普段の備え」が最も高く、ついで「家庭における災害に備えた非常食や資材などの備蓄」、「町や地域で実施する防災訓練や避難訓練への参加」の順で高くなっている。

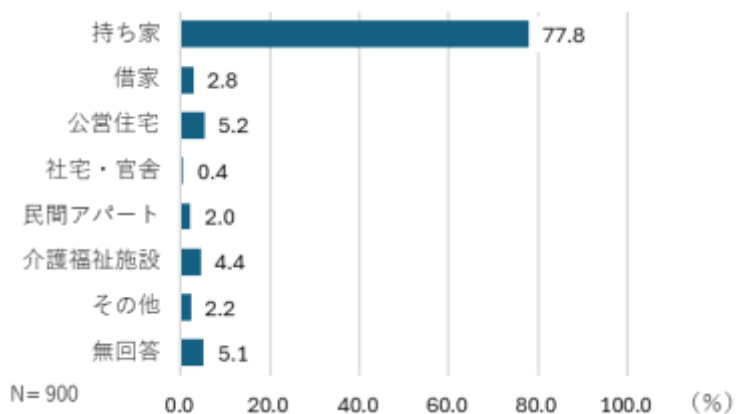
“80 歳以上”では、「非常持出袋の準備や防災マップ等での避難場所の確認など家庭における災害への普段の備え」と「家庭における災害に備えた非常食や資材などの備蓄」が最も高く、次いで「町や地域で実施する防災訓練や避難訓練への参加」が高くなっている。

“60 歳代”以上では防災訓練や避難訓練を重要視していることが伺える。

問25 あなたは、今後どのような住宅に住みたいですか。(1つに○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 持ち家	700	77.8
2 借家	25	2.8
3 公営住宅	47	5.2
4 社宅・官舎	4	0.4
5 民間アパート	18	2.0
6 介護福祉施設	40	4.4
7 その他	20	2.2
無回答	46	5.1

有効票数 = 900



今後住みたい住宅について最も多いのは「持ち家」(77.8%)、次いで「公営住宅」(5.2%)、「介護福祉施設」(4.4%)の順で多くなっています。

○クロス集計 (年代)

	持ち家	借家	公営住宅	社宅・官舎	民間アパート	介護福祉施設	その他	無回答	計
18歳～20歳代	37	6	0	0	5	0	2	0	50
	74.0	12.0	0.0	0.0	10.0	0.0	4.0	0.0	100.0
30歳代	68	7	5	1	3	0	1	1	86
	79.1	8.1	5.8	1.2	3.5	0.0	1.2	1.2	100.0
40歳代	105	7	7	2	4	0	3	3	131
	80.2	5.3	5.3	1.5	3.1	0.0	2.3	2.3	100.0
50歳代	80	2	11	1	3	2	1	3	103
	77.7	1.9	10.7	1.0	2.9	1.9	1.0	2.9	100.0
60歳代	151	2	11	0	2	7	6	3	182
	83.0	1.1	6.0	0.0	1.1	3.8	3.3	1.6	100.0
70歳代	165	1	10	0	1	11	6	17	211
	78.2	0.5	4.7	0.0	0.5	5.2	2.8	8.1	100.0
80歳以上	85	0	2	0	0	18	1	10	116
	73.3	0.0	1.7	0.0	0.0	15.5	0.9	8.6	100.0
無回答	8	0	1	0	0	2	0	9	20
	40.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	0.0	45.0	100.0
計	699	25	47	4	18	40	20	46	899
	77.8	2.8	5.2	0.4	2.0	4.4	2.2	5.1	100.0

有効票数 = 899

各年代で「持ち家」が最も高くなっている。

“40歳代”以下では「借家」が2番目に高い傾向にある。

“40歳代”から“60歳代”では2番目に「公営住宅」も高い傾向にある。

“70歳代”以上では2番目に「介護福祉施設」が高く、次いで「公営住宅」が高くなっている。

○クロス集計 (家族構成)

	持ち家	借家	公営住宅	社宅・官舎	民間アパート	介護福祉施設	その他	無回答	計
単身	113	3	13	3	5	16	5	6	164
	68.9	1.8	7.9	1.8	3.0	9.8	3.0	3.7	100.0
夫婦のみ	185	4	9	1	2	14	5	15	235
	78.7	1.7	3.8	0.4	0.9	6.0	2.1	6.4	100.0
親と子	256	16	19	0	6	6	7	8	318
	80.5	5.0	6.0	0.0	1.9	1.9	2.2	2.5	100.0
祖父母と親と子	64	0	0	0	3	0	1	1	69
	92.8	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	1.4	1.4	100.0
その他	63	2	4	0	1	1	1	4	76
	82.9	2.6	5.3	0.0	1.3	1.3	1.3	5.3	100.0
無回答	18	0	2	0	1	3	1	12	37
	48.6	0.0	5.4	0.0	2.7	8.1	2.7	32.4	100.0
計	699	25	47	4	18	40	20	46	899
	77.8	2.8	5.2	0.4	2.0	4.4	2.2	5.1	100.0

有効票数 = 899

各家族構成で「持ち家」が最も高くなっている。

“単身”と“夫婦のみ”では2番目に「介護福祉施設」が高く、次いで「公営住宅」が高くなっている。

“親と子”では2番目に「公営住宅」が高く、次いで「借家」が高くなっている。

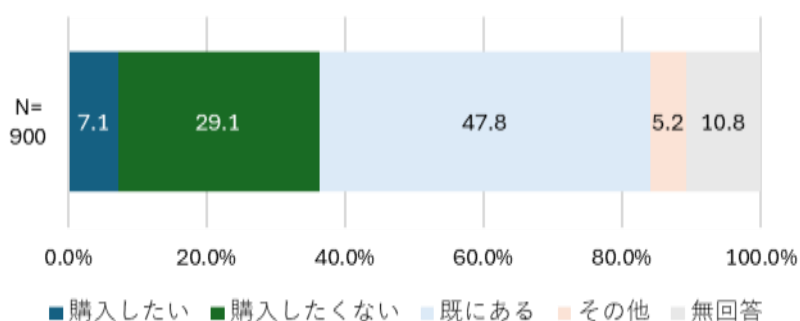
“祖父母と親と子”では2番目に「民間アパート」が高くなっている。

問 26 今後、岩泉町内に宅地を購入したいと考えていますか。(1つに○)

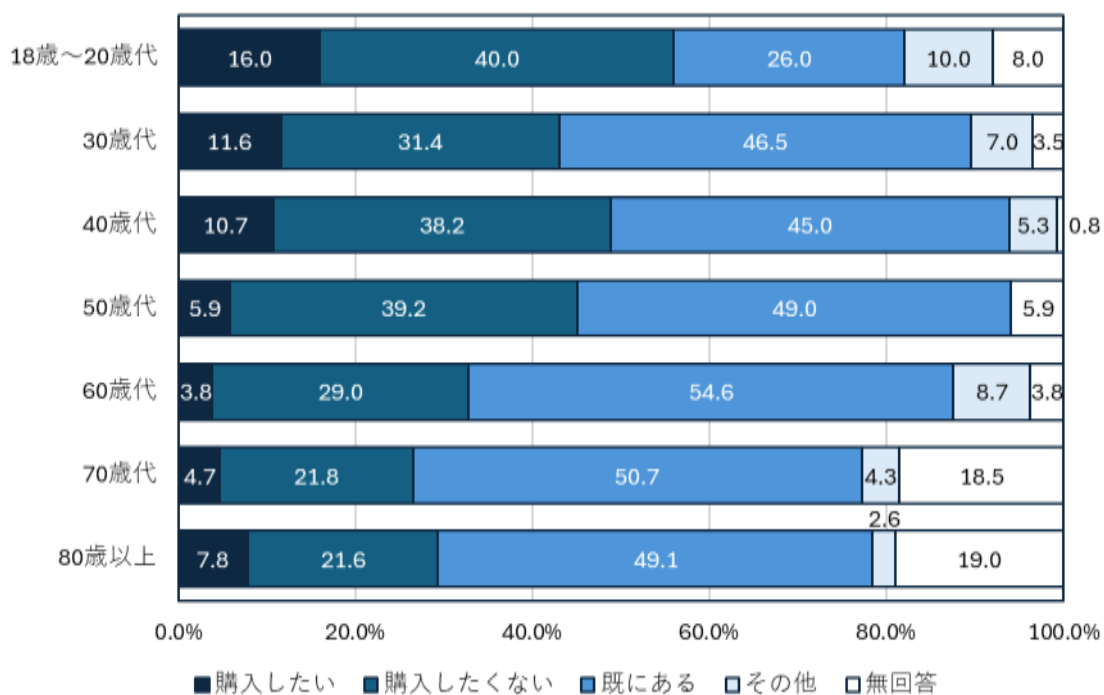
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 購入したい	64	7.1
2 購入したくない	262	29.1
3 既にある	430	47.8
4 その他	47	5.2
無回答	97	10.8

今後の町内での宅地購入意向について最も多いのは「既にある」(47.8%)、次いで「購入したくない」(29.1%)、「購入したい」(7.1%)の順で多くなっています。

有効票数 = 900



○クロス集計 (年代)



	購入したい	購入したくない	既にある	その他	無回答	計
18歳～20歳代	8	20	13	5	4	50
	16.0	40.0	26.0	10.0	8.0	100.0
30歳代	10	27	40	6	3	86
	11.6	31.4	46.5	7.0	3.5	100.0
40歳代	14	50	59	7	1	131
	10.7	38.2	45.0	5.3	0.8	100.0
50歳代	6	40	50	0	6	102
	5.9	39.2	49.0	0.0	5.9	100.0
60歳代	7	53	100	16	7	183
	3.8	29.0	54.6	8.7	3.8	100.0
70歳代	10	46	107	9	39	211
	4.7	21.8	50.7	4.3	18.5	100.0
80歳以上	9	25	57	3	22	116
	7.8	21.6	49.1	2.6	19.0	100.0
無回答	0	1	4	1	14	20
	0.0	5.0	20.0	5.0	70.0	100.0
計	64	262	430	47	96	899
	7.1	29.1	47.8	5.2	10.7	100.0

有効票数 = 899

“30歳代”以上では「既にある」が最も高く、次いで「購入したくない」、「購入したい」の順で高くなっている。

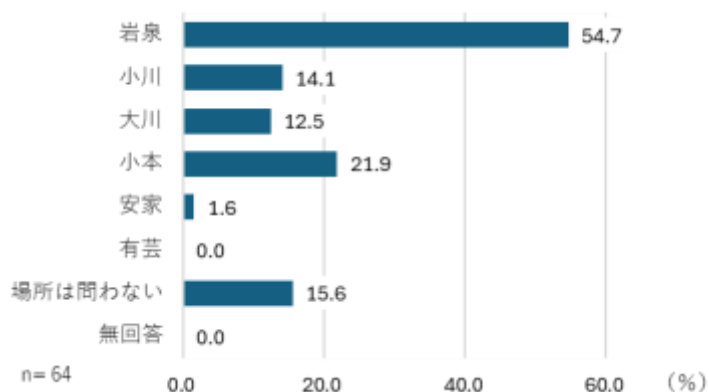
“18歳～20歳代”では、「購入したくない」が最も高く、次いで「既にある」、「購入したい」の順で高くなっている。

「購入したい」は“40歳代”以下で10%以上の割合となっている。

問 27 前問で「1. 購入したい」と回答した方に伺います。購入する場合、どの地区を希望しますか。（2つ以内に○）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 岩泉	35	54.7
2 小川	9	14.1
3 大川	8	12.5
4 小本	14	21.9
5 安家	1	1.6
6 有芸	0	0.0
7 場所は問わない	10	15.6
無回答	0	0.0

有効票数 = 64



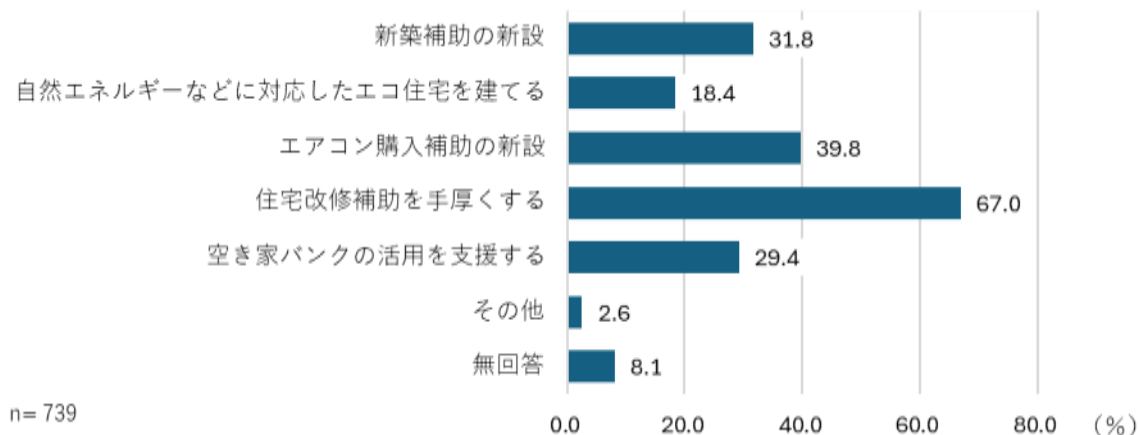
宅地購入を希望する町内の地区で最も多いのは「岩泉」(54.7%)、次いで「小本」(21.9%)、「場所は問わない」(15.6%)の順で多くなっています。

問 28 問 26 で「2」「3」「4」を回答した方に伺います。快適な住まいを確保していくうえで、大切なことは何だと思いますか。（3つ以内に○）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 新築補助の新設	235	31.8
2 自然エネルギーなどに対応したエコ住宅を建てる	136	18.4
3 エアコン購入補助の新設	294	39.8
4 住宅改修補助を手厚くする	495	67.0
5 空き家バンクの活用を支援する	217	29.4
6 その他	19	2.6
無回答	60	8.1

有効票数 = 739

快適な住まいを確保するために大切にすべきことで最も多いのは「住宅改修補助を手厚くする」(67.0%)、次いで「エアコン購入補助の新設」(39.8%)、「新築補助の新設」(31.8%)の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	新築補助 の新設	自然エネルギーなどに 対応したエコ住宅を建 てる	エアコン 購入補助 の新設	住宅改修 補助を手 厚くする	空き家バ ンクの活 用を支援 する	その他	無回答	計
18歳～20歳代	20	8	18	21	10	3	1	38
	52.6	21.1	47.4	55.3	26.3	7.9	2.6	100.0
30歳代	33	17	31	48	27	3	2	73
	45.2	23.3	42.5	65.8	37.0	4.1	2.7	100.0
40歳代	41	22	52	77	42	5	2	115
	35.7	19.1	45.2	67.0	36.5	4.3	1.7	100.0
50歳代	34	14	36	67	26	0	4	90
	37.8	15.6	40.0	74.4	28.9	0.0	4.4	100.0
60歳代	33	32	67	125	49	4	9	169
	19.5	18.9	39.6	74.0	29.0	2.4	5.3	100.0
70歳代	38	30	59	102	44	4	26	162
	23.5	18.5	36.4	63.0	27.2	2.5	16.0	100.0
80歳以上	34	11	29	50	19	0	16	86
	39.5	12.8	33.7	58.1	22.1	0.0	18.6	100.0
無回答	2	2	2	5	0	0	0	6
	33.3	33.3	33.3	83.3	0.0	0.0	0.0	100.0
計	235	136	294	495	217	19	60	739
	31.8	18.4	39.8	67.0	29.4	2.6	8.1	100.0

有効票数 = 739

各年代で「住宅改修補助を手厚くする」が最も高くなっている。

“30歳代”以下では2番目に「新築補助の新設」が高く、次いで「エアコン購入補助の新設」が高くなっている。

“40歳代”と“60歳代”、“70歳代”では2番目に「エアコン購入補助の新設」が高く、次いで「空き家バンクの活用を支援する」が高くなっている。

“50歳代”では2番目に「エアコン購入補助の新設」が高く、次いで「新築補助の新設」が高くなっている。

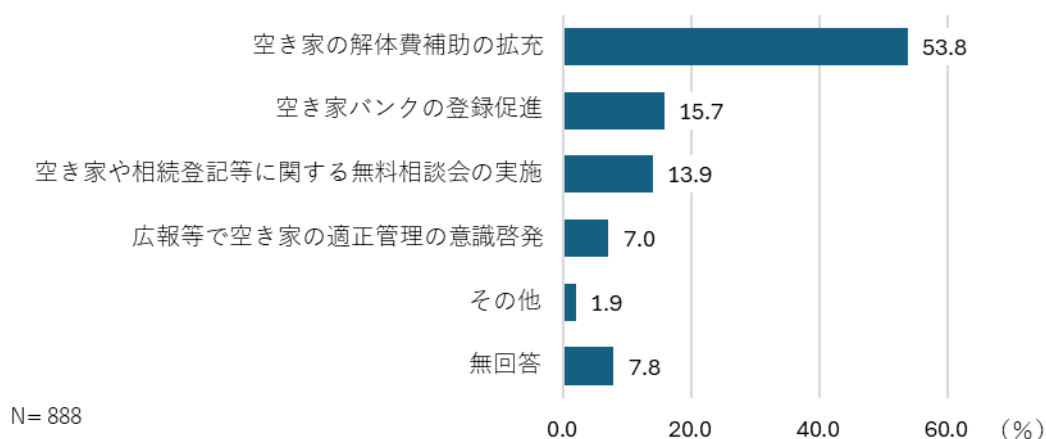
“80歳以上”では2番目に「新築補助の新設」が高く、次いで「エアコン購入補助の新設」が高くなっている。

問 29 空き家問題を解決するために必要なことは何だと思えますか。(1つに○)

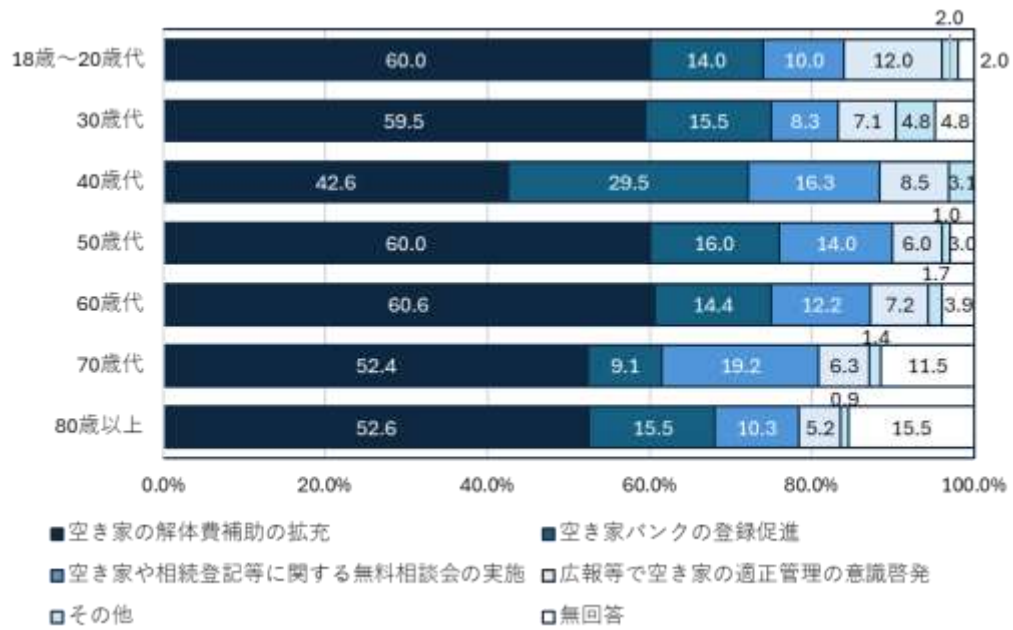
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 空き家の解体費補助の拡充	478	53.8
2 空き家バンクの登録促進	139	15.7
3 空き家や相続登記等に関する無料相談会の実施	123	13.9
4 広報等で空き家の適正管理の意識啓発	62	7.0
5 その他	17	1.9
無回答	69	7.8

空き家問題を解決するために必要なことについて最も多いのは「空き家の解体費補助の拡充」(53.8%)、次いで「空き家バンクの登録促進」(15.7%)、「空き家や相続登記等に関する無料相談会の実施」(13.9%)の順で多くなっています。

有効票数 = 888



○クロス集計 (年代)



	空き家の解体費補助の拡充	空き家バンクの登録促進	空き家や相続登記等に関する無料相談会の実施	広報等で空き家の適正管理の意識啓発	その他	無回答	計
18歳～20歳代	30	7	5	6	1	1	50
	60.0	14.0	10.0	12.0	2.0	2.0	100.0
30歳代	50	13	7	6	4	4	84
	59.5	15.5	8.3	7.1	4.8	4.8	100.0
40歳代	55	38	21	11	4	0	129
	42.6	29.5	16.3	8.5	3.1	0.0	100.0
50歳代	60	16	14	6	1	3	100
	60.0	16.0	14.0	6.0	1.0	3.0	100.0
60歳代	109	26	22	13	3	7	180
	60.6	14.4	12.2	7.2	1.7	3.9	100.0
70歳代	109	19	40	13	3	24	208
	52.4	9.1	19.2	6.3	1.4	11.5	100.0
80歳以上	61	18	12	6	1	18	116
	52.6	15.5	10.3	5.2	0.9	15.5	100.0
無回答	4	2	2	1	0	11	20
	20.0	10.0	10.0	5.0	0.0	55.0	100.0
計	478	139	123	62	17	68	887
	53.9	15.7	13.9	7.0	1.9	7.7	100.0

有効票数 = 887

各年代で「空き家の解体費補助の拡充」が最も高くなっている。「18歳～20歳代」と「70歳代」以外では2番目に「空き家バンクの登録促進」が高く、次いで「空き家や相続登記等に関する無料相談会の実施」が高くなっている。

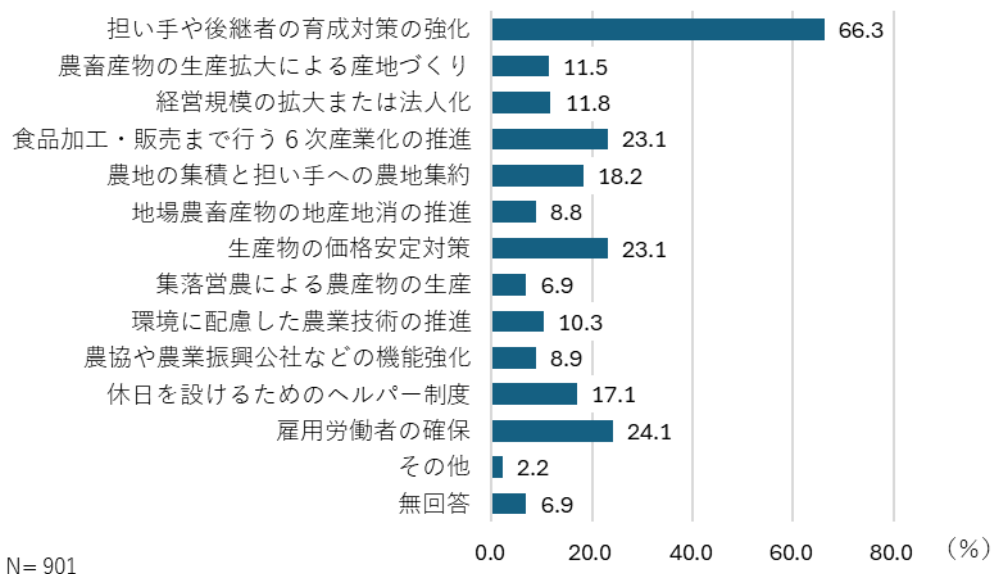
(8) 産業経済について

問 30 岩泉町の農業を振興するうえで大切なことは何だと思いますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 担い手や後継者の育成対策の強化	597	66.3
2 農畜産物の生産拡大による産地づくり	104	11.5
3 経営規模の拡大または法人化	106	11.8
4 食品加工・販売まで行う6次産業化の推進	208	23.1
5 農地の集積と担い手への農地集約	164	18.2
6 地場農畜産物の地産地消の推進	79	8.8
7 生産物の価格安定対策	208	23.1
8 集落営農による農産物の生産	62	6.9
9 環境に配慮した農業技術の推進	93	10.3
10 農協や農業振興公社などの機能強化	80	8.9
11 休日を設けるためのヘルパー制度	154	17.1
12 雇用労働者の確保	217	24.1
13 その他	20	2.2
無回答	62	6.9

有効票数 = 901

岩泉町の農業を振興するうえで大切なことについて最も多いのは「担い手や後継者の育成対策の強化」(66.3%)、次いで「雇用労働者の確保」(24.1%)、「食品加工・販売まで行う6次産業化の推進」「生産物の価格安定対策」が(23.1%)の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	担い手や後継者の育成対策の強化	農畜産物の生産拡大による産地づくり	経営規模の拡大または法人化	食品加工・販売まで行う6次産業化の推進	農地の集積と担い手への農地集約	地場農畜産物の産地消の推進	生産物の価格安定対策	集落営農による農産物の生産	環境に配慮した農業技術の推進	農協や農業振興公社などの機能強化	休日を設けるためのヘルパー制度	雇用労働者の確保	その他	無回答	計
18歳～20歳代	38	5	5	14	7	5	9	2	5	1	10	16	2	2	50
	76.0	10.0	10.0	28.0	14.0	10.0	18.0	4.0	10.0	2.0	20.0	32.0	4.0	4.0	100.0
30歳代	63	10	14	16	13	6	13	2	7	13	19	24	5	0	86
	73.3	11.6	16.3	18.6	15.1	7.0	15.1	2.3	8.1	15.1	22.1	27.9	5.8	0.0	100.0
40歳代	91	13	20	36	21	12	34	9	6	10	33	43	2	0	131
	69.5	9.9	15.3	27.5	16.0	9.2	26.0	6.9	4.6	7.6	25.2	32.8	1.5	0.0	100.0
50歳代	63	15	16	29	18	7	31	4	7	7	18	25	3	3	103
	61.2	14.6	15.5	28.2	17.5	6.8	30.1	3.9	6.8	6.8	17.5	24.3	2.9	2.9	100.0
60歳代	124	19	25	48	35	15	50	13	28	15	30	46	4	3	183
	67.8	10.4	13.7	26.2	19.1	8.2	27.3	7.1	15.3	8.2	16.4	25.1	2.2	1.6	100.0
70歳代	145	30	16	44	43	22	46	20	26	16	29	34	3	25	211
	68.7	14.2	7.6	20.9	20.4	10.4	21.8	9.5	12.3	7.6	13.7	16.1	1.4	11.8	100.0
80歳以上	70	11	9	18	25	10	23	11	12	17	13	26	1	17	116
	60.3	9.5	7.8	15.5	21.6	8.6	19.8	9.5	10.3	14.7	11.2	22.4	0.9	14.7	100.0
無回答	3	1	1	3	2	2	2	1	2	1	2	3	0	11	20
	15.0	5.0	5.0	15.0	10.0	10.0	10.0	5.0	10.0	5.0	10.0	15.0	0.0	55.0	100.0
計	597	104	106	208	164	79	208	62	93	80	154	217	20	61	900
	66.3	11.6	11.8	23.1	18.2	8.8	23.1	6.9	10.3	8.9	17.1	24.1	2.2	6.8	100.0

有効票数 = 900

各年代で「担い手や後継者の育成対策の強化」が最も高くなっている。

“40歳代”以下と“80歳以上”では「雇用労働者の確保」が2番目に高く、“50歳代”から“70歳代”では「生産物の価格安定対策」が高くなっている。

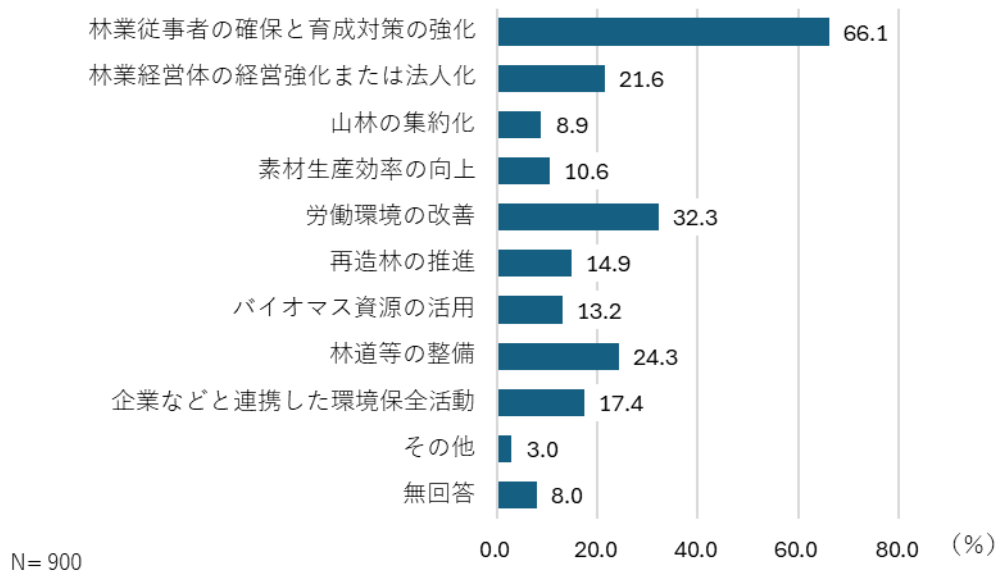
“30歳代”と“80歳以上”以外では「食品加工・販売まで行う6次産業化の推進」が3番目に高くなっている。

問 31 岩泉町の林業を振興するうえで大切なことは何だと思えますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 林業従事者の確保と育成対策の強化	595	66.1
2 林業経営体の経営強化または法人化	194	21.6
3 山林の集約化	80	8.9
4 素材生産効率の向上	95	10.6
5 労働環境の改善	291	32.3
6 再造林の推進	134	14.9
7 バイオマス資源の活用	119	13.2
8 林道等の整備	219	24.3
9 企業などと連携した環境保全活動	157	17.4
10 その他	27	3.0
無回答	72	8.0

有効票数 = 900

岩泉町の林業を振興するうえで大切なことについて最も多いのは「林業従事者の確保と育成対策の強化」(66.1%)、次いで「労働環境の改善」(32.3%)、「林道等の整備」(24.3%)の順で多くなっています。



○クロス集計 (年代)

	林業従事者の確保と育成対策の強化	林業経営体の経営強化または法人化	山林の集約化	素材生産効率の向上	労働環境の改善	再造林の推進	バイオマス資源の活用	林道等の整備	企業などと連携した環境保全活動	その他	無回答	計
18歳～20歳代	29	12	5	8	19	11	12	5	11	0	3	50
	58.0	24.0	10.0	16.0	38.0	22.0	24.0	10.0	22.0	0.0	6.0	100.0
30歳代	47	24	10	5	31	11	12	21	13	6	3	86
	54.7	27.9	11.6	5.8	36.0	12.8	14.0	24.4	15.1	7.0	3.5	100.0
40歳代	90	28	12	14	53	18	19	24	15	8	1	131
	68.7	21.4	9.2	10.7	40.5	13.7	14.5	18.3	11.5	6.1	0.8	100.0
50歳代	63	18	9	13	40	16	12	20	20	3	5	103
	61.2	17.5	8.7	12.6	38.8	15.5	11.7	19.4	19.4	2.9	4.9	100.0
60歳代	134	43	16	20	58	29	29	54	32	4	4	183
	73.2	23.5	8.7	10.9	31.7	15.8	15.8	29.5	17.5	2.2	2.2	100.0
70歳代	152	40	17	22	64	30	22	60	37	5	23	211
	72.0	19.0	8.1	10.4	30.3	14.2	10.4	28.4	17.5	2.4	10.9	100.0
80歳以上	72	26	8	10	24	19	13	31	25	1	23	115
	62.6	22.6	7.0	8.7	20.9	16.5	11.3	27.0	21.7	0.9	20.0	100.0
無回答	8	3	3	3	2	0	0	4	4	0	9	20
	40.0	15.0	15.0	15.0	10.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	45.0	100.0
計	595	194	80	95	291	134	119	219	157	27	71	899
	66.2	21.6	8.9	10.6	32.4	14.9	13.2	24.4	17.5	3.0	7.9	100.0

有効票数 = 899

各年代で「林業従事者の確保と育成対策の強化」が最も高く、「80歳以上」以外では2番目に「労働環境の改善」が高くなっている。

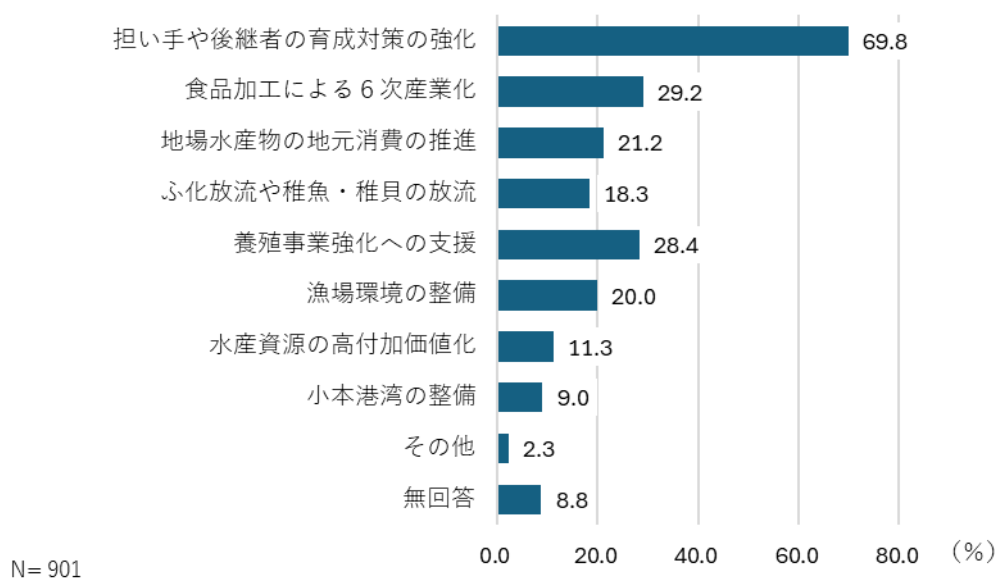
その他、「林業経営体の経営強化または法人化」や「林道等の整備」も高い傾向にある。

問 32 岩泉町の水産業を振興するうえで大切なことは何だと思いますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 担い手や後継者の育成対策の強化	629	69.8
2 食品加工による6次産業化	263	29.2
3 地場水産物の地元消費の推進	191	21.2
4 ふ化放流や稚魚・稚貝の放流	165	18.3
5 養殖事業強化への支援	256	28.4
6 漁場環境の整備	180	20.0
7 水産資源の高付加価値化	102	11.3
8 小本港湾の整備	81	9.0
9 その他	21	2.3
無回答	79	8.8

岩泉町の水産業を振興するうえで大切なことについて最も多いのは「担い手や後継者の育成対策の強化」(69.8%)、次いで「食品加工による6次産業化」(29.2%)、「養殖事業強化への支援」(28.4%)の順で多くなっています。

有効票数 = 901



○クロス集計 (年代)

	担い手や 後継者の 育成対策 の強化	食品加工 による6 次産業化	地場水産 物の地元 消費の推 進	ふ化放流 や稚魚・ 稚貝の放 流	養殖事業 強化への 支援	漁場環境 の整備	水産資源 の高付加 価値化	小本港湾 の整備	その他	無回答	計
18歳～20歳代	33	16	13	8	17	9	7	6	1	3	50
	66.0	32.0	26.0	16.0	34.0	18.0	14.0	12.0	2.0	6.0	100.0
30歳代	62	31	21	11	15	21	12	12	5	1	86
	72.1	36.0	24.4	12.8	17.4	24.4	14.0	14.0	5.8	1.2	100.0
40歳代	96	42	21	17	37	25	25	9	4	1	131
	73.3	32.1	16.0	13.0	28.2	19.1	19.1	6.9	3.1	0.8	100.0
50歳代	73	31	22	17	29	29	9	8	3	6	103
	70.9	30.1	21.4	16.5	28.2	28.2	8.7	7.8	2.9	5.8	100.0
60歳代	134	64	39	32	58	40	26	15	3	3	183
	73.2	35.0	21.3	17.5	31.7	21.9	14.2	8.2	1.6	1.6	100.0
70歳代	154	50	49	45	56	38	17	10	4	31	211
	73.0	23.7	23.2	21.3	26.5	18.0	8.1	4.7	1.9	14.7	100.0
80歳以上	72	26	22	32	40	15	6	18	1	24	116
	62.1	22.4	19.0	27.6	34.5	12.9	5.2	15.5	0.9	20.7	100.0
無回答	5	3	4	3	4	3	0	3	0	9	20
	25.0	15.0	20.0	15.0	20.0	15.0	0.0	15.0	0.0	45.0	100.0
計	629	263	191	165	256	180	102	81	21	78	900
	69.9	29.2	21.2	18.3	28.4	20.0	11.3	9.0	2.3	8.7	100.0

有効票数 = 900

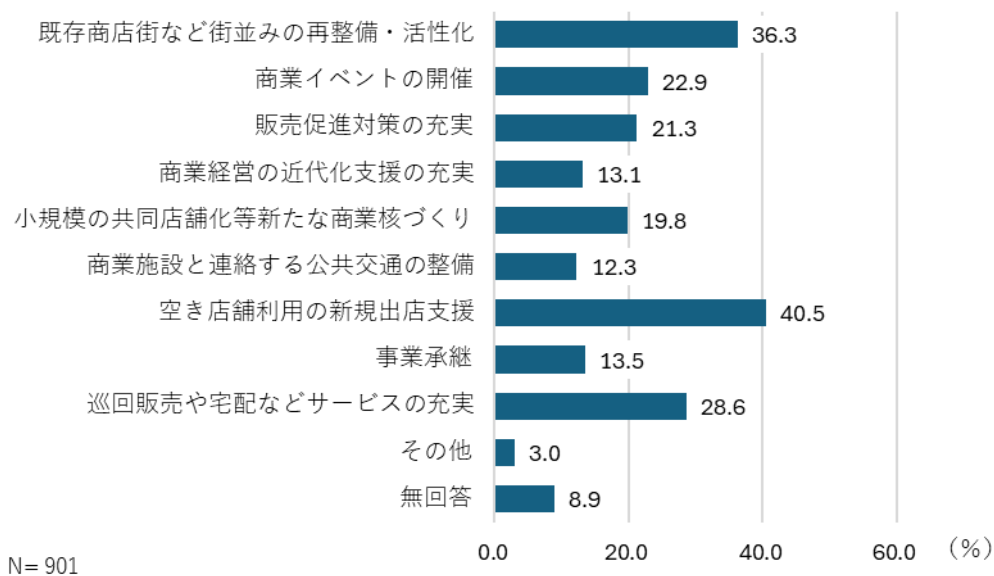
各年代で「担い手や後継者の育成対策の強化」が最も高くなっており、その他「食品加工による6次産業化」や「養殖事業強化への支援」も高い傾向にある。

問 33 岩泉町の商業を振興するうえで大切なことは何だと思いますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 既存商店街など街並みの再整備・活性化	327	36.3
2 商業イベントの開催	206	22.9
3 販売促進対策の充実	192	21.3
4 商業経営の近代化支援の充実	118	13.1
5 小規模の共同店舗化等新たな商業核づくり	178	19.8
6 商業施設と連絡する公共交通の整備	111	12.3
7 空き店舗利用の新規出店支援	365	40.5
8 事業承継	122	13.5
9 巡回販売や宅配などサービスの充実	258	28.6
10 その他	27	3.0
無回答	80	8.9

有効票数 = 901

岩泉町の商業を振興するうえで大切なことについて最も多いのは「空き店舗利用の新規出店支援」(40.5%)、次いで「既存商店街など街並みの再整備・活性化」(36.3%)、「巡回販売や宅配などサービスの充実」(28.6%)の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	既存商店街など街並みの再整備・活性化	商業イベントの開催	販売促進対策の充実	商業経営の近代化支援の充実	小規模の共同店舗化等新たな商業核づくり	商業施設と連絡する公共交通の整備	空き店舗利用の新規出店支援	事業承継	巡回販売や宅配などサービスの充実	その他	無回答	計
18歳～20歳代	18	18	8	7	9	12	24	8	11	1	2	50
	36.0	36.0	16.0	14.0	18.0	24.0	48.0	16.0	22.0	2.0	4.0	100.0
30歳代	37	38	18	11	15	14	33	11	18	6	1	86
	43.0	44.2	20.9	12.8	17.4	16.3	38.4	12.8	20.9	7.0	1.2	100.0
40歳代	52	35	31	16	19	9	51	29	37	5	0	131
	39.7	26.7	23.7	12.2	14.5	6.9	38.9	22.1	28.2	3.8	0.0	100.0
50歳代	33	22	16	14	27	10	48	18	34	4	5	103
	32.0	21.4	15.5	13.6	26.2	9.7	46.6	17.5	33.0	3.9	4.9	100.0
60歳代	58	39	51	15	37	27	77	26	61	6	10	183
	31.7	21.3	27.9	8.2	20.2	14.8	42.1	14.2	33.3	3.3	5.5	100.0
70歳代	79	32	45	29	43	28	85	18	62	5	28	211
	37.4	15.2	21.3	13.7	20.4	13.3	40.3	8.5	29.4	2.4	13.3	100.0
80歳以上	46	20	21	23	26	11	43	12	34	0	21	116
	39.7	17.2	18.1	19.8	22.4	9.5	37.1	10.3	29.3	0.0	18.1	100.0
無回答	4	2	2	3	2	0	4	0	1	0	12	20
	20.0	10.0	10.0	15.0	10.0	0.0	20.0	0.0	5.0	0.0	60.0	100.0
計	327	206	192	118	178	111	365	122	258	27	79	900
	36.3	22.9	21.3	13.1	19.8	12.3	40.6	13.6	28.7	3.0	8.8	100.0

有効票数 = 900

各年代で「既存商店街など街並みの再整備・活性化」と「空き店舗利用の新規出店支援」が高い割合となっている。

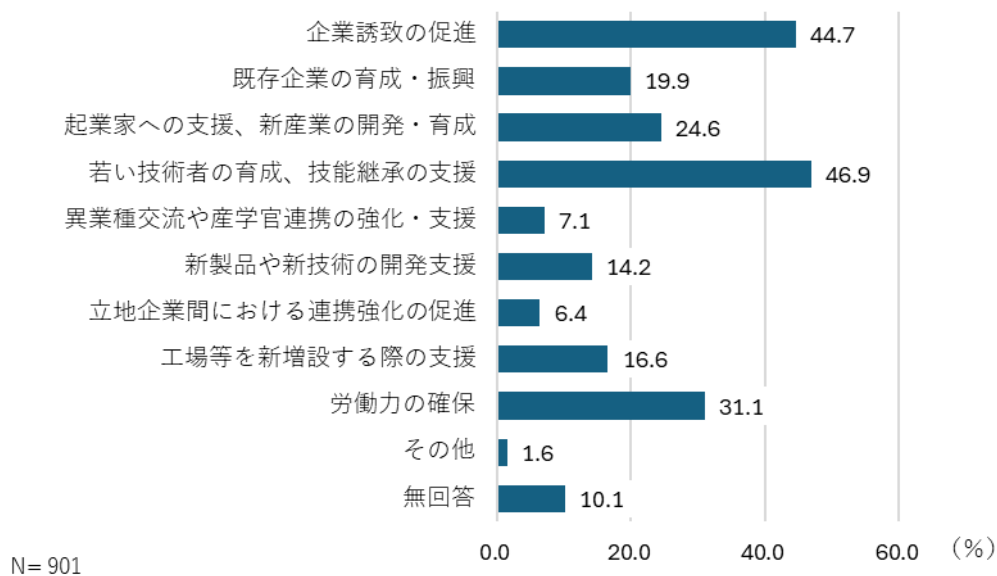
“30歳代”以下では「商業イベントの開催」も高く、“40歳代”以上では「巡回販売や宅配などサービスの充実」も高い傾向にある。

問 34 岩泉町の工業を振興するうえで大切なことは何だと思えますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 企業誘致の促進	403	44.7
2 既存企業の育成・振興	179	19.9
3 起業家への支援、新産業の開発・育成	222	24.6
4 若い技術者の育成、技能継承の支援	423	46.9
5 異業種交流や産学官連携の強化・支援	64	7.1
6 新製品や新技術の開発支援	128	14.2
7 立地企業間における連携強化の促進	58	6.4
8 工場等を新增設する際の支援	150	16.6
9 労働力の確保	280	31.1
10 その他	14	1.6
無回答	91	10.1

有効票数 = 901

岩泉町の工業を振興するうえで大切なことについて最も多いのは「若い技術者の育成、技能継承の支援」(46.9%)、次いで「企業誘致の促進」(44.7%)、「労働力の確保」(31.1%)の順で多くなっています。



○クロス集計 (年代)

	企業誘致 の促進	既存企業 の育成・ 振興	起業家へ の支援、 新産業の 開発・育 成	若い技術 者の育 成、技能 継承の支 援	異業種交 流や産学 官連携の 強化・支 援	新製品や 新技術の 開発支援	立地企業 間におけ る連携強 化の促進	工場等を 新增設す る際の支 援	労働力の 確保	その他	無回答	計
18歳～20歳代	18	12	15	24	6	12	7	7	15	1	3	50
	36.0	24.0	30.0	48.0	12.0	24.0	14.0	14.0	30.0	2.0	6.0	100.0
30歳代	37	26	21	48	3	11	4	19	28	1	0	86
	43.0	30.2	24.4	55.8	3.5	12.8	4.7	22.1	32.6	1.2	0.0	100.0
40歳代	59	24	32	65	12	24	6	25	44	4	2	131
	45.0	18.3	24.4	49.6	9.2	18.3	4.6	19.1	33.6	3.1	1.5	100.0
50歳代	46	20	31	46	3	13	6	18	35	3	5	103
	44.7	19.4	30.1	44.7	2.9	12.6	5.8	17.5	34.0	2.9	4.9	100.0
60歳代	90	39	45	85	16	31	11	30	53	3	9	183
	49.2	21.3	24.6	46.4	8.7	16.9	6.0	16.4	29.0	1.6	4.9	100.0
70歳代	98	37	45	107	17	20	19	33	67	2	33	211
	46.4	17.5	21.3	50.7	8.1	9.5	9.0	15.6	31.8	0.9	15.6	100.0
80歳以上	52	19	32	44	6	17	5	17	34	0	25	116
	44.8	16.4	27.6	37.9	5.2	14.7	4.3	14.7	29.3	0.0	21.6	100.0
無回答	3	2	1	4	1	0	0	1	4	0	13	20
	15.0	10.0	5.0	20.0	5.0	0.0	0.0	5.0	20.0	0.0	65.0	100.0
計	403	179	222	423	64	128	58	150	280	14	90	900
	44.8	19.9	24.7	47.0	7.1	14.2	6.4	16.7	31.1	1.6	10.0	100.0

有効票数 = 900

各年代で「企業誘致の促進」と「若い技術者の育成、技能継承の支援」が高い割合となっている。各年代で「労働力の確保」が3番目に高くなっている。

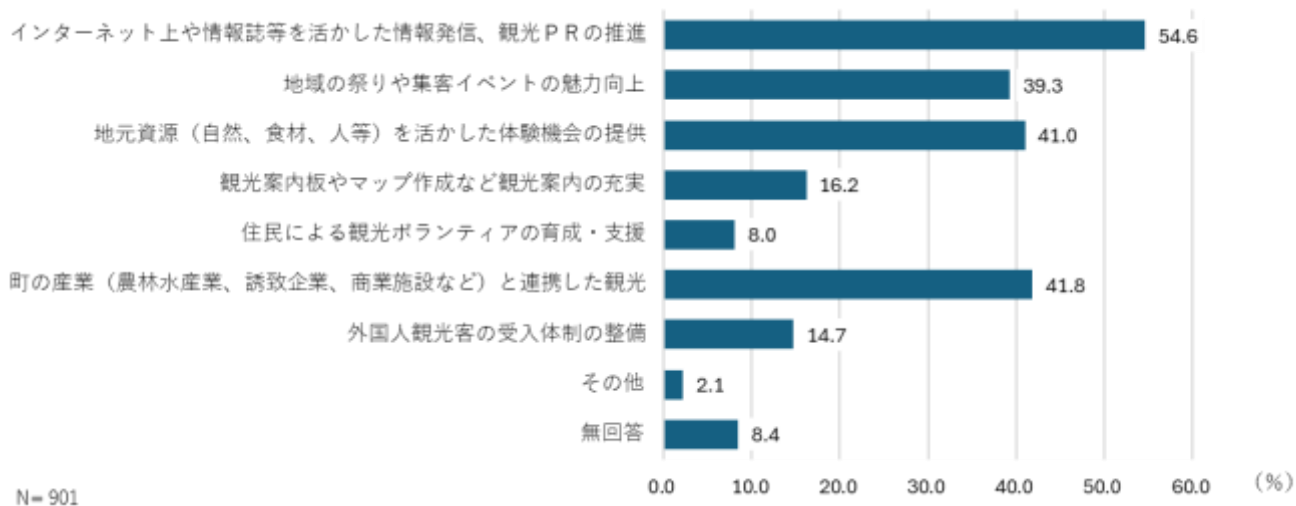
“18歳～20歳代”では、「起業家への支援、新産業の開発・育成」も3番目に高くなっている。

問 35 岩泉町の観光を振興するうえで大切なことは何だと思えますか。（3つ以内に○）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
インターネット上や情報誌等 1 を活かした情報発信、観光P Rの推進	492	54.6
2 地域の祭りや集客イベントの 魅力向上	354	39.3
3 地元資源（自然、食材、人等） を活かした体験機会の提供	369	41.0
4 観光案内板やマップ作成など 観光案内の充実	146	16.2
5 住民による観光ボランティア の育成・支援	72	8.0
6 町の産業（農林水産業、誘致 企業、商業施設など）と連携 した観光	377	41.8
7 外国人観光客の受入体制の整備	132	14.7
8 その他	19	2.1
無回答	76	8.4

有効票数 = 901

岩泉町の観光を振興するうえで大切なことについて最も多いのは「インターネット上や情報誌等を活かした情報発信、観光P Rの推進」（54.6%）、次いで「町の産業（農林水産業、誘致企業、商業施設など）と連携した観光」（41.8%）、「地元資源（自然、食材、人等）を活かした体験機会の提供」（41.0%）の順で多くなっています。



○クロス集計 (年代)

	インターネット上や情報誌等を活かした情報発信、観光PRの推進	地域の祭りや集客イベントの魅力向上	地元資源（自然、食材、人等）を活かした体験機会の提供	観光案内板やマップ作成など観光案内の充実	住民による観光ボランティアの育成・支援	町の産業（農林水産業、誘致企業、商業施設など）と連携した観光	外国人観光客の受入体制の整備	その他	無回答	計
18歳～20歳代	24	29	18	12	5	20	8	3	2	50
	48.0	58.0	36.0	24.0	10.0	40.0	16.0	6.0	4.0	100.0
30歳代	51	47	38	12	5	33	17	3	2	86
	59.3	54.7	44.2	14.0	5.8	38.4	19.8	3.5	2.3	100.0
40歳代	72	61	59	10	6	53	27	7	0	131
	55.0	46.6	45.0	7.6	4.6	40.5	20.6	5.3	0.0	100.0
50歳代	58	47	40	15	9	38	17	1	5	103
	56.3	45.6	38.8	14.6	8.7	36.9	16.5	1.0	4.9	100.0
60歳代	110	63	79	34	13	81	30	3	8	183
	60.1	34.4	43.2	18.6	7.1	44.3	16.4	1.6	4.4	100.0
70歳代	114	64	94	35	19	99	18	2	27	211
	54.0	30.3	44.5	16.6	9.0	46.9	8.5	0.9	12.8	100.0
80歳以上	58	39	38	26	14	49	15	0	19	116
	50.0	33.6	32.8	22.4	12.1	42.2	12.9	0.0	16.4	100.0
無回答	5	4	3	2	1	4	0	0	12	20
	25.0	20.0	15.0	10.0	5.0	20.0	0.0	0.0	60.0	100.0
計	492	354	369	146	72	377	132	19	75	900
	54.7	39.3	41.0	16.2	8.0	41.9	14.7	2.1	8.3	100.0

有効票数 = 900

各年代で「インターネット上や情報誌等を活かした情報発信、観光PRの推進」が最も高くなっている。

その他「地域の祭りや集客イベントの魅力向上」、「地元資源（自然、食材、人等）を活かした体験機会の提供」、「町の産業（農林水産業、誘致企業、商業施設など）と連携した観光」が高い傾向にある。

問36 町の活性化には、どのようなことが重要だと思いますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 特産品の開発や加工など、生産物の価値を高める施策を進める	410	45.5
2 企業の誘致や新しい産業おこしを進める	337	37.4
3 自然などを利用した、新しい観光の振興を進める	320	35.5
4 体や心の健康を保つための安らぎの場を整備する	205	22.8
5 農地や森林がこれからも良好な状態で保たれるような施策を進める	251	27.9
6 上下水道、交通通信体系などの生活基盤を整備する	236	26.2
7 I J Uターナーの受け入れを進める	327	36.3
8 その他	31	3.4
無回答	53	5.9

有効票数 = 901

岩泉町の活性化で重要なことについて最も多いのは「特産品の開発や加工など、生産物の価値を高める施策を進める」(45.5%)、次いで「企業の誘致や新しい産業おこしを進める」(37.4%)、「I J Uターナーの受け入れを進める」(36.3%)の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	特産品の開発や加工など、生産物の価値を高める施策を進める	企業の誘致や新しい産業おこしを進める	自然などを利用した、新しい観光の振興を進める	体や心の健康を保つための安らぎの場を整備する	農地や森林がこれからも良好な状態で保たれるような施策を進める	上下水道、交通通信体系などの生活基盤を整備する	I J Uターナー者の受け入れを進める	その他	無回答	計
18歳～20歳代	12	20	21	14	16	17	16	5	1	50
	24.0	40.0	42.0	28.0	32.0	34.0	32.0	10.0	2.0	100.0
30歳代	42	28	32	29	24	24	21	5	1	86
	48.8	32.6	37.2	33.7	27.9	27.9	24.4	5.8	1.2	100.0
40歳代	49	52	46	30	31	45	49	9	1	131
	37.4	39.7	35.1	22.9	23.7	34.4	37.4	6.9	0.8	100.0
50歳代	43	50	40	22	25	31	37	4	2	103
	41.7	48.5	38.8	21.4	24.3	30.1	35.9	3.9	1.9	100.0
60歳代	99	71	63	43	49	55	68	6	3	183
	54.1	38.8	34.4	23.5	26.8	30.1	37.2	3.3	1.6	100.0
70歳代	102	79	75	45	66	48	83	2	16	211
	48.3	37.4	35.5	21.3	31.3	22.7	39.3	0.9	7.6	100.0
80歳以上	59	36	37	20	39	15	47	0	17	116
	50.9	31.0	31.9	17.2	33.6	12.9	40.5	0.0	14.7	100.0
無回答	4	1	6	2	1	1	6	0	11	20
	20.0	5.0	30.0	10.0	5.0	5.0	30.0	0.0	55.0	100.0
計	410	337	320	205	251	236	327	31	52	900
	45.6	37.4	35.6	22.8	27.9	26.2	36.3	3.4	5.8	100.0

有効票数 = 900

“40歳代”以上では「特産品の開発や加工など、生産物の価値を高める施策を進める」、「企業の誘致や新しい産業おこしを進める」、「I J Uターナー者の受け入れを進める」が高い傾向にある。

“18歳～20歳代”では、「自然などを利用した、新しい観光の振興を進める」が最も高く、次いで「企業の誘致や新しい産業おこしを進める」、「上下水道、交通通信体系などの生活基盤を整備する」の順で高くなっている。

“30歳代”では、「特産品の開発や加工など、生産物の価値を高める施策を進める」が最も高く、次いで「自然などを利用した、新しい観光の振興を進める」、「体や心の健康を保つための安らぎの場を整備する」の順で高くなっている。

“40歳代”以上では産業開発などの経済的発展や雇用の場の開発と人口の増加といった「仕事」と「人」に関心があるが、“30歳代”以下になると、産業の発展や町のにぎわいといった「まち」と「生活」に関心があることが伺える。

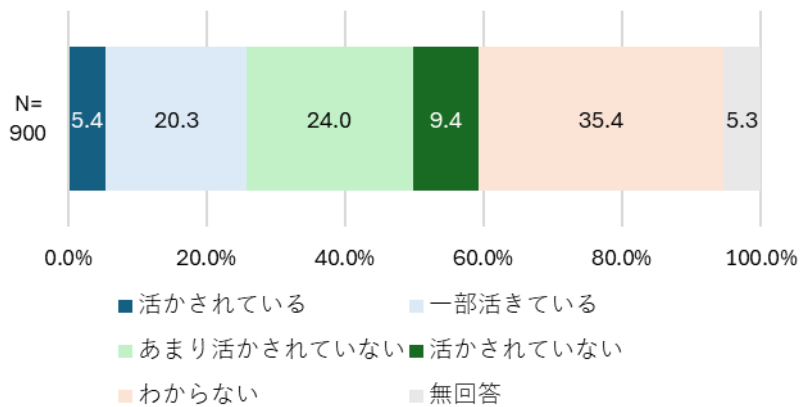
(9) 行政・協働について

問 37 町の政策の計画・実行にあたって、あなたや町民の声が活かされていると思いますか。(1つに○)

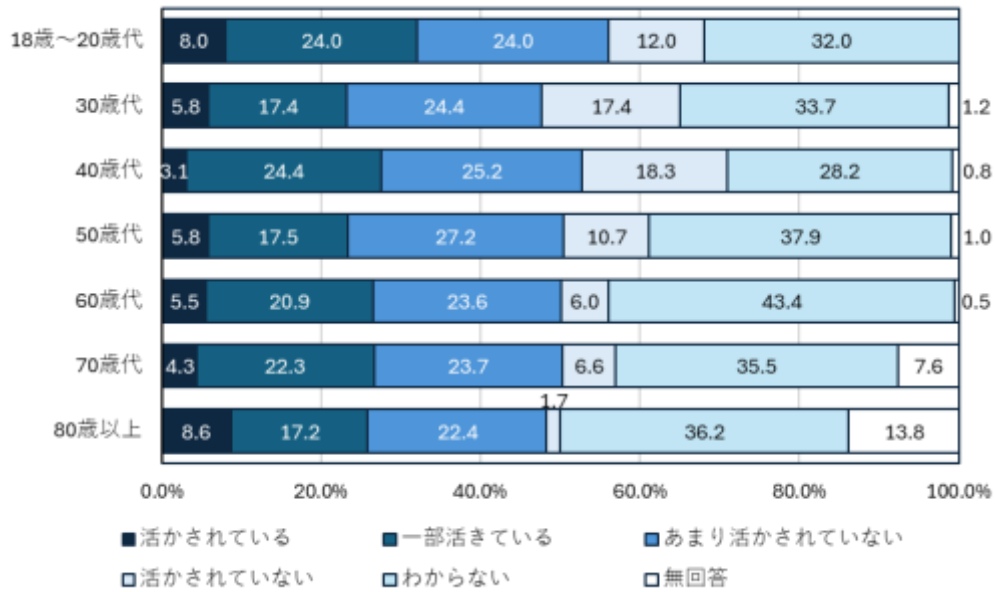
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 活かされている	49	5.4
2 一部活かしている	183	20.3
3 あまり活かされていない	216	24.0
4 活かされていない	85	9.4
5 わからない	319	35.4
無回答	48	5.3

有効票数 = 900

町の政策の計画・実行に町民の声が活かされているかについて最も多いのは「わからない」(35.4%)、次いで「あまり活かされていない」(24.0%)、「一部活かしている」(20.3%)の順で多くなっています。「活かされている」と「一部活かしている」を合わせると25.7%、「あまり活かされていない」と「活かされていない」を合わせると33.4%となっています。



○クロス集計 (年代)



	活かされ ている	一部活き ている	あまり活 かされて いない	活かされ ていない	わから ない	無回答	計
18歳～20歳代	4	12	12	6	16	0	50
	8.0	24.0	24.0	12.0	32.0	0.0	100.0
30歳代	5	15	21	15	29	1	86
	5.8	17.4	24.4	17.4	33.7	1.2	100.0
40歳代	4	32	33	24	37	1	131
	3.1	24.4	25.2	18.3	28.2	0.8	100.0
50歳代	6	18	28	11	39	1	103
	5.8	17.5	27.2	10.7	37.9	1.0	100.0
60歳代	10	38	43	11	79	1	182
	5.5	20.9	23.6	6.0	43.4	0.5	100.0
70歳代	9	47	50	14	75	16	211
	4.3	22.3	23.7	6.6	35.5	7.6	100.0
80歳以上	10	20	26	2	42	16	116
	8.6	17.2	22.4	1.7	36.2	13.8	100.0
無回答	1	1	3	2	2	11	20
	5.0	5.0	15.0	10.0	10.0	55.0	100.0
計	49	183	216	85	319	47	899
	5.5	20.4	24.0	9.5	35.5	5.2	100.0

有効票数 = 899

各年代で「わからない」が最も高く、次いで「あまり活かされていない」が高くなっている。

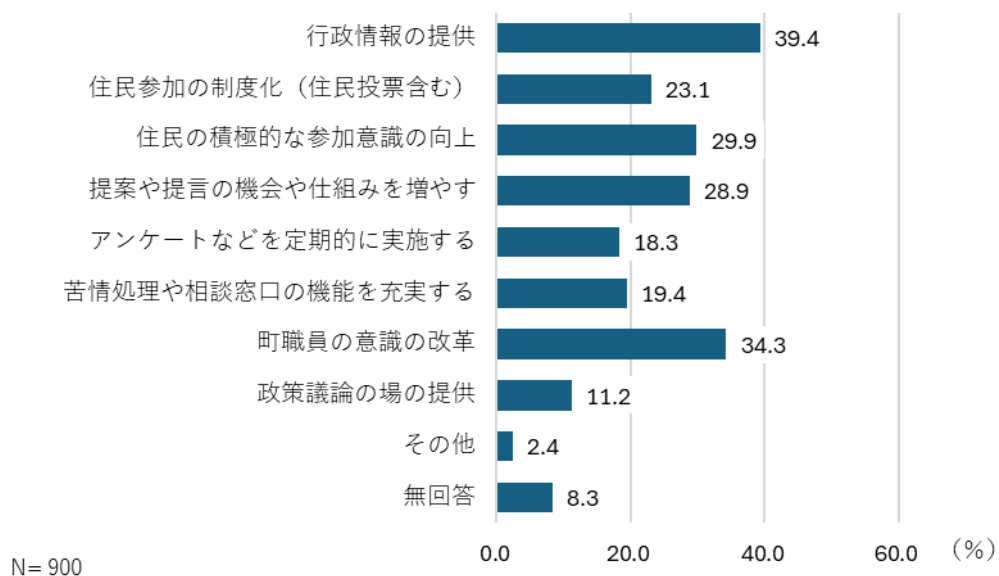
また、「70 歳代」以下では「活かされている」と「一部活かされている」を合わせた割合よりも「あまり活かされていない」と「活かされていない」を合わせた割合の方が高くなっている。特に「30 歳代」から「50 歳代」では「あまり活かされていない」と「活かされていない」を合わせた割合の方が 10 ポイント以上高くなっている。

問 38 町民の声を町政に活かすためには、何が重要だと思いますか。（3つ以内に○）

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 行政情報の提供	355	39.4
2 住民参加の制度化（住民投票含む）	208	23.1
3 住民の積極的な参加意識の向上	269	29.9
4 提案や提言の機会や仕組みを増やす	260	28.9
5 アンケートなどを定期的実施する	165	18.3
6 苦情処理や相談窓口の機能を充実する	175	19.4
7 町職員の意識の改革	309	34.3
8 政策議論の場の提供	101	11.2
9 その他	22	2.4
無回答	75	8.3

有効票数 = 900

町民の声を町政に活かすために重要なことについて最も多いのは「行政情報の提供」（39.4%）、次いで「町職員の意識の改革」（34.3%）、「住民の積極的な参加意識の向上」（29.9%）の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	行政情報の提供	住民参加の制度化（住民投票含む）	住民の積極的な参加意識の向上	提案や提言の機会や仕組みを増やす	アンケートなどを定期的実施する	苦情処理や相談窓口の機能を充実する	町職員の意識の改革	政策議論の場の提供	その他	無回答	計
18歳～20歳代	15	12	18	17	10	8	16	5	4	2	50
	30.0	24.0	36.0	34.0	20.0	16.0	32.0	10.0	8.0	4.0	100.0
30歳代	34	23	25	22	17	20	25	15	6	1	86
	39.5	26.7	29.1	25.6	19.8	23.3	29.1	17.4	7.0	1.2	100.0
40歳代	45	39	32	36	34	17	51	15	5	1	130
	34.6	30.0	24.6	27.7	26.2	13.1	39.2	11.5	3.8	0.8	100.0
50歳代	36	28	22	31	22	14	39	13	2	6	103
	35.0	27.2	21.4	30.1	21.4	13.6	37.9	12.6	1.9	5.8	100.0
60歳代	83	43	60	64	32	33	66	22	3	4	183
	45.4	23.5	32.8	35.0	17.5	18.0	36.1	12.0	1.6	2.2	100.0
70歳代	88	39	65	63	24	57	72	23	1	27	211
	41.7	18.5	30.8	29.9	11.4	27.0	34.1	10.9	0.5	12.8	100.0
80歳以上	49	23	45	24	22	22	34	8	1	23	116
	42.2	19.8	38.8	20.7	19.0	19.0	29.3	6.9	0.9	19.8	100.0
無回答	5	1	2	3	4	4	6	0	0	10	20
	25.0	5.0	10.0	15.0	20.0	20.0	30.0	0.0	0.0	50.0	100.0
計	355	208	269	260	165	175	309	101	22	74	899
	39.5	23.1	29.9	28.9	18.4	19.5	34.4	11.2	2.4	8.2	100.0

有効票数 = 899

各年代で「行政情報の提供」と「町職員の意識の改革」といった町への要望が高い割合となっている。

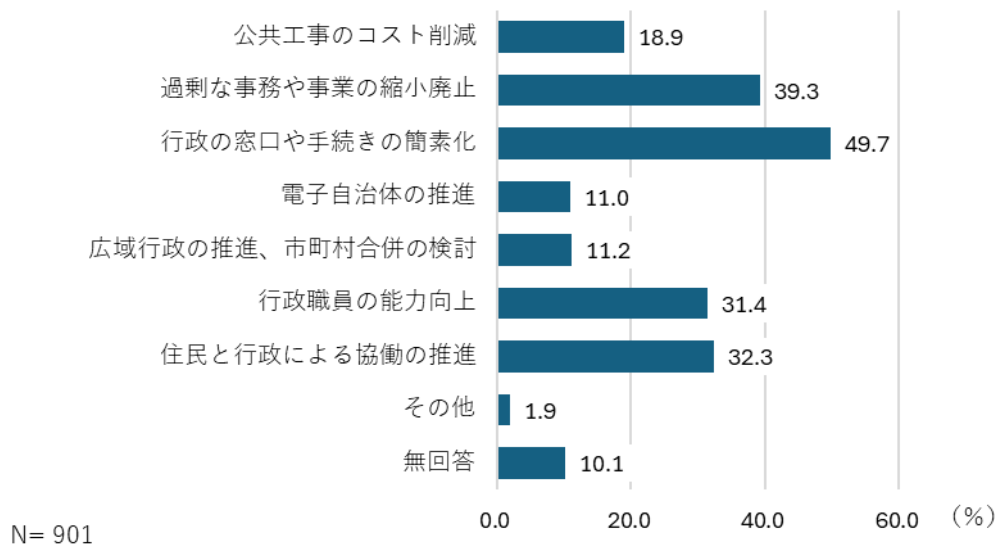
一方で、“30歳代”以下と“70歳代”以上では「住民の積極的な参加意識の向上」も高く、“18歳～20歳代”や“50歳代”、“60歳代”では「提案や提言の機会や仕組みを増やす」といった住民側が行動することにつながるような啓蒙や仕組みについても高い傾向にある。

問 39 これからの行財政改革で大切なことは何だと思いますか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 公共工事のコスト削減	170	18.9
2 過剰な事務や事業の縮小廃止	354	39.3
3 行政の窓口や手続きの簡素化	448	49.7
4 電子自治体の推進	99	11.0
5 広域行政の推進、市町村合併の検討	101	11.2
6 行政職員の能力向上	283	31.4
7 住民と行政による協働の推進	291	32.3
8 その他	17	1.9
無回答	91	10.1

有効票数 = 901

これからの行財政改革で大切なことについて最も多いのは「行政の窓口や手続きの簡素化」(49.7%)、次いで「過剰な事務や事業の縮小廃止」(39.3%)、「住民と行政による協働の推進」(32.3%)の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	公共工事 のコスト 削減	過剰な事 務や事業 の縮小廃 止	行政の窓 口や手続 きの簡素 化	電子自治 体の推進	広域行政 の推進、 市町村合 併の検討	行政職員 の能力向 上	住民と行 政による 協働の推 進	その他	無回答	計
18歳～20歳代	4	22	29	15	6	14	14	0	2	50
	8.0	44.0	58.0	30.0	12.0	28.0	28.0	0.0	4.0	100.0
30歳代	14	39	47	21	8	27	25	4	1	86
	16.3	45.3	54.7	24.4	9.3	31.4	29.1	4.7	1.2	100.0
40歳代	28	71	64	19	13	38	38	3	1	131
	21.4	54.2	48.9	14.5	9.9	29.0	29.0	2.3	0.8	100.0
50歳代	17	35	54	14	14	32	26	3	7	103
	16.5	34.0	52.4	13.6	13.6	31.1	25.2	2.9	6.8	100.0
60歳代	37	78	85	10	26	52	64	5	12	183
	20.2	42.6	46.4	5.5	14.2	28.4	35.0	2.7	6.6	100.0
70歳代	51	73	106	12	19	68	78	2	34	211
	24.2	34.6	50.2	5.7	9.0	32.2	37.0	0.9	16.1	100.0
80歳以上	17	33	57	8	14	46	43	0	23	116
	14.7	28.4	49.1	6.9	12.1	39.7	37.1	0.0	19.8	100.0
無回答	2	3	6	0	1	6	3	0	10	20
	10.0	15.0	30.0	0.0	5.0	30.0	15.0	0.0	50.0	100.0
計	170	354	448	99	101	283	291	17	90	900
	18.9	39.3	49.8	11.0	11.2	31.4	32.3	1.9	10.0	100.0

有効票数 = 900

各年代で「行政の窓口や手続きの簡素化」や「過剰な事務や事業の縮小廃止」が高い傾向にある。

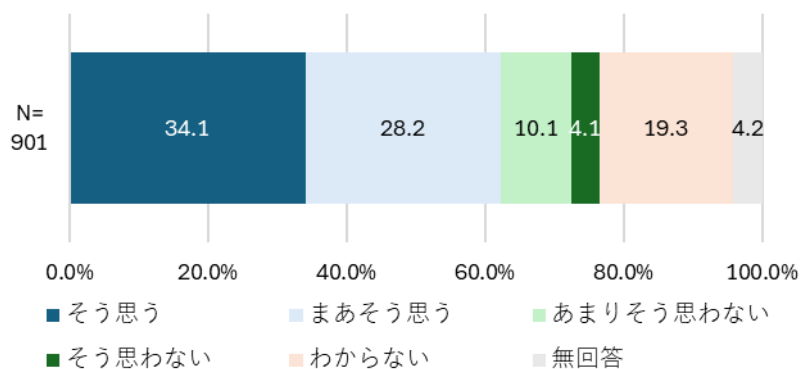
“70歳代”では2番目に「住民と行政による協働の推進」が、“80歳以上”では「行政職員の能力向上」が高くなっている。

問 40 町では地域振興協議会（岩泉・小川・大川・小本・安家・有芸の6協議会）との協働によるまちづくりに取り組んでいます。この協議会が果たす役割を今まで以上に高めていくことが必要だと思いますか。（1つに○）

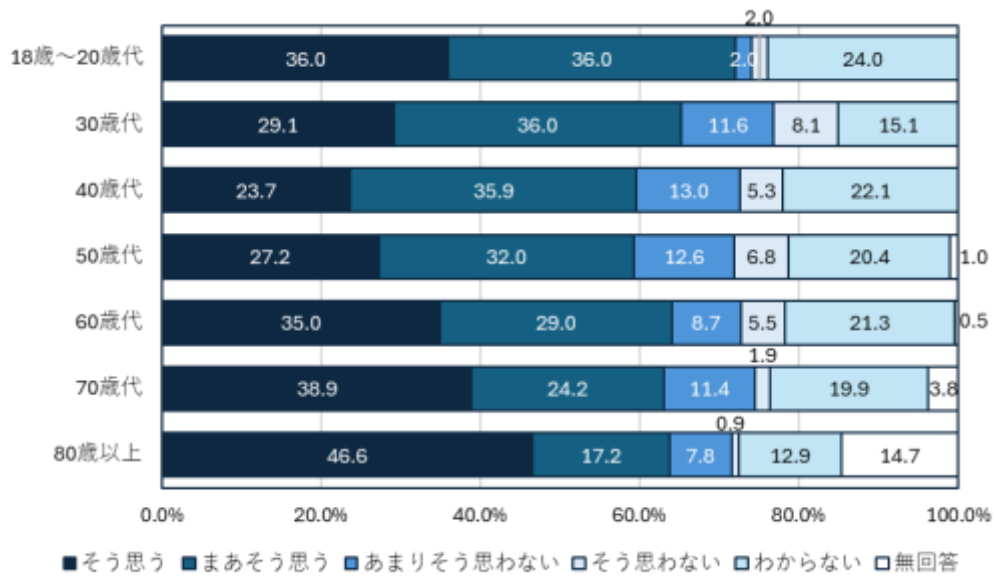
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 そう思う	307	34.1
2 まあそう思う	254	28.2
3 あまりそう思わない	91	10.1
4 そう思わない	37	4.1
5 わからない	174	19.3
無回答	38	4.2

有効票数 = 901

地域振興協議会が果たす役割を今まで以上に高めていくことの必要性について最も多いのは「そう思う」（34.1%）、次いで「まあそう思う」（28.2%）、「わからない」（19.3%）の順で多くなっています。「そう思う」と「まあそう思う」を合わせると62.3%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせると14.2%となっています。



○クロス集計 (年代)



	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	計
18歳～20歳代	18	18	1	1	12	0	50
	36.0	36.0	2.0	2.0	24.0	0.0	100.0
30歳代	25	31	10	7	13	0	86
	29.1	36.0	11.6	8.1	15.1	0.0	100.0
40歳代	31	47	17	7	29	0	131
	23.7	35.9	13.0	5.3	22.1	0.0	100.0
50歳代	28	33	13	7	21	1	103
	27.2	32.0	12.6	6.8	20.4	1.0	100.0
60歳代	64	53	16	10	39	1	183
	35.0	29.0	8.7	5.5	21.3	0.5	100.0
70歳代	82	51	24	4	42	8	211
	38.9	24.2	11.4	1.9	19.9	3.8	100.0
80歳以上	54	20	9	1	15	17	116
	46.6	17.2	7.8	0.9	12.9	14.7	100.0
無回答	5	1	1	0	3	10	20
	25.0	5.0	5.0	0.0	15.0	50.0	100.0
計	307	254	91	37	174	37	900
	34.1	28.2	10.1	4.1	19.3	4.1	100.0

有効票数 = 900

“50歳代”以下では「まあそう思う」が最も高く、“60歳代”では「そう思う」が最も高くなっている。

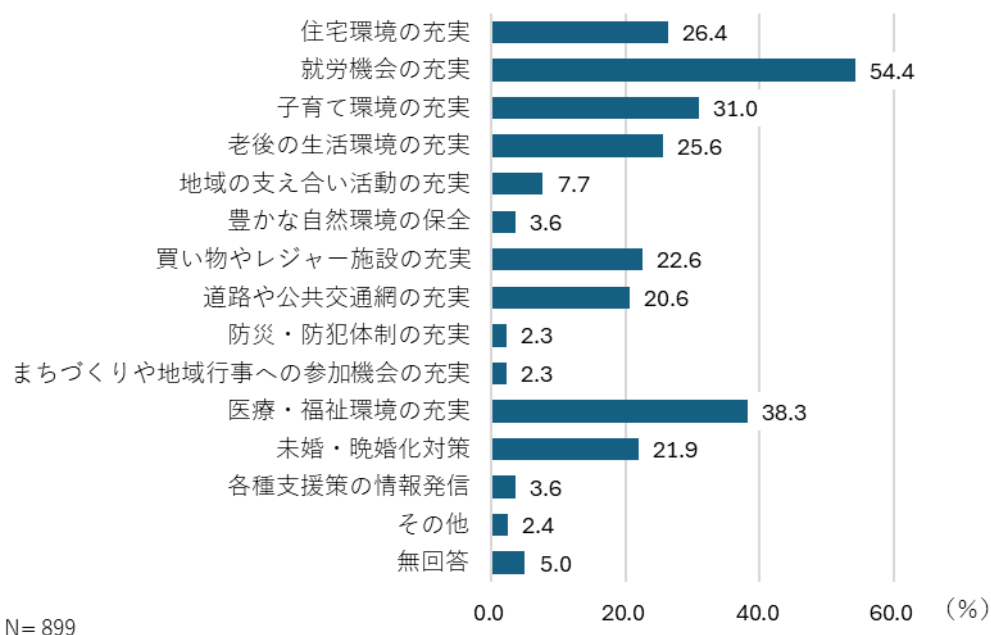
各年代で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合の方が「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合よりも高くなっており、特に“18歳～29歳代”と“80歳以上”では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合の方が50ポイント以上高くなっている。

問 41 人口減少を少しでもくい止め、より多くの方に岩泉町に住み続けてもらうために大切だと考えることは何ですか。(3つ以内に○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 住宅環境の充実	237	26.4
2 就労機会の充実	489	54.4
3 子育て環境の充実	279	31.0
4 老後の生活環境の充実	230	25.6
5 地域の支え合い活動の充実	69	7.7
6 豊かな自然環境の保全	32	3.6
7 買い物やレジャー施設の充実	203	22.6
8 道路や公共交通網の充実	185	20.6
9 防災・防犯体制の充実	21	2.3
10 まちづくりや地域行事への参加機会の充実	21	2.3
11 医療・福祉環境の充実	344	38.3
12 未婚・晩婚化対策	197	21.9
13 各種支援策の情報発信	32	3.6
14 その他	22	2.4
無回答	45	5.0

有効票数 = 899

人口減少を少しでもくい止め、より多くの方に岩泉町に住み続けてもらうために大切だと考えることについて最も多いのは「就労機会の充実」(54.4%)、次いで「医療・福祉環境の充実」(38.3%)、「子育て環境の充実」(31.0%)の順で多くなっています。



○クロス集計 (年代)

	住宅環境の充実	就労機会の充実	子育て環境の充実	老後の生活環境の充実	地域の支え合い活動の充実	豊かな自然環境の保全	買い物やレジャー施設の充実	道路や公共交通網の充実	防災・防犯体制の充実	まちづくりや地域行事への参加機会の充実	医療・福祉環境の充実	未婚・晩婚化対策	各種支援策の情報発信	その他	無回答	計
18歳～20歳代	15	27	13	5	3	2	22	17	2	1	14	9	3	3	0	50
	30.0	54.0	26.0	10.0	6.0	4.0	44.0	34.0	4.0	2.0	28.0	18.0	6.0	6.0	0.0	100.0
30歳代	36	45	42	12	5	2	33	10	2	2	38	9	1	3	1	86
	41.9	52.3	48.8	14.0	5.8	2.3	38.4	11.6	2.3	2.3	44.2	10.5	1.2	3.5	1.2	100.0
40歳代	47	82	54	19	5	5	42	30	1	1	39	19	4	5	1	131
	35.9	62.6	41.2	14.5	3.8	3.8	32.1	22.9	0.8	0.8	29.8	14.5	3.1	3.8	0.8	100.0
50歳代	32	67	25	25	7	1	23	19	5	3	47	16	4	3	3	103
	31.1	65.0	24.3	24.3	6.8	1.0	22.3	18.4	4.9	2.9	45.6	15.5	3.9	2.9	2.9	100.0
60歳代	47	111	57	54	14	7	30	46	4	9	79	42	6	5	1	183
	25.7	60.7	31.1	29.5	7.7	3.8	16.4	25.1	2.2	4.9	43.2	23.0	3.3	2.7	0.5	100.0
70歳代	39	102	60	76	21	6	32	44	3	3	90	61	12	2	12	211
	18.5	48.3	28.4	36.0	10.0	2.8	15.2	20.9	1.4	1.4	42.7	28.9	5.7	0.9	5.7	100.0
80歳以上	20	51	27	38	10	9	18	17	2	2	33	37	1	1	16	114
	17.5	44.7	23.7	33.3	8.8	7.9	15.8	14.9	1.8	1.8	28.9	32.5	0.9	0.9	14.0	100.0
無回答	1	4	1	1	4	0	3	2	2	0	4	4	1	0	10	20
	5.0	20.0	5.0	5.0	20.0	0.0	15.0	10.0	10.0	0.0	20.0	20.0	5.0	0.0	50.0	100.0
計	237	489	279	230	69	32	203	185	21	21	344	197	32	22	44	898
	26.4	54.5	31.1	25.6	7.7	3.6	22.6	20.6	2.3	2.3	38.3	21.9	3.6	2.4	4.9	100.0

有効票数 = 898

各年代で「就労機会の充実」が最も高くなっている。

“18歳～20歳代”では、2番目に「買い物やレジャー施設の充実」が高く、次いで「住宅環境の充実」が高くなっている。

“30歳代”では、2番目に「子育て環境の充実」が高く、次いで「医療・福祉環境の充実」が高くなっている。

“40歳代”では、2番目に「子育て環境の充実」が高く、次いで「住宅環境の充実」が高くなっている。

“50歳代”では、2番目に「医療・福祉環境の充実」が高く、次いで「住宅環境の充実」が高くなっている。

“60歳代”では、2番目に「医療・福祉環境の充実」が高く、次いで「子育て環境の充実」が高くなっている。

“70歳代”では、2番目に「医療・福祉環境の充実」が高く、次いで「老後の生活環境の充実」が高くなっている。

“80歳以上”では、2番目に「老後の生活環境の充実」が高く、次いで「未婚・晩婚化対策」が高くなっている。

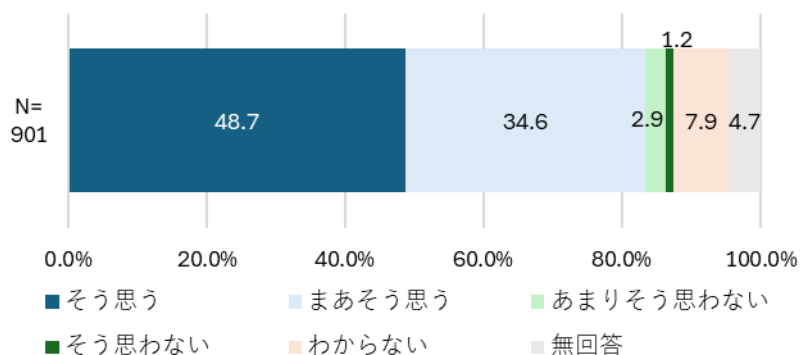
子育て世代は「子育て環境の充実」が高く、高齢化していくと「老後の生活環境の充実」の割合が高くなっていく傾向がある。また、「医療・福祉環境の充実」や「住宅環境の充実」はどの世代でも共通して大切だと考えられている。

問 42 町政を推進していく中で、行政と町民が協働したり、町民が互いに助け合ったりすることが重要になってくると考えられますが、このことについてどう思いますか。（1つに○）

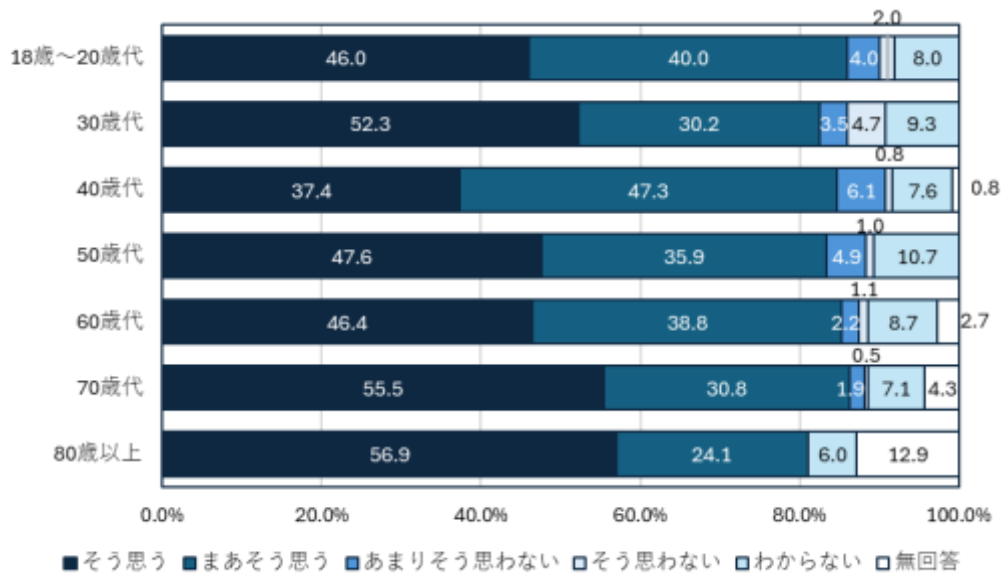
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 そう思う	439	48.7
2 まあそう思う	312	34.6
3 あまりそう思わない	26	2.9
4 そう思わない	11	1.2
5 わからない	71	7.9
無回答	42	4.7

行政と町民の協働について最も多いのは「そう思う」（48.7%）、次いで「まあそう思う」（34.6%）、「わからない」（7.9%）の順で多くなっています。「そう思う」と「まあそう思う」を合わせると 83.3%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせると 4.1%となっています。

有効票数 = 901



○クロス集計 (年代)



	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	計
18歳～20歳代	23	20	2	1	4	0	50
	46.0	40.0	4.0	2.0	8.0	0.0	100.0
30歳代	45	26	3	4	8	0	86
	52.3	30.2	3.5	4.7	9.3	0.0	100.0
40歳代	49	62	8	1	10	1	131
	37.4	47.3	6.1	0.8	7.6	0.8	100.0
50歳代	49	37	5	1	11	0	103
	47.6	35.9	4.9	1.0	10.7	0.0	100.0
60歳代	85	71	4	2	16	5	183
	46.4	38.8	2.2	1.1	8.7	2.7	100.0
70歳代	117	65	4	1	15	9	211
	55.5	30.8	1.9	0.5	7.1	4.3	100.0
80歳以上	66	28	0	0	7	15	116
	56.9	24.1	0.0	0.0	6.0	12.9	100.0
無回答	5	3	0	1	0	11	20
	25.0	15.0	0.0	5.0	0.0	55.0	100.0
計	439	312	26	11	71	41	900
	48.8	34.7	2.9	1.2	7.9	4.6	100.0

有効票数 = 900

“40歳代”以外では「そう思う」が最も高く、次いで「まあそう思う」、「わからない」の順で高くなっている。

各年代で「そう思う」と「まあそう思う」の合わせた割合の方が「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合よりも高くなっている、

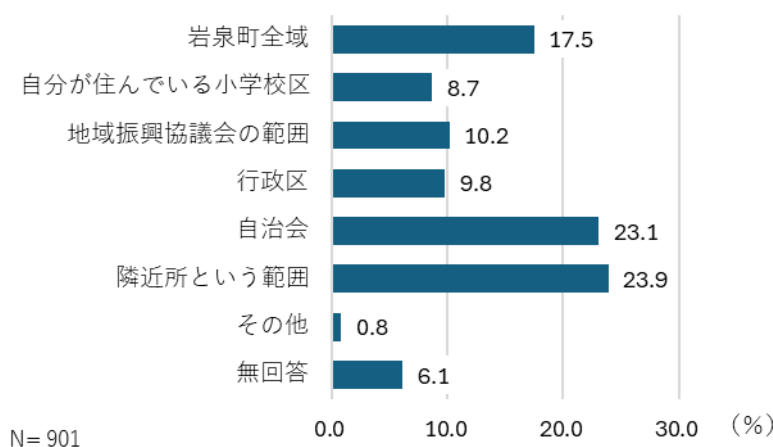
特に“18歳～20歳代”と“60歳代”以上では「そう思う」と「まあそう思う」の合わせた割合の方が80ポイント以上高くなっている。

問 43 あなたにとって「住民同士が助け合える範囲」とは、どの範囲のことをいいますか。（1つに○）

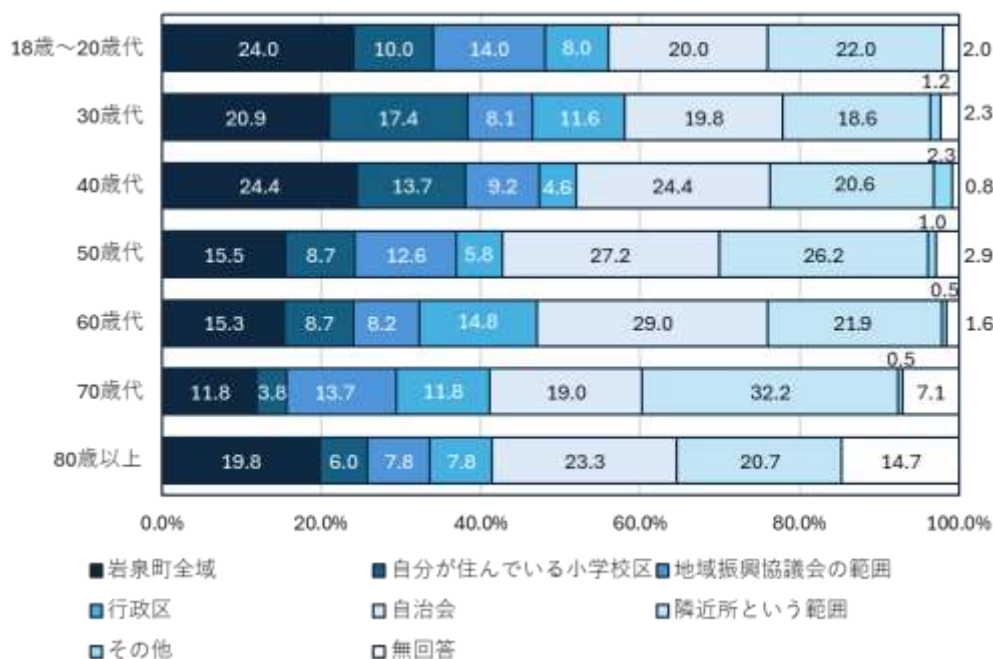
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 岩泉町全域	158	17.5
2 自分が住んでいる小学校区	78	8.7
3 地域振興協議会の範囲	92	10.2
4 行政区	88	9.8
5 自治会	208	23.1
6 隣近所という範囲	215	23.9
7 その他	7	0.8
無回答	55	6.1

「住民同士が助け合える範囲」について最も多いのは「隣近所という範囲」（23.9%）、次いで「自治会」（23.1%）、「岩泉町全域」（17.5%）の順で多くなっています。

有効票数 = 901



○クロス集計 (年代)



	岩泉町全 域	自分が住 んでいる 小学校区	地域振興 協議会の 範囲	行政区	自治会	隣近所と いう範囲	その他	無回答	計
18歳～20歳代	12	5	7	4	10	11	0	1	50
	24.0	10.0	14.0	8.0	20.0	22.0	0.0	2.0	100.0
30歳代	18	15	7	10	17	16	1	2	86
	20.9	17.4	8.1	11.6	19.8	18.6	1.2	2.3	100.0
40歳代	32	18	12	6	32	27	3	1	131
	24.4	13.7	9.2	4.6	24.4	20.6	2.3	0.8	100.0
50歳代	16	9	13	6	28	27	1	3	103
	15.5	8.7	12.6	5.8	27.2	26.2	1.0	2.9	100.0
60歳代	28	16	15	27	53	40	1	3	183
	15.3	8.7	8.2	14.8	29.0	21.9	0.5	1.6	100.0
70歳代	25	8	29	25	40	68	1	15	211
	11.8	3.8	13.7	11.8	19.0	32.2	0.5	7.1	100.0
80歳以上	23	7	9	9	27	24	0	17	116
	19.8	6.0	7.8	7.8	23.3	20.7	0.0	14.7	100.0
無回答	4	0	0	1	1	2	0	12	20
	20.0	0.0	0.0	5.0	5.0	10.0	0.0	60.0	100.0
計	158	78	92	88	208	215	7	54	900
	17.6	8.7	10.2	9.8	23.1	23.9	0.8	6.0	100.0

有効票数 = 900

各年代で「岩泉町全域」と「自治会」、「隣近所という範囲」が高い傾向にある。

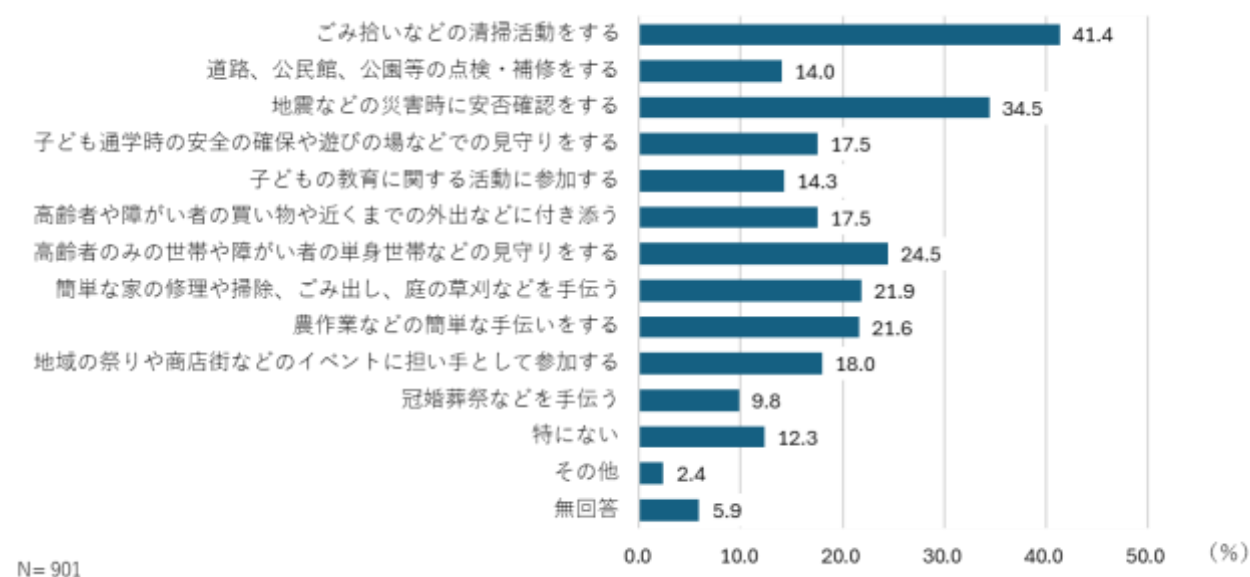
“30歳代”以下では、「岩泉町全域」が最も高く、“40歳代”では「岩泉町全域」と「自治会」が、“50歳代”、“60歳代”、“80歳以上”では「自治会」が、“70歳代”では「隣近所という範囲」が最も高くなっている。

問 44 今後、住民同士の助け合いにおいて、ご自身が手助けをしたいと思うことはありますか。(当てはまるもの全てに○)

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 ごみ拾いなどの清掃活動をする	373	41.4
2 道路、公民館、公園等の点検・補修をする	126	14.0
3 地震などの災害時に安否確認をする	311	34.5
4 子ども通学時の安全の確保や遊びの場などでの見守りをする	158	17.5
5 子どもの教育に関する活動に参加する	129	14.3
6 高齢者や障がい者の買い物や近くまでの外出などに付き添う	158	17.5
7 高齢者のみの世帯や障がい者の単身世帯などでの見守りをする	221	24.5
8 簡単な家の修理や掃除、ごみ出し、庭の草刈などを手伝う	197	21.9
9 農作業などの簡単な手伝いをする	195	21.6
10 地域の祭りや商店街などのイベントに担い手として参加する	162	18.0
11 冠婚葬祭などを手伝う	88	9.8
12 特にない	111	12.3
13 その他	22	2.4
無回答	53	5.9

有効票数 = 901

住民同士の助け合いにおいて、自分が手助けをしたいと思うことについて最も多いのは「ごみ拾いなどの清掃活動をする」(41.4%)、次いで「地震などの災害時に安否確認をする」(34.5%)、「高齢者のみの世帯や障がい者の単身世帯などでの見守りをする」(24.5%)の順で多くなっています。



○クロス集計（年代）

	ごみ拾い などの清掃活動 をする	道路、公 民館、公 園等の点 検・補修 をする	地震など の災害時 に安否確 認をする	子ども通学 時の安全の 確保や遊び の場などで の見守りを する	子どもの 教育に関 する活動 に参加す る	高齢者や障 がい者の買 い物や近く までの外出 などに付き 添う	高齢者のみ の世帯や障 がい者の単 身世帯など の見守りを する	簡単な家の 修理や掃 除、ごみ出 し、庭の草 刈などを手 伝う	農作業な どの簡単 な手伝い をする	地域の祭り や商店街な どのイベン トに担い手 として参加 する	冠婚葬祭 などを手 伝う	特にな い	その他	無回答	計
18歳～20歳代	17 34.0	4 8.0	14 28.0	15 30.0	14 28.0	8 16.0	9 18.0	12 24.0	9 18.0	20 40.0	5 10.0	6 12.0	1 2.0	0 0.0	50 100.0
30歳代	30 34.9	11 12.8	28 32.6	24 27.9	30 34.9	12 14.0	13 15.1	21 24.4	22 25.6	24 27.9	9 10.5	11 12.8	2 2.3	0 0.0	86 100.0
40歳代	45 34.4	17 13.0	34 26.0	30 22.9	37 28.2	24 18.3	19 14.5	30 22.9	27 20.6	23 17.6	10 7.6	18 13.7	3 2.3	1 0.8	131 100.0
50歳代	35 34.0	18 17.5	38 36.9	16 15.5	16 15.5	19 18.4	25 24.3	19 18.4	24 23.3	22 21.4	10 9.7	15 14.6	2 1.9	1 1.0	103 100.0
60歳代	86 47.0	28 15.3	82 44.8	28 15.3	10 5.5	35 19.1	53 29.0	36 19.7	36 19.7	32 17.5	26 14.2	15 8.2	5 2.7	4 2.2	183 100.0
70歳代	107 50.7	35 16.6	85 40.3	27 12.8	13 6.2	45 21.3	80 37.9	53 25.1	51 24.2	26 12.3	22 10.4	23 10.9	6 2.8	17 8.1	211 100.0
80歳以上	48 41.4	13 11.2	28 24.1	17 14.7	9 7.8	12 10.3	21 18.1	25 21.6	25 21.6	13 11.2	6 5.2	23 19.8	3 2.6	19 16.4	116 100.0
無回答	5 25.0	0 0.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0	3 15.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 50.0	20 100.0
計	373 41.4	126 14.0	311 34.6	158 17.6	129 14.3	158 17.6	221 24.6	197 21.9	195 21.7	162 18.0	88 9.8	111 12.3	22 2.4	52 5.8	900 100.0

有効票数 = 900

各年代で「ごみ拾いなどの清掃活動をする」や「地震などの災害時に安否確認をする」の割合が高い傾向にある。
また、子育て世代の“40 歳代”以下では「子どもの教育に関する活動に参加する」や「子ども通学時の安全の確保や遊びの場などでの見守りをする」が高い傾向にある。

“50 歳代”から“70 歳代”では「高齢者のみの世帯や障がい者の単身世帯などでの見守りをする」が3 番目に高くなっている。

“18 歳～20 歳代”では、「地域の祭りや商店街などのイベントに担い手として参加する」が最も高くなっている。

